

◆ 杉並区 ◆  
中小企業の景況

令和4年度第2四半期  
(令和4年7月~9月)

 杉並区産業振興センター

## 目 次

都内中小企業の景況（令和4年7月～9月期）	1
杉並区内中小企業の景況（令和4年7月～9月期）	2
杉並区内各業種別業況の動きと来期の予測	2
業種別業況の動き（実績）と来期の予測（東京都・杉並区の比較）	4
・ 製造業	6
・ 卸売業	9
・ 小売業	12
・ サービス業	16
・ 建設業	20
・ 不動産業	23
経営者の声	26
日銀短観	27
杉並区と東京都全体の企業倒産、休廃業・解散動向	28
特別調査「中小企業におけるSDGs（持続可能な開発目標）の取組状況について」	30
中小企業景況調査 比較表	33
中小企業景況調査 転記表	37

### 調査方法・対象と回収状況

- |        |                           |
|--------|---------------------------|
| 1 調査機関 | 一般社団法人東京都信用金庫協会 業務部業務課    |
| 2 調査方法 | 信用金庫営業店から企業へ直接面接調査        |
| 3 調査時期 | 令和4年7月～9月期を対象に令和4年9月上旬に実施 |
| 4 実施状況 | 105事業所                    |








※新型コロナウイルス感染拡大にともない、調査にご協力いただけない事業所が多数生じていることから、「調査対象事業所数」及び「未回収事業所数」は把握不能となっております。

### [回答事業所数の規模別内訳]

（単位：事業所数・％）

	有効回答 事業所数	4人以下	5～9人	10～ 19人	20～ 29人	30～ 39人	40～ 49人	50～ 99人	100～ 199人	200～ 300人
製 造 業	10	1	5	2	0	1	0	1	0	0
卸 売 業	9	4	1	2	1	1	0	0	0	0
小 売 業	26	12	11	2	0	0	1	0	0	0
サ ー ビ ス 業	24	10	5	2	1	3	0	2	1	0
建 設 業	23	6	8	3	4	0	2	0	0	0
不 動 産 業	13	6	3	2	0	1	1	0	0	0
業 種 計	105	39 (37.1)	33 (31.4)	13 (12.4)	6 (5.7)	6 (5.7)	4 (3.8)	3 (2.9)	1 (1.0)	0 (0.0)

### 判断表 業種別定点指標値

	大きく上昇	上 昇	やや上昇	横ばい	やや下降	下 降	大きく下降
							
製 造 業	20以上	19～10	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31以下
卸 売 業	20以上	19～10	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31以下
小 売 業	10以上	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31～-40	-41以下
サ ー ビ ス 業	15以上	14～5	4～-5	-6～-15	-16～-25	-26～-35	-36以下
建 設 業	20以上	19～10	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31以下
不 動 産 業	10以上	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31～-40	-41以下

← 好調

不調 →

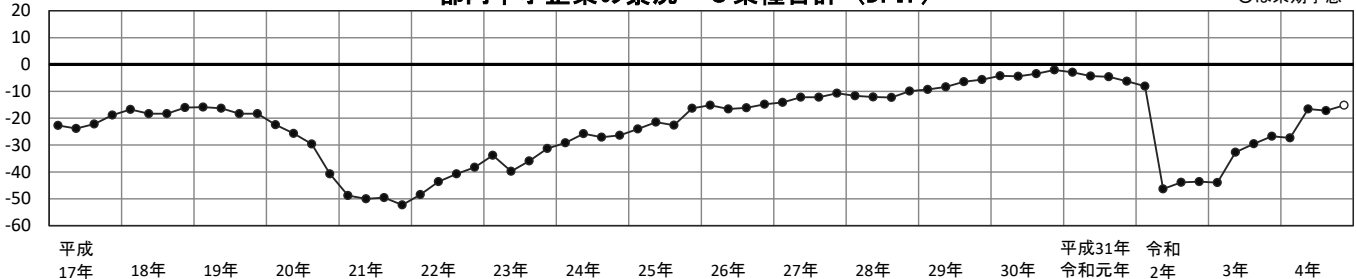
# 都内中小企業の景況（令和4年7月～9月期）

## 円安進行・物価高の影響大きく、景気回復は減速後退

(D.I.)

都内中小企業の景況・6業種合計 (D. I.)

○は来期予想



円安進行の影響等による仕入価格の上昇が企業経営を圧迫し、業況判断DIは△17.2（前期△16.6）と前期に比べ△0.6ポイントとなり、景気回復基調は減速し、一時後退した。

来期は、新型コロナ第7波の落ち着きとオミクロン株対応ワクチン普及の期待感から回復を期待するものの、長引く円安の影響による物価高とその上昇分を販売価格へ転嫁出来ていないことが景気を下振れさせる不安材料となっている。

※業況判断DI：「良い」企業割合－「悪い」企業割合 季節調整済

	前期	今期	増減	来期予測	今期との増減
製造業	-17.3	-17.4	-0.1	-15.5	1.9
卸売業	-17.9	-18.1	-0.2	-16.8	1.3
小売業	-27.9	-28.0	-0.1	-25.9	2.1
サービス業	-19.1	-21.6	-2.5	-17.5	4.1
建設業	-4.5	-4.2	0.3	-1.7	2.5
不動産業	0.6	-1.6	-2.2	-3.1	-1.5
総合	-16.6	-17.2	-0.6	-15.2	2.0

※前期(令和4年4月～6月)

※来期(令和4年10月～12月)

### <製造業>

輸送用機械、電気機械、精密機械業を中心に落ち込みが大きかったことから、5期連続できた改善が止まり、業況は前期同様の状態で推移した。売上額・受注残・収益においても前期並に推移した。原材料価格は7期連続で上昇を続けているものの、価格転嫁は一部しか進まず、販売価格との差は広がっている。

経営上の問題点の上位2位は前期同様に「売上の停滞・減少」、「原材料高」の順となり、重点経営施策の上位2位は「販路を広げる」、「経費を節減する」の順となっている。

来期は原材料価格の上昇がやや落ち着きをみせることから、業況は若干の改善を予想している。売上額・受注残・収益については今期と同水準で変化がないとみている。

### <卸売業>

円安等による仕入価格の上昇に伴い、食料品・飲料品業を中心に悪化し、業況改善は足踏み状態となった。売上額・収益の低下も前期並で推移した。価格面では仕入価格は7期連続で上昇を続けており、販売価格についても上昇を強め、販売価格への価格転嫁が進みつつある。

経営上の問題点の上位2位は「売上の停滞・減少」、「仕入先からの値上げ要請」の順となり、重点経営施策の上位2位は前期同様に「販路を広げる」、「経費を節減する」の順となっている。

来期は売上額の改善が予想されるものの、収益に結びついていかないことから、業況は今期並で推移するとみている。

### <小売業>

仕入価格の上昇が販売価格の値上げを引き離す勢いで高騰したことから、特に木材・建築材料業の悪化が強まり、業況は回復基調が減速して前期並で推移した。売上額・収益においては減少度を強めた。

経営上の問題点の上位2位は「売上の停滞・減少」、「仕入先からの値上げ要請」の順となり、重点経営施策の上位2位は前期同様に「経費を節減する」、「品揃えを改善する」の順となっている。

来期の業況は、売上額・収益ともにやや改善が見込まれることから、業況についても少し持ち直すと予想している。

### <サービス業>

コロナ第7波の感染拡大と物価上昇の影響により、娯楽業の落ち込みが大きく業況は悪化した。売上額・収益においても減少した。価格面では材料価格は一段と上昇を強め、料金価格はわずかに上昇した。

経営上の問題点の上位2位は「売上の停滞・減少」、「同業者間の競争の激化」の順となり、重点経営施策の上位2位は「経費を節減する」、「販路を広げる」の順となっている。

来期は売上額・収益においても若干の改善を期待しており、業況はわずかに持ち直すと予想している。

### <建設業>

前期の施工高に続き、受注残についても増加し、売上額も持ち直してきているものの、7期連続での原材料高の影響もあり業況回復は進まず、前期同様の水準で推移した。

経営上の問題点の上位2位は前期同様に「材料価格の上昇」、「人手不足」の順となり、重点経営施策の上位2位も前期同様に「経費を節減する」、「販路を広げる」の順となっている。

来期は売上額についてプラスに転じると予想しており、業況も改善するとみている。受注残・施工高は今期並の増加で推移し、収益においてもわずかな改善がみられると期待している。

### <不動産業>

前期良好化した売上額・収益は予想通りに落ち込みをみせ、業況も再び水面下に潜った。価格面では販売価格の上昇はやや落ち着きをみせ、仕入価格は前期並の上昇傾向で推移した。

経営上の問題点の上位2位は前期同様に「商品物件の不足」、「同業者間の競争の激化」の順となり、重点経営施策の上位2位も前期同様に「情報力を強化する」、「販路を広げる」の順となっている。

来期の業況は今期並に推移すると予想している。売上額・収益についても同水準で推移するとみている。

(一般社団法人 東京都信用金庫協会調べ)

### [注]

ディフュージョン インデックス  
○D. I. (Diffusion Indexの略)

D. I. (ディーアイ)は、増加(又は「上昇」「楽」など)したと答えた企業割合から、減少(又は「下降」「苦しい」など)したと答えた企業割合を差引いた数値のことで、不変部分を除いて増加したとする企業と減少したとする企業のどちらの力が強いかを比べて時系列的に傾向をみようとするものです。

○D. I. (季節調整済)

季節調整とは、各期ごとに季節的な変動を繰り返すD. I.を過去5年間まで遡って季節的な変動を除去して加工したD. I.値です。修正値ともいいます。

○傾向値

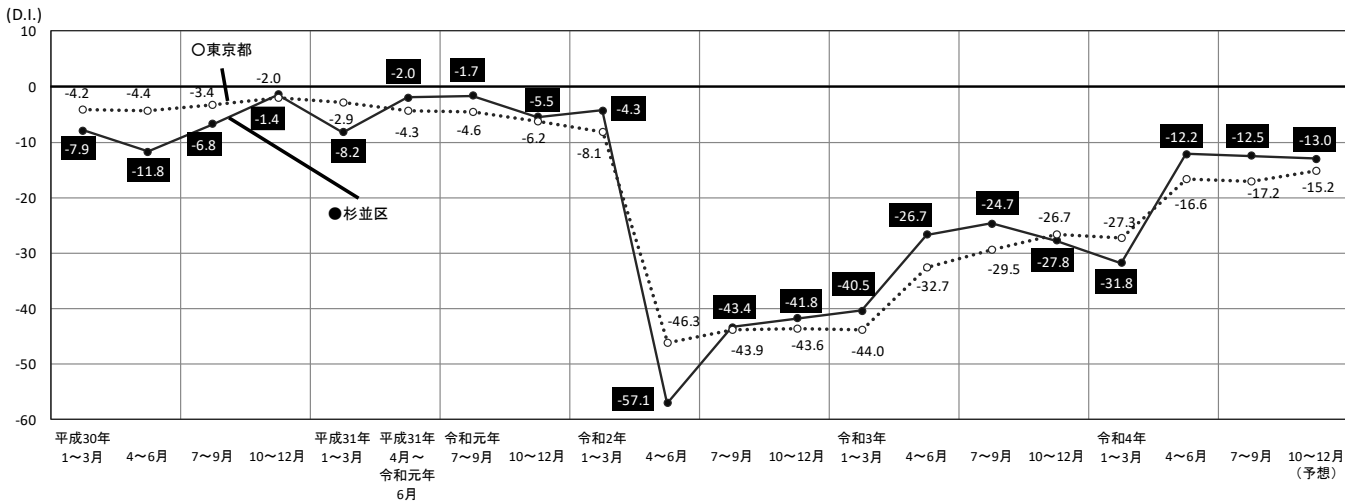
傾向値は、季節変動の大きな業種(例えば小売業)ほど有効で、過去の推移を一層なめらかにして景気の方角を見る方法です。

# 杉並区内中小企業の景況（令和4年7月～9月期）

業況判断 D.I.（季節調整済、「良い」企業割合－「悪い」企業割合）は-12.5 と前期（令和4年4～6月）の-12.2 に比べ 0.3 ポイント減少し、前期並の厳しさとなった。業種別にみると、製造業は好転し、建設業は前期並の良好感が続き、小売業は前期並の厳しさとなり、卸売業、不動産業は低調感がやや強まり、サービス業は低調感が大きく強まった。

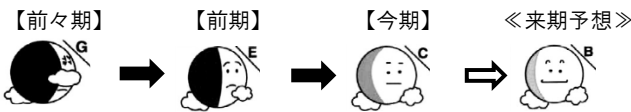
また、業況判断の要因として、中小企業基盤整備機構が発表した第169回中小企業景況調査によれば、全体における前期と比較した今期の業況は2期ぶりに低下し、原材料価格の高騰や経費上昇による利益の圧迫や、値上がりによる消費低迷を懸念する声が多く寄せられた。

来期（令和4年10～12月）は今期同様の低調感が続く予想される。製造業は好調感が大きく強まり、卸売業は厳しさが大きく和らぎ、サービス業、不動産業はやや改善する見通しである。小売業はやや低調感が強まり、建設業は悪化に転じると見込まれる。



# 杉並区内各業種別業況の動きと来期の予測

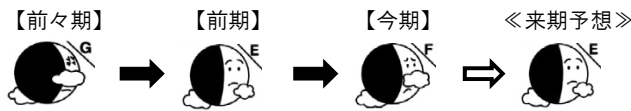
## 製造業



業況は好転した。売上額、収益はともに前期並の増加となり、受注残は減少幅が大きく拡大した。販売価格は上昇が大きく弱まり、原材料価格は上昇が大きく強まった。在庫は不足感がやや改善した。

来期の見通しについて、業況は好調感が大きく強まると予想される。売上額は増加幅が大きく拡大し、収益は増加傾向をやや強めると見込まれる。

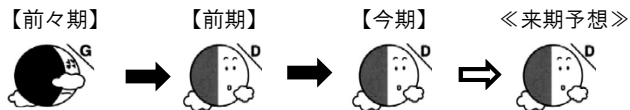
## 卸売業



業況は低調感がやや強まった。売上額、収益はともに減少幅が大きく縮小した。販売価格は上昇が大きく強まり、仕入価格は上昇が極端に強まった。在庫は過剰から品薄に転じた。

来期の見通しについて、業況は厳しさが大きく和らぐと予想される。売上額は減少幅が大きく縮小し、収益は増加に転じると見込まれる。

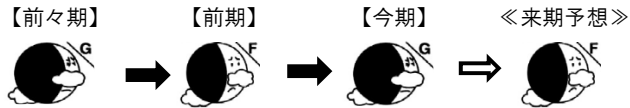
## 小売業



業況は前期並の厳しさとなった。売上額は増加から減少に転じ、収益は減少幅がやや縮小した。販売価格は上昇に転じ、仕入価格は上昇が大きく弱まった。在庫は前期並となった。

来期の見通しについて、業況は低調感がやや強まると予想される。売上額、収益はともに減少幅が大きく拡大すると見込まれる。

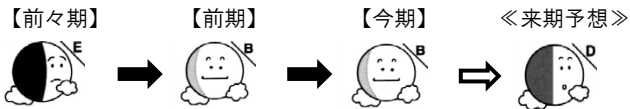
## サービス業



業況は低調感が大きく強まった。売上額は前期並となり、収益は減少幅が大きく縮小した。料金価格は前期並となり、材料価格は上昇がやや強まった。

来期の見通しについて、業況は厳しさがやや和らぐと予想される。売上額は減少幅がやや縮小し、収益は今期同様に推移すると見込まれる。

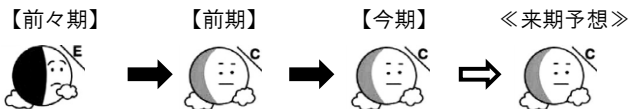
## 建設業



業況は前期並の良好感が続いた。売上額は前期並となり、収益は増加から減少に転じ、受注残は増加幅がやや拡大した。請負価格は上昇が大きく弱まり、材料価格は前期並となった。

来期の見通しについて、業況は悪化に転じると予想されている。売上額は増加幅が大きく縮小し、収益は今期同様に推移すると見込まれる。

## 不動産業

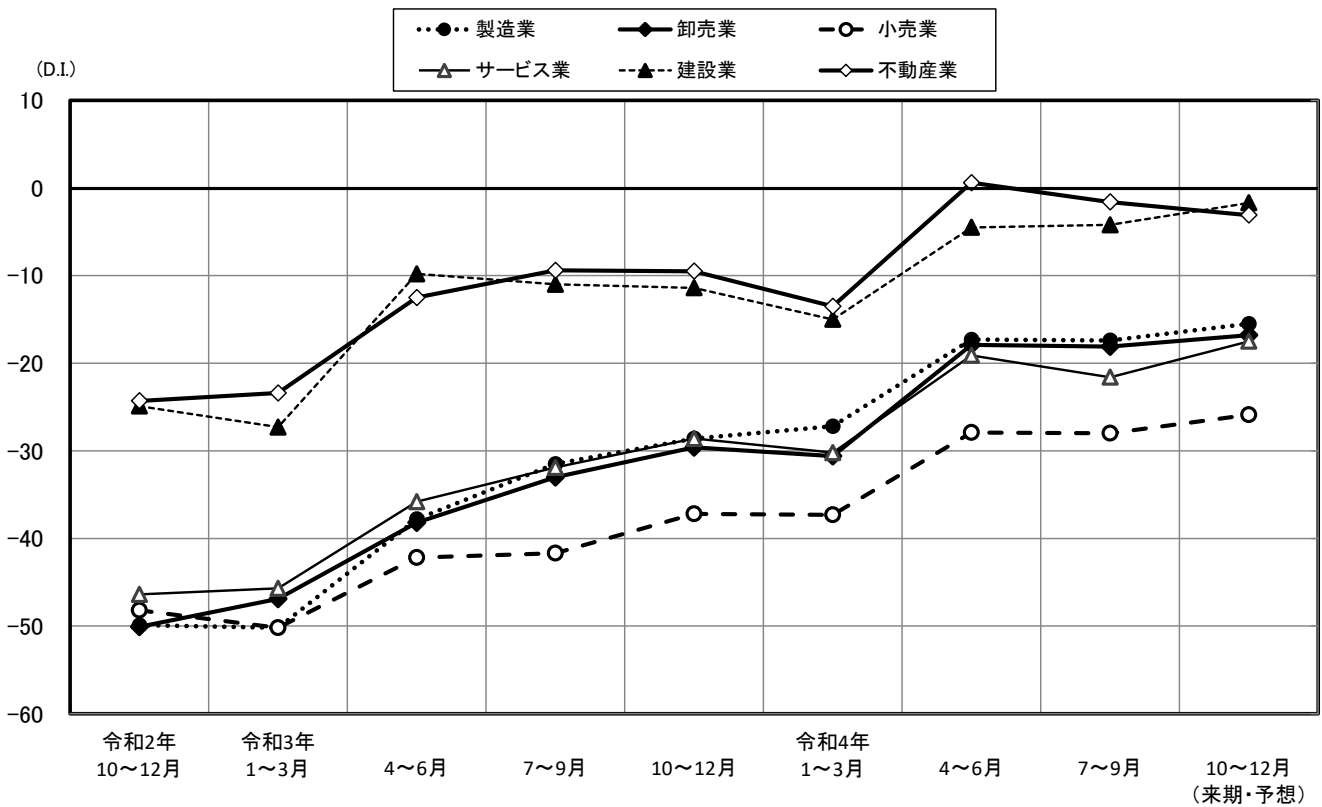


業況は低調感がやや強まった。売上額、収益はともに減少幅が大きく拡大した。販売価格は上昇がやや弱まり、仕入価格は上昇が大きく弱まった。在庫は前期並となった。

来期の見通しについて、業況は厳しさがやや和らぐと予想される。売上額は減少幅がやや縮小し、収益は減少幅が大きく縮小すると見込まれる。

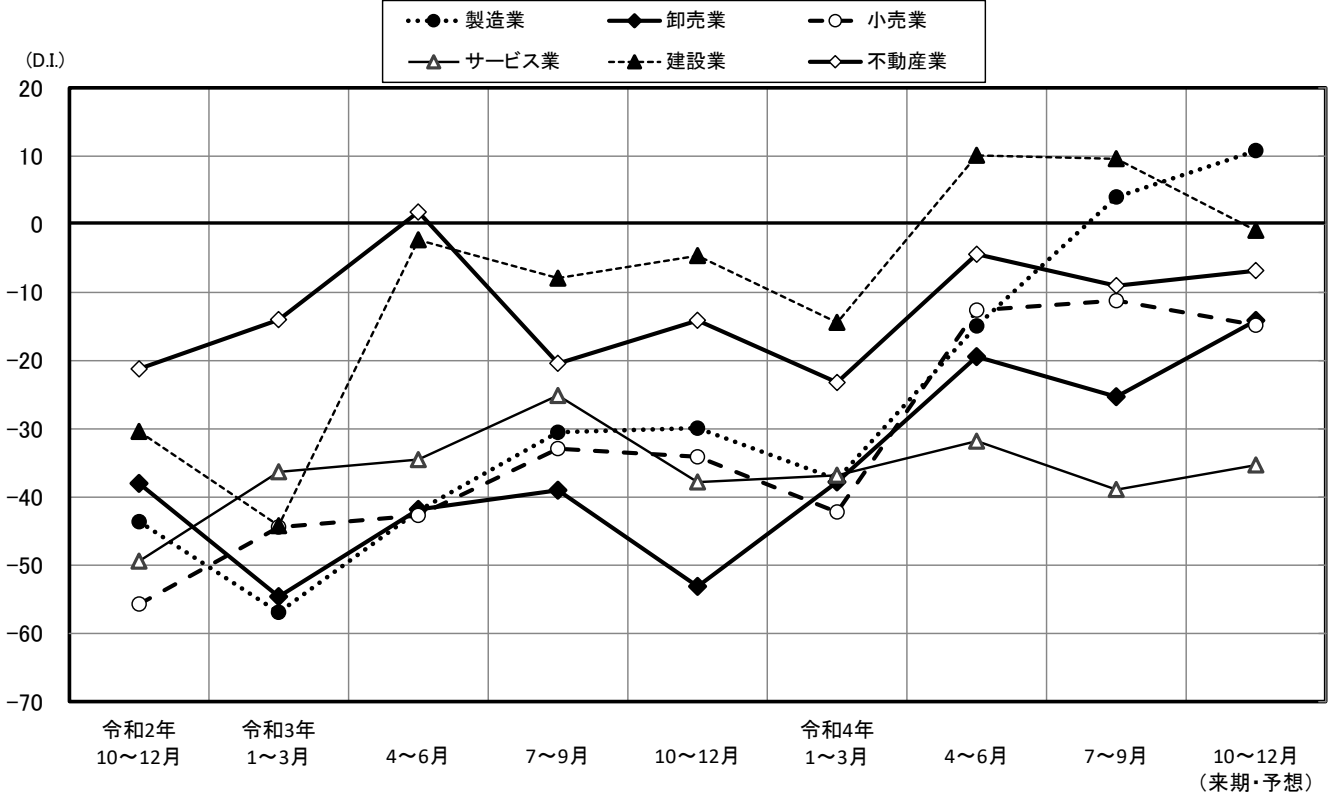
# 業種別業況の動き（実績）と来期の予測（東京都・杉並区の比較）

## 東京都



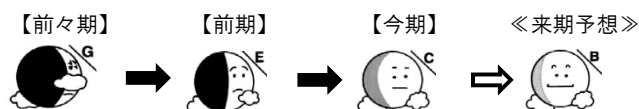
	令和2年 10~12月	令和3年 1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	令和4年 1~3月	4~6月 (前期)	7~9月 (今期)	増減	10~12月 (来期・予想)	今期との比較
製造業	-49.9	-50.2	-37.8	-31.5	-28.6	-27.2	-17.3	-17.4	-0.1	-15.5	1.9
卸売業	-50.1	-46.9	-38.2	-33.0	-29.6	-30.6	-17.9	-18.1	-0.2	-16.8	1.3
小売業	-48.2	-50.2	-42.2	-41.7	-37.2	-37.3	-27.9	-28.0	-0.1	-25.9	2.1
サービス業	-46.4	-45.7	-35.8	-31.9	-28.6	-30.2	-19.1	-21.6	-2.5	-17.5	4.1
建設業	-24.9	-27.3	-9.8	-11.0	-11.4	-15.0	-4.5	-4.2	0.3	-1.7	2.5
不動産業	-24.3	-23.4	-12.5	-9.4	-9.5	-13.5	0.6	-1.6	-2.2	-3.1	-1.5
総合	-43.6	-44.0	-32.7	-29.5	-26.7	-27.3	-16.6	-17.2	-0.6	-15.2	2.0

## 杉並区



	令和2年 10~12月	令和3年 1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	令和4年 1~3月	4~6月 (前期)	7~9月 (今期)	増減	10~12月 (来期・予想)	今期と の比較
製 造 業	-43.6	-56.9	-42.0	-30.5	-29.9	-37.4	-14.9	4.0	18.9	10.8	6.8
卸 売 業	-38.0	-54.6	-41.8	-39.0	-53.1	-37.8	-19.4	-25.3	-5.9	-14.1	11.2
小 売 業	-55.7	-44.4	-42.7	-32.9	-34.1	-42.2	-12.6	-11.2	1.4	-14.8	-3.6
サ ー ビ ス 業	-49.4	-36.3	-34.5	-25.1	-37.8	-36.8	-31.8	-38.9	-7.1	-35.3	3.6
建 設 業	-30.4	-44.2	-2.3	-7.9	-4.6	-14.4	10.1	9.6	-0.5	-0.9	-10.5
不 動 産 業	-21.2	-14.0	1.8	-20.4	-14.1	-23.2	-4.4	-9.0	-4.6	-6.8	2.2
総 合	-41.8	-40.5	-26.7	-24.7	-27.8	-31.8	-12.2	-12.5	-0.3	-13.0	-0.5

# 製 造 業



## 業 況

業況 ( $\Delta 37.4 \rightarrow \Delta 14.9 \rightarrow 4.0$ ) は好転した。

## 売上額・収益・受注残

売上額 ( $\Delta 21.3 \rightarrow 4.8 \rightarrow 4.6$ )、収益 ( $\Delta 19.6 \rightarrow 11.2 \rightarrow 10.9$ ) はともに前期並の増加となり、受注残 ( $\Delta 13.8 \rightarrow \Delta 2.4 \rightarrow \Delta 10.9$ ) は減少幅が大きく拡大した。

## 価格・在庫動向

販売価格 ( $24.4 \rightarrow 26.5 \rightarrow 12.4$ ) は上昇が大きく弱まり、原材料価格 ( $13.5 \rightarrow 27.0 \rightarrow 44.1$ ) は上昇が大きく強まった。

また、在庫 ( $6.9 \rightarrow \Delta 6.8 \rightarrow \Delta 2.2$ ) は不足感がやや改善した。

## 資金繰り・借入難易度・設備投資動向

資金繰り ( $\Delta 21.4 \rightarrow 6.6 \rightarrow 4.0$ ) は容易さがやや縮小し、借入難易度 ( $0.0 \rightarrow 0.0 \rightarrow 0.0$ ) は前期並となった。設備投資を「実施した」企業 ( $9.1\% \rightarrow 20.0\% \rightarrow 10.0\%$ ) は前期より10.0ポイント減となった。

## 経営上の問題点・重点経営施策

経営上の問題点は、「同業者間の競争の激化」「売上の停滞・減少」(各 40.0%) が最多となり、以下、「原材料高」(30.0%)、「利幅の縮小」、「大手企業との競争の激化」(各 20.0%)、「人手不足」、「仕入先からの値上げ要請」、「人件費の増加」、「工場・機械の狭小・老朽化」(各 10.0%) の順となった。

重点経営施策は、「販路を広げる」(90.0%) が今期も最多となり、以下、「経費を節減する」(60.0%)、「工場・機械を増設・移転する」、「人材を確保する」、「情報力を強化する」(各 10.0%) の順となった。

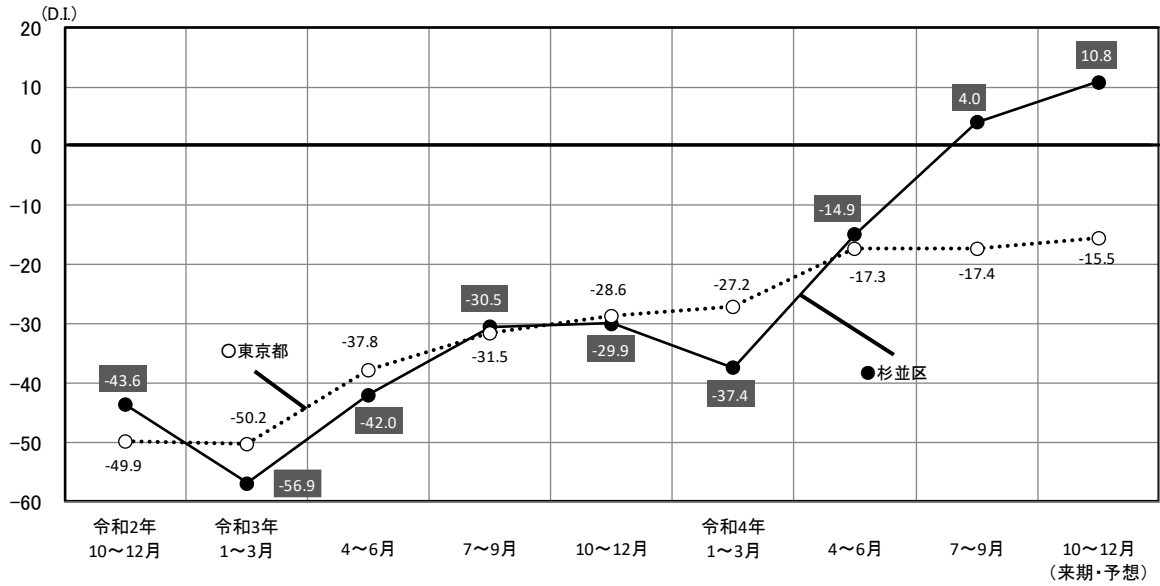
## 来 期 の 見 通 し

来期の見通しについて、業況 (10.8 予想) は好調感が大きく強まると予想される。売上額 (16.8 予想) は増加幅が大きく拡大し、収益 (16.4 予想) は増加傾向をやや強めると見込まれる。

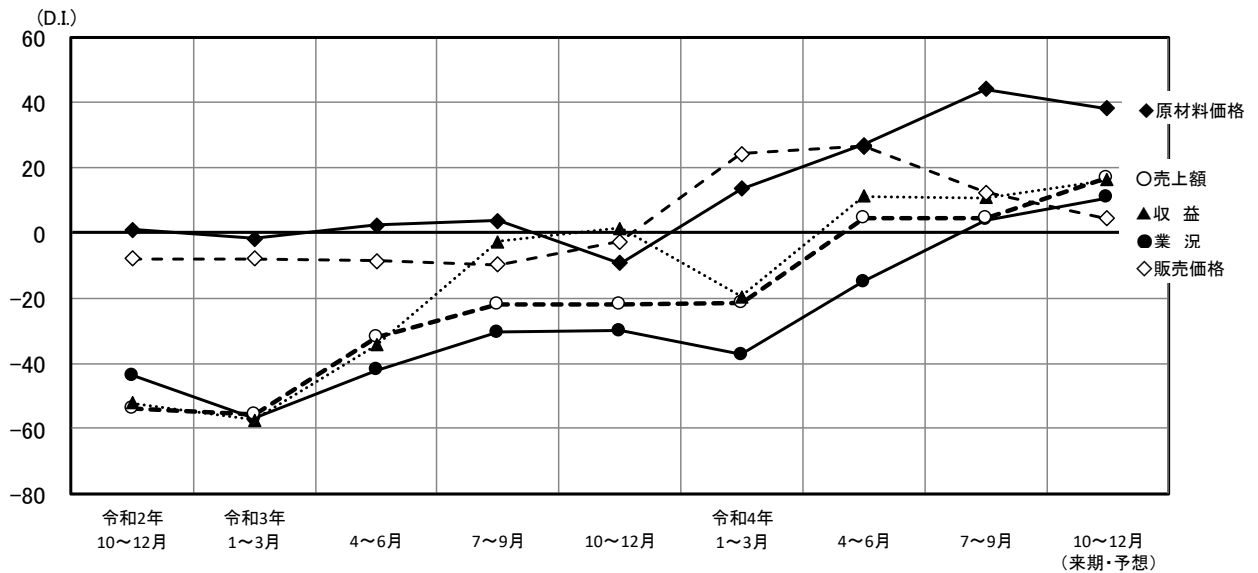
価格面では、販売価格 (4.5 予想) は上昇が大きく弱まり、原材料価格 (38.2 予想) は上昇がやや弱まる見通しである。



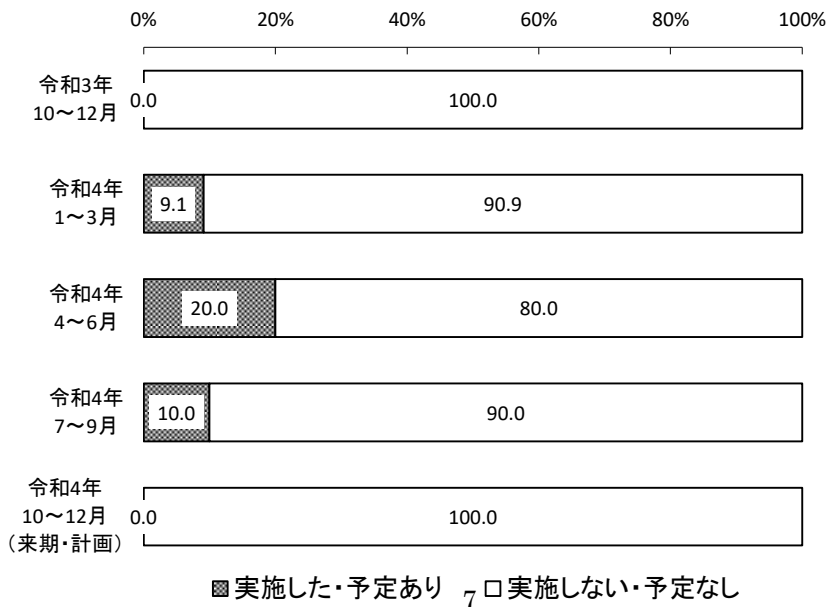
### 【製造業】 杉並区と全都の業況の動き（実績）と来期の予測



### 業況と売上額、収益、販売価格、原材料価格の動き（実績）と来期の予測

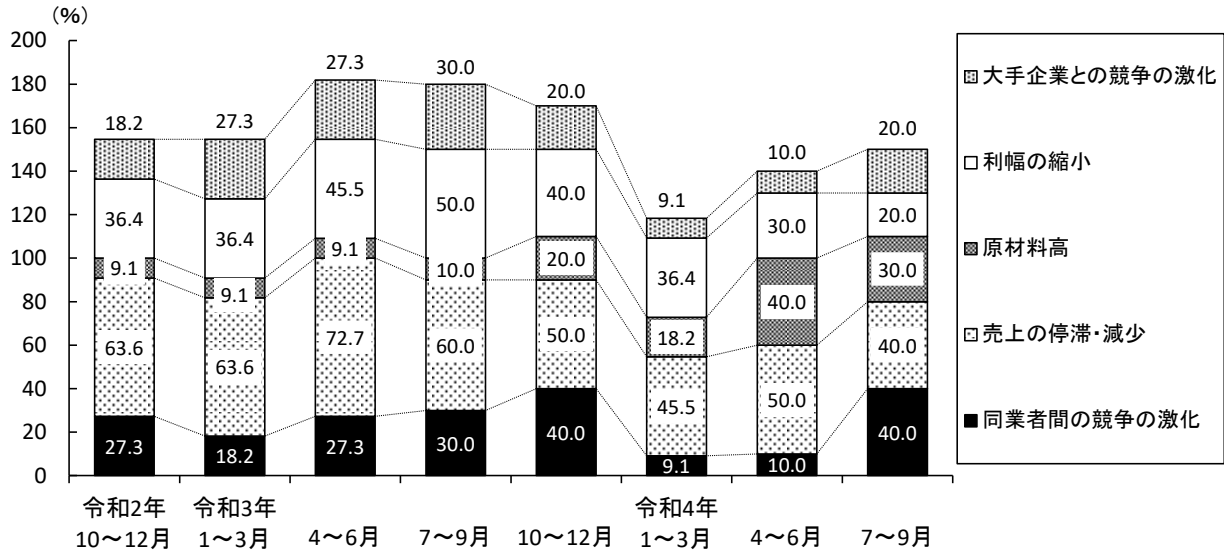


### 設備投資動向



## 経営上の問題点

(複数回答)

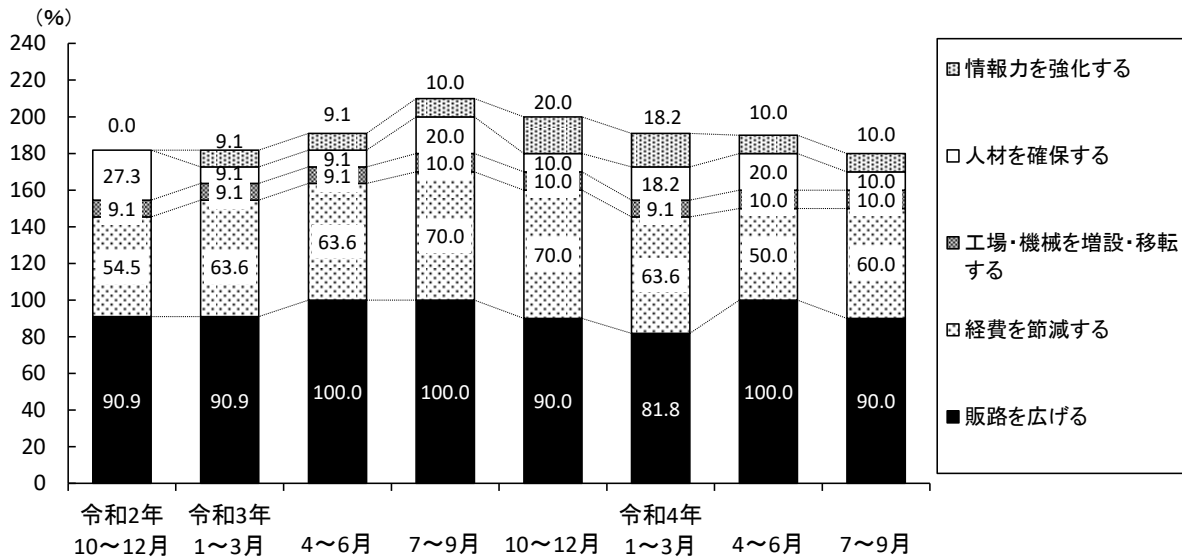


(注：今期の上位5項目を基準に作成しているため、前期以前の項目は上位5項目となっていない場合があります。)

令和3年10~12月		令和4年1~3月		令和4年4~6月		令和4年7~9月	
売上の停滞・減少	50.0 %	売上の停滞・減少	45.5 %	売上の停滞・減少	50.0 %	同業者間の競争の激化	40.0 %
同業者間の競争の激化	40.0 %	利幅の縮小	36.4 %	原材料高	40.0 %	売上の停滞・減少	30.0 %
利幅の縮小		原材料高	18.2 %	利幅の縮小	30.0 %	原材料高	30.0 %
大手企業との競争の激化	20.0 %	為替レートの変動 天候の不順 工場・機械の狭小・老朽化 同業者間の競争の激化 大手企業との競争の激化 人手不足	9.1 %	為替レートの変動 工場・機械の狭小・老朽化 人手不足 大手企業との競争の激化 同業者間の競争の激化 合理化の不足 人件費の増加	10.0 %	利幅の縮小 大手企業との競争の激化 人手不足 仕入先からの値上げ要請 人件費の増加 工場・機械の狭小・老朽化	10.0 %

## 重点経営施策

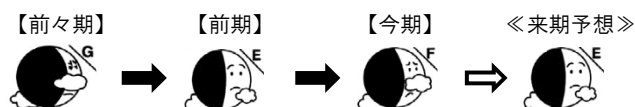
(複数回答)



(注：今期の上位5項目を基準に作成しているため、前期以前の項目は上位5項目となっていない場合があります。)

令和3年10~12月		令和4年1~3月		令和4年4~6月		令和4年7~9月	
販路を広げる	90.0 %	販路を広げる	81.8 %	販路を広げる	100.0 %	販路を広げる	90.0 %
経費を節減する	70.0 %	経費を節減する	63.6 %	経費を節減する	50.0 %	経費を節減する	60.0 %
情報力を強化する	20.0 %			人材を確保する	20.0 %		
提携先を見つける 人材を確保する 教育訓練を強化する 工場・機械を増設・移転する	10.0 %	人材を確保する 新製品・技術を開発する 情報力を強化する	18.2 %	工場・機械を増設・移転する 新製品・技術を開発する 情報力を強化する	10.0 %	工場・機械を増設・移転する 人材を確保する 情報力を強化する	10.0 %

# 卸 売 業



## 業 況

業況 ( $\Delta 37.8 \rightarrow \Delta 19.4 \rightarrow \Delta 25.3$ ) は低調感がやや強まった。

## 売上額 ・ 収益

売上額 ( $\Delta 15.3 \rightarrow \Delta 23.0 \rightarrow \Delta 14.2$ )、収益 ( $\Delta 15.7 \rightarrow \Delta 21.2 \rightarrow \Delta 12.1$ ) はともに減少幅が大きく縮小した。

## 価格 ・ 在庫動向

販売価格 ( $\Delta 6.0 \rightarrow 17.1 \rightarrow 35.0$ ) は上昇が大きく強まり、仕入価格 ( $12.4 \rightarrow 22.4 \rightarrow 55.6$ ) は上昇が極端に強まった。

また、在庫 ( $4.7 \rightarrow 7.7 \rightarrow \Delta 8.5$ ) は過剰から品薄に転じた。

## 資金繰り ・ 借入難易度 ・ 設備投資動向

資金繰り ( $\Delta 35.9 \rightarrow \Delta 29.4 \rightarrow \Delta 20.8$ ) は窮屈感が大きく緩和し、借入難易度 ( $\Delta 30.8 \rightarrow \Delta 30.8 \rightarrow \Delta 37.5$ ) は厳しさが大きく強まった。

設備投資を「実施した」企業 ( $0.0\% \rightarrow 8.3\% \rightarrow 11.1\%$ ) は前期より2.8ポイント増となった。

## 経営上の問題点 ・ 重点経営施策

経営上の問題点は、「売上の停滞・減少」(66.7%) が今期も最多となり、以下、「仕入先からの値上げ要請」(44.4%)、「為替レートの変動」(33.3%)、「大手企業・工場の縮小・撤退」、「天候の不順」、「人手不足」、「同業者間の競争の激化」、「輸入品との競争の激化」、「利幅の縮小」、「人件費以外の経費の増加」、「取引先の減少」、「店舗の狭小・老朽化」(各11.1%) の順となった。

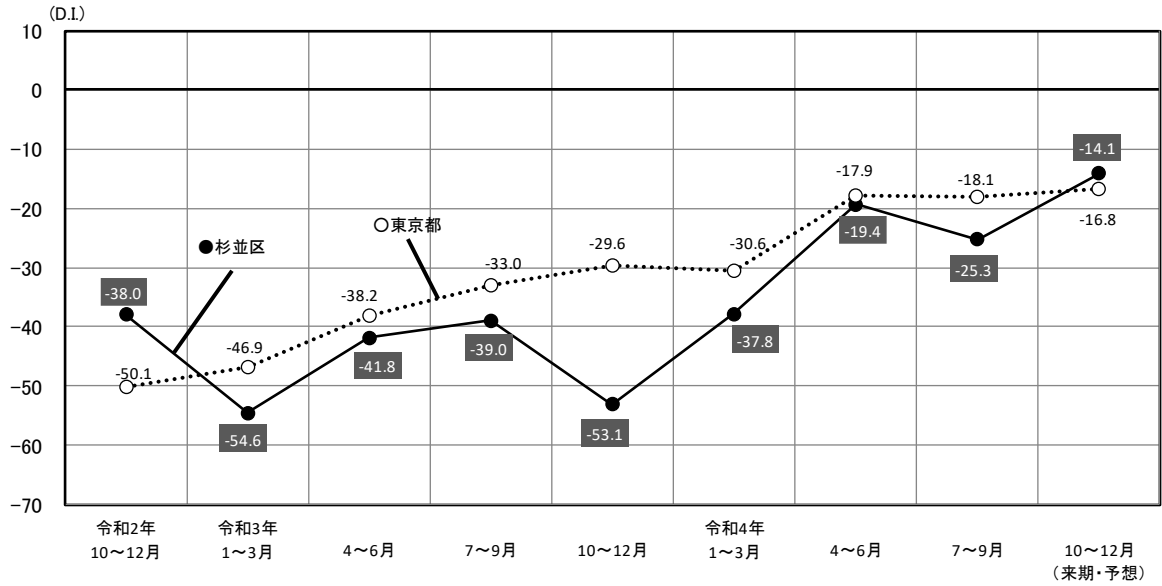
重点経営施策は、「販路を広げる」(88.9%) が最多となり、以下、「情報力を強化する」、「経費を節減する」(各44.4%)、「流通経路の見直しをする」、「人材を確保する」、「品揃えを充実する」(各22.2%)、「新しい事業を始める」、「取引先を支援する」(各11.1%) の順となった。

## 来 期 の 見 通 し

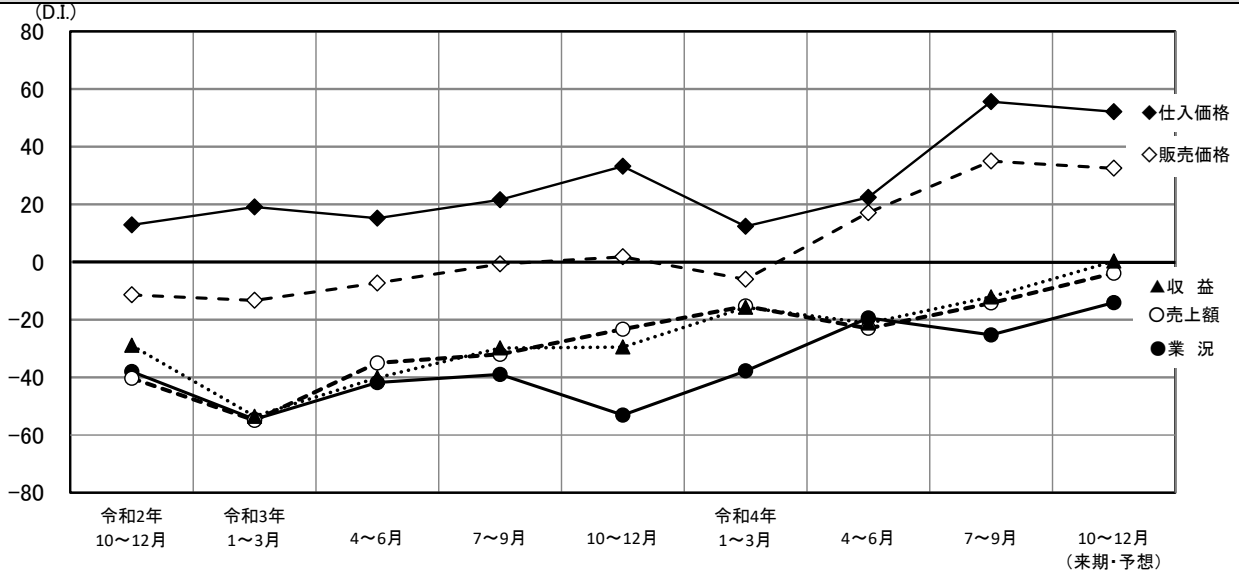
来期の見通しについて、業況 ( $\Delta 14.1$ 予想) は厳しさが大きく和らぐと予想される。売上額 ( $\Delta 3.9$ 予想) は減少幅が大きく縮小し、収益 ( $0.3$ 予想) は増加に転じると見込まれる。

価格面では、販売価格 ( $32.5$ 予想)、仕入価格 ( $52.1$ 予想) はともに上昇がやや弱まる見通しである。

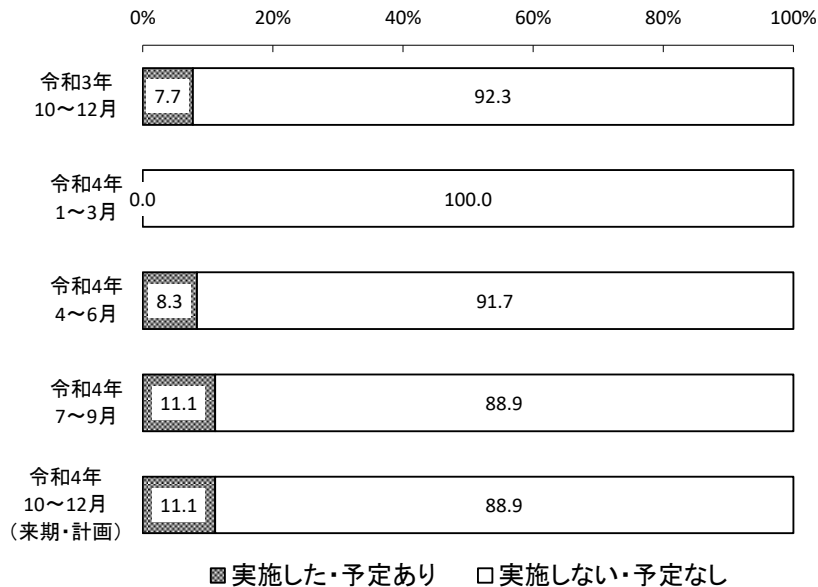
### 【卸売業】 杉並区と全都の業況の動き（実績）と来期の予測



### 業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き（実績）と来期の予測

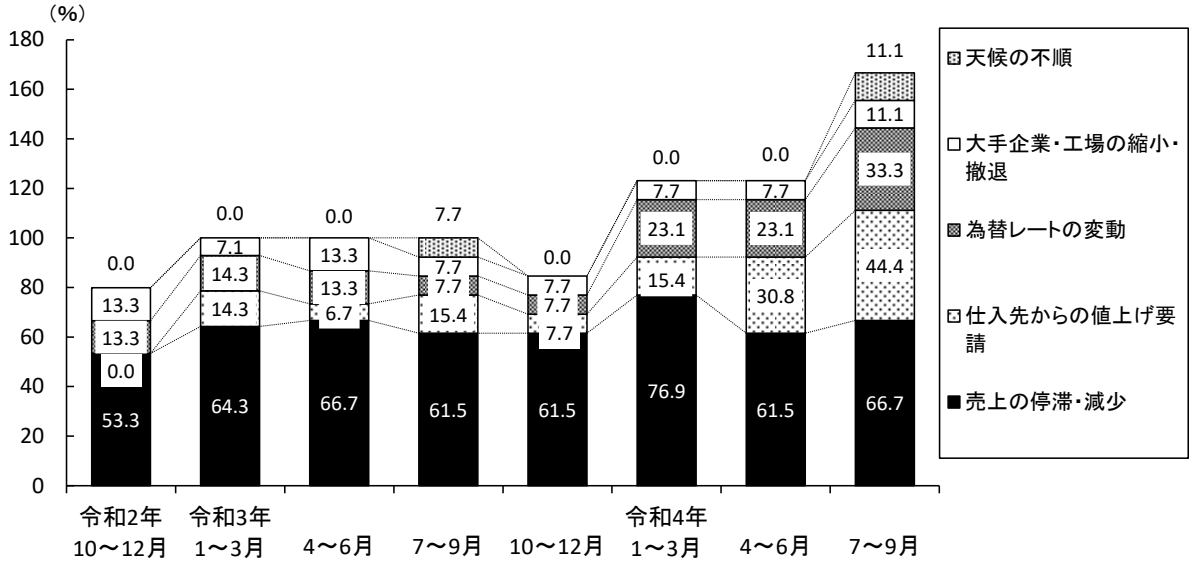


### 設備投資動向



## 経営上の問題点

(複数回答)

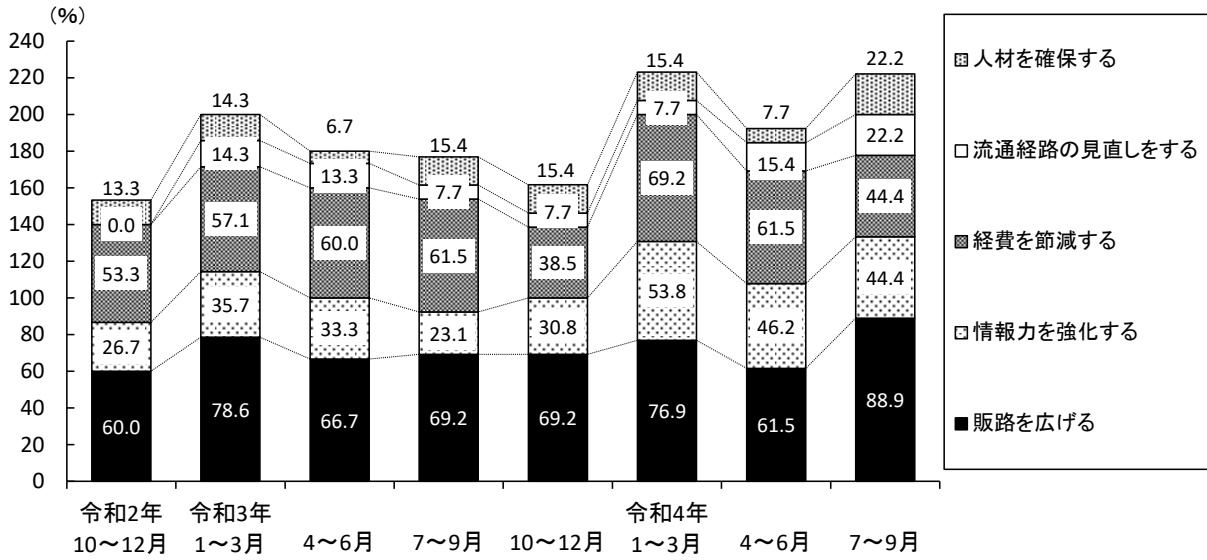


(注：今期の上位5項目を基準に作成しているため、前期以前の項目は上位5項目となっていない場合があります。)

令和3年10~12月		令和4年1~3月		令和4年4~6月		令和4年7~9月	
売上の停滞・減少	61.5 %	売上の停滞・減少	76.9 %	売上の停滞・減少	61.5 %	売上の停滞・減少	66.7 %
同業者間の競争の激化	23.1 %	為替レートの変動		仕入先からの値上げ要請	30.8 %	仕入先からの値上げ要請	44.4 %
人手不足 利幅の縮小 取引先の減少	15.4 %	利幅の縮小	23.1 %	為替レートの変動	23.1 %	為替レートの変動	33.3 %
		同業者間の競争の激化		同業者間の競争の激化			大手企業・工場の縮小・撤退／天候の不順／人手不足／同業者間の競争の激化／輸入品との競争の激化／利幅の縮小／人件費以外の経費の増加／取引先の減少／店舗の狭小・老朽化
		仕入先からの値上げ要請	15.4 %	取引先の減少	15.4 %	利幅の縮小	

## 重点経営施策

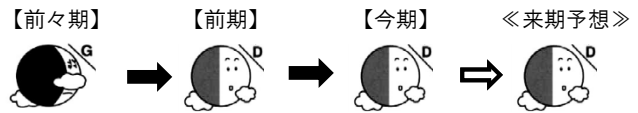
(複数回答)



(注：今期の上位5項目を基準に作成しているため、前期以前の項目は上位5項目となっていない場合があります。)

令和3年10~12月		令和4年1~3月		令和4年4~6月		令和4年7~9月	
販路を広げる	69.2 %	販路を広げる	76.9 %	経費を節減する		販路を広げる	88.9 %
経費を節減する	38.5 %	経費を節減する	69.2 %	販路を広げる	61.5 %	情報力を強化する	
情報力を強化する	30.8 %	情報力を強化する	53.8 %	情報力を強化する	46.2 %	経費を節減する	44.4 %
人材を確保する	15.4 %	人材を確保する	15.4 %	品揃えを充実する	23.1 %	流通経路の見直しをする	
品揃えを充実する／提携先を見つける／パート化を図る／流通経路の見直しをする／取引先を支援する／労働条件を改善する	7.7 %	労働条件を改善する／取引先を支援する／流通経路の見直しをする／教育訓練を強化する／パート化を図る／提携先を見つける	7.7 %	流通経路の見直しをする	15.4 %	人材を確保する	22.2 %
						品揃えを充実する	
						新しい事業を始める	
						取引先を支援する	11.1 %

# 小 売 業



## 業 況

業況 ( $\Delta 42.2 \rightarrow \Delta 12.6 \rightarrow \Delta 11.2$ ) は前期並の厳しさとなった。業種別でみると、「衣類、呉服、身の回り品」 ( $\Delta 31.9 \rightarrow \Delta 42.3 \rightarrow \Delta 28.7$ )、「飲食店」 ( $\Delta 62.7 \rightarrow \Delta 24.8 \rightarrow \Delta 11.3$ ) はともに厳しさが大きく和らぎ、「飲食料品」 ( $\Delta 22.4 \rightarrow 24.6 \rightarrow \Delta 2.1$ ) は悪化に転じた。

## 売上額 ・ 収益

売上額 ( $\Delta 26.8 \rightarrow 3.0 \rightarrow \Delta 4.3$ ) は増加から減少に転じ、収益 ( $\Delta 33.1 \rightarrow \Delta 8.9 \rightarrow \Delta 6.5$ ) は減少幅がやや縮小した。

## 価格 ・ 在庫動向

販売価格 ( $\Delta 12.0 \rightarrow \Delta 7.7 \rightarrow 14.7$ ) は上昇に転じ、仕入価格 ( $9.9 \rightarrow 38.8 \rightarrow 32.1$ ) は上昇が大きく弱まった。

また、在庫 ( $\Delta 10.4 \rightarrow \Delta 0.1 \rightarrow 0.2$ ) は前期並となった。

## 資金繰り・借入難易度・設備投資動向

資金繰り ( $\Delta 23.4 \rightarrow \Delta 16.9 \rightarrow \Delta 6.3$ ) は窮屈感が大きく緩和し、借入難易度 ( $\Delta 8.7 \rightarrow \Delta 4.4 \rightarrow 6.3$ ) は好転した。

設備投資を「実施した」企業 ( $10.0\% \rightarrow 13.3\% \rightarrow 16.0\%$ ) は前期より2.7ポイント増となった。

## 経営上の問題点・重点経営施策

経営上の問題点は、「売上の停滞・減少」 (30.8%) が今期も最多となり、以下、「仕入先からの値上げ要請」 (26.9%)、「利幅の縮小」、「人手不足」 (各 19.2%)、「大型店との競争の激化」、「同業者間の競争の激化」 (各 15.4%)、「取引先の減少」、「商圈人口の減少」 (各 7.7%) の順となった。

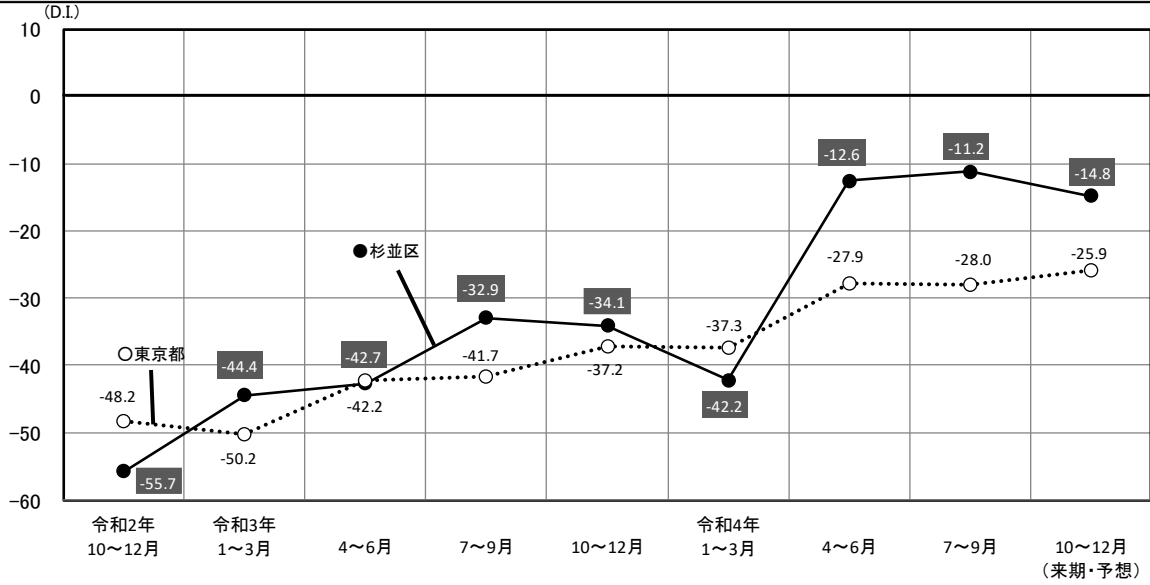
重点経営施策は、「経費を節減する」 (46.2%) が今期も最多となり、以下、「仕入先を開拓・選別する」、「宣伝・広告を強化する」、「品揃えを改善する」 (各 15.4%)、「人材を確保する」 (11.5%)、「店舗・設備を改装する」、「商店街事業を活性化させる」 (各 7.7%) の順となった。

## 来 期 の 見 通 し

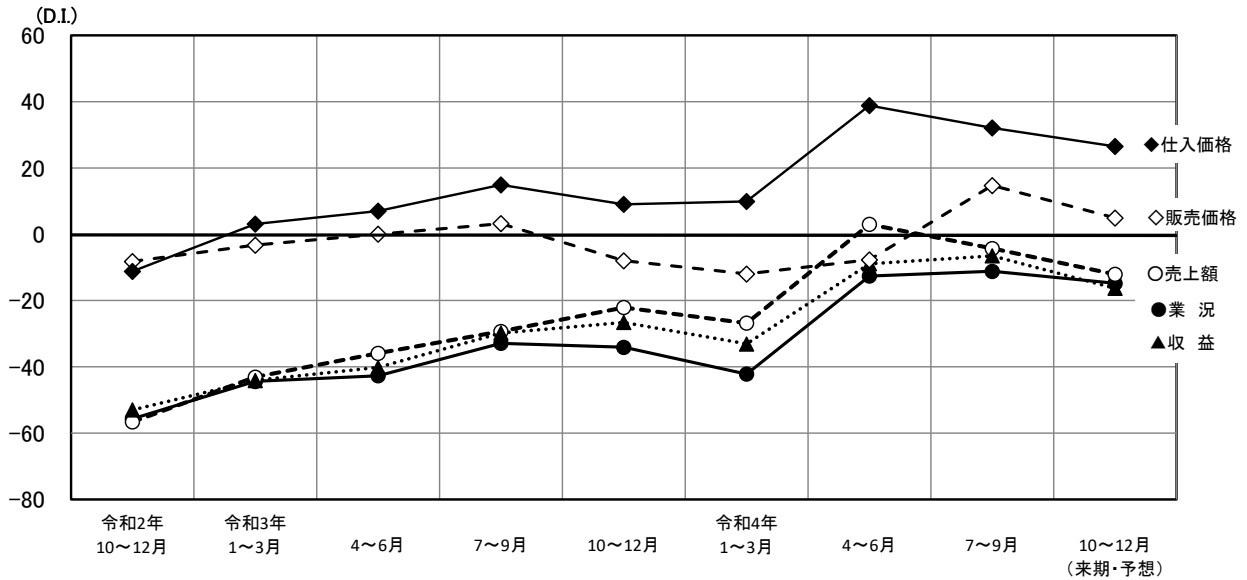
来期の見通しについて、業況 ( $\Delta 14.8$  予想) は低調感がやや強まると予想される。売上額 ( $\Delta 12.1$  予想)、収益 ( $\Delta 16.3$  予想) はともに減少幅が大きく拡大すると見込まれる。

価格面では、販売価格 (4.9 予想) は上昇が大きく弱まり、仕入価格 (26.5 予想) は上昇がやや弱まる見通しである。

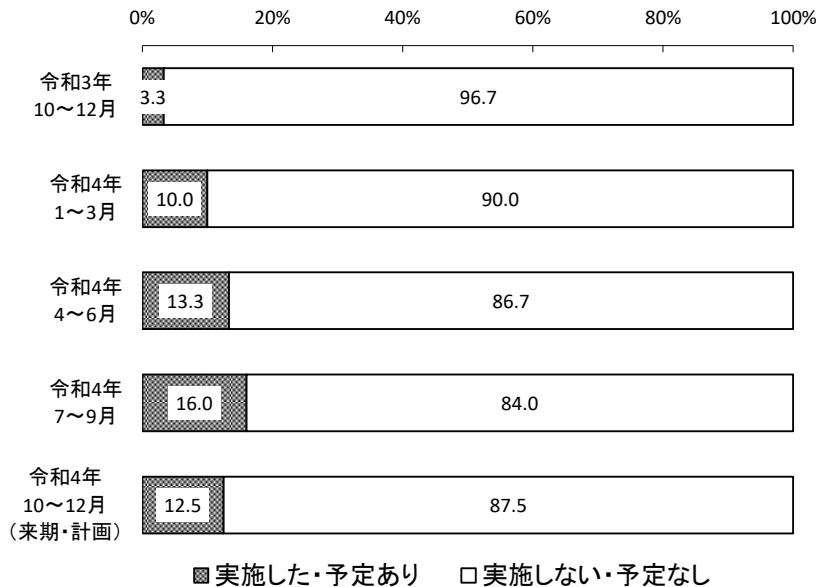
### 【小売業】杉並区と全都の業況の動き（実績）と来期の予測



### 業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き（実績）と来期の予測

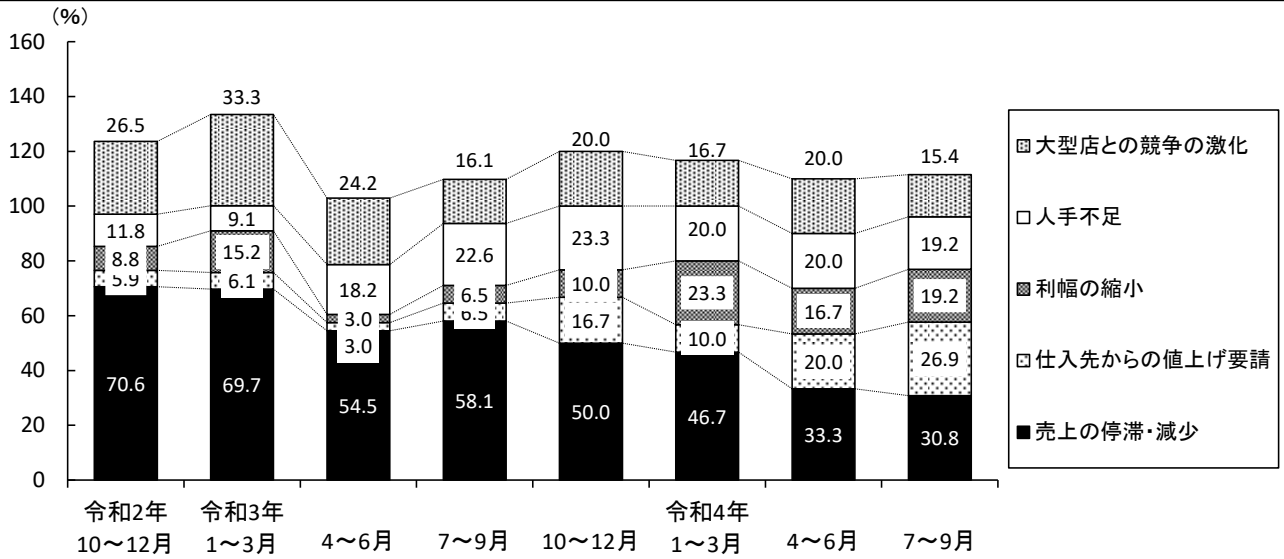


### 設備投資動向



## 経営上の問題点

(複数回答)

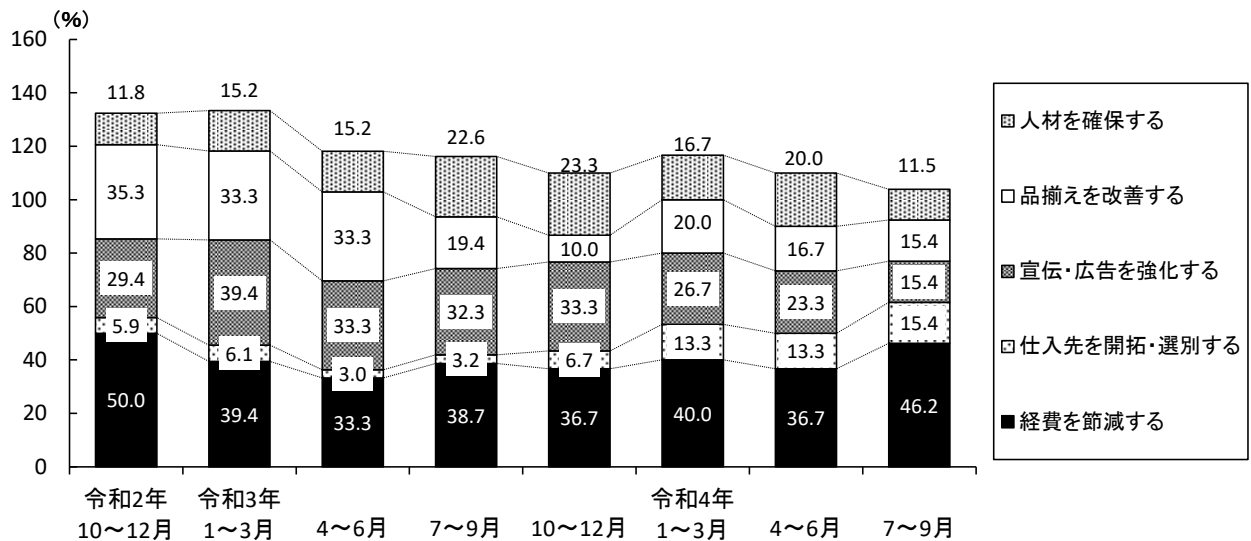


(注: 今期の上位5項目を基準に作成しているため、前期以前の項目は上位5項目となっていない場合があります。)

令和3年10~12月		令和4年1~3月		令和4年4~6月		令和4年7~9月	
売上の停滞・減少	50.0 %	売上の停滞・減少	46.7 %	売上の停滞・減少	33.3 %	売上の停滞・減少	30.8 %
商店街の集客力の低下	33.3 %	利幅の縮小	23.3 %	仕入先からの値上げ要請		仕入先からの値上げ要請	26.9 %
人手不足	23.3 %			大型店との競争の激化	20.0 %	利幅の縮小	19.2 %
同業者間の競争の激化				人手不足		人手不足	19.2 %
大型店との競争の激化	20.0 %	商店街の集客力の低下 同業者間の競争の激化 人手不足	20.0 %	利幅の縮小 同業者間の競争の激化	16.7 %	大型店との競争の激化 同業者間の競争の激化	15.4 %
						取引先の減少	7.7 %
						商圏人口の減少	

## 重点経営施策

(複数回答)



(注: 今期の上位5項目を基準に作成しているため、前期以前の項目は上位5項目となっていない場合があります。)

令和3年10~12月		令和4年1~3月		令和4年4~6月		令和4年7~9月	
経費を節減する	36.7 %	経費を節減する	40.0 %	経費を節減する	36.7 %	経費を節減する	46.2 %
宣伝・広告を強化する	33.3 %	宣伝・広告を強化する	26.7 %	宣伝・広告を強化する	23.3 %	仕入先を開拓・選別する	
商店街事業を活性化させる		品揃えを改善する	20.0 %	人材を確保する	20.0 %	宣伝・広告を強化する	15.4 %
人材を確保する	23.3 %	商店街事業を活性化させる				品揃えを改善する	
						人材を確保する	11.5 %
品揃えを改善する	10.0 %	人材を確保する	16.7 %	商店街事業を活性化させる 品揃えを改善する	16.7 %	店舗・設備を改装する	7.7 %
						商店街事業を活性化させる	



# 業種別動向

## ●衣服・呉服・身の回り品●

業況（△31.9→△42.3→△28.7）は厳しさが大きく和らぎ、売上額（△52.5→△46.8→△29.3）、収益（△51.8→△44.6→△31.8）はともに減少幅が大きく縮小した。販売価格（△33.8→△30.2→8.7）は上昇に転じ、仕入価格（△30.8→11.7→△1.9）は上昇から下降に転じた。

来期の見通しについて、業況（△30.3予想）は今期同様で推移すると予想される。売上額（△46.3予想）、収益（△45.8予想）はともに減少幅が大きく拡大すると見込まれる。販売価格（△1.4予想）は上昇から下降に転じ、仕入価格（△4.3予想）は下降がやや強まる見通しである。

## ●飲食料品●

業況（△22.4→24.6→△2.1）は悪化に転じ、売上額（△27.6→28.1→△1.0）、収益（△28.3→3.8→△14.3）はともに増加から減少に転じた。販売価格（△8.6→△16.5→20.7）は上昇に転じ、仕入価格（21.1→45.4→35.2）は上昇が大きく弱まった。

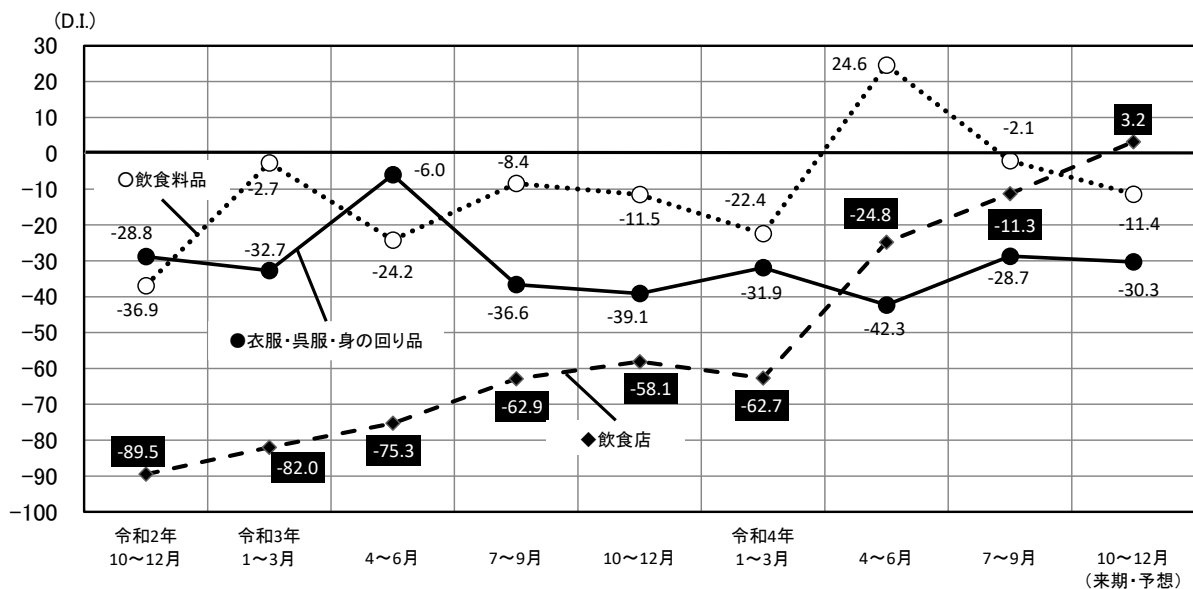
来期の見通しについて、業況（△11.4予想）は低調感が大きく強まると予想される。売上額（6.5予想）は増加に転じ、収益（△6.0予想）は減少幅が大きく縮小すると見込まれる。販売価格（14.8予想）は上昇がやや弱まり、仕入価格（34.3予想）は今期同様で推移する見通しである。

## ●飲食店●

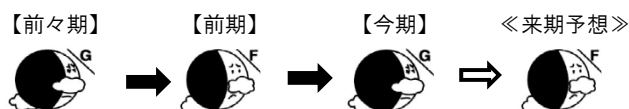
業況（△62.7→△24.8→△11.3）は厳しさが大きく和らぎ、売上額（△50.7→△2.2→△3.6）は前期並となり、収益（△55.5→△20.6→2.6）は増加に転じた。販売価格（△7.0→9.7→△2.8）は上昇から下降に転じ、仕入価格（31.2→63.0→52.4）は上昇が大きく弱まった。

来期の見通しについて、業況（3.2予想）は好転すると予想される。売上額（△13.6予想）は減少幅が大きく拡大し、収益（△16.7予想）は増加から減少に転じると見込まれる。販売価格（△6.6予想）は下降がやや強まり、仕入価格（47.4予想）は上昇がやや弱まる見通しである。

【小売業】中分類別の業況の動き（実績）と来期の予測



# サービス業



## 業況

業況 ( $\Delta 36.8 \rightarrow \Delta 31.8 \rightarrow \Delta 38.9$ ) は低調感が大きく強まった。業種別でみると、「自動車整備業、駐車場業」 ( $\Delta 20.9 \rightarrow \Delta 41.9 \rightarrow \Delta 7.1$ ) は厳しさが極端に和らぎ、「洗濯、理容、美容業」 ( $\Delta 37.3 \rightarrow \Delta 35.1 \rightarrow \Delta 47.7$ ) は低調感が大きく強まった。

## 売上額 ・ 収益

売上額 ( $\Delta 29.5 \rightarrow \Delta 9.7 \rightarrow \Delta 9.5$ ) は前期並となり、収益 ( $\Delta 25.7 \rightarrow \Delta 24.0 \rightarrow \Delta 15.3$ ) は減少幅が大きく縮小した。

## 料金・材料価格動向

料金価格 (3.7 $\rightarrow$ 5.6 $\rightarrow$ 7.2) は前期並となり、材料価格 (26.1 $\rightarrow$ 44.9 $\rightarrow$ 50.6) は上昇がやや強まった。

## 資金繰り・借入難易度・設備投資動向

資金繰り ( $\Delta 15.7 \rightarrow \Delta 9.4 \rightarrow \Delta 7.2$ ) は窮屈感がやや緩和し、借入難易度 (20.0 $\rightarrow$ 8.3 $\rightarrow$ 18.8) は容易さが大きく増した。

設備投資を「実施した」企業 (16.1% $\rightarrow$ 20.7% $\rightarrow$ 8.7%) は前期より12.0ポイント減となった。

## 経営上の問題点・重点経営施策

経営上の問題点は、「売上の停滞・減少」(33.3%) が今期も最多となり、以下、「材料価格の上昇」、「人手不足」(各20.8%)、「同業者間の競争の激化」(16.7%)、「大企業との競争の激化」(12.5%)、「利幅の縮小」、「人件費以外の経費の増加」(各8.3%) の順となった。

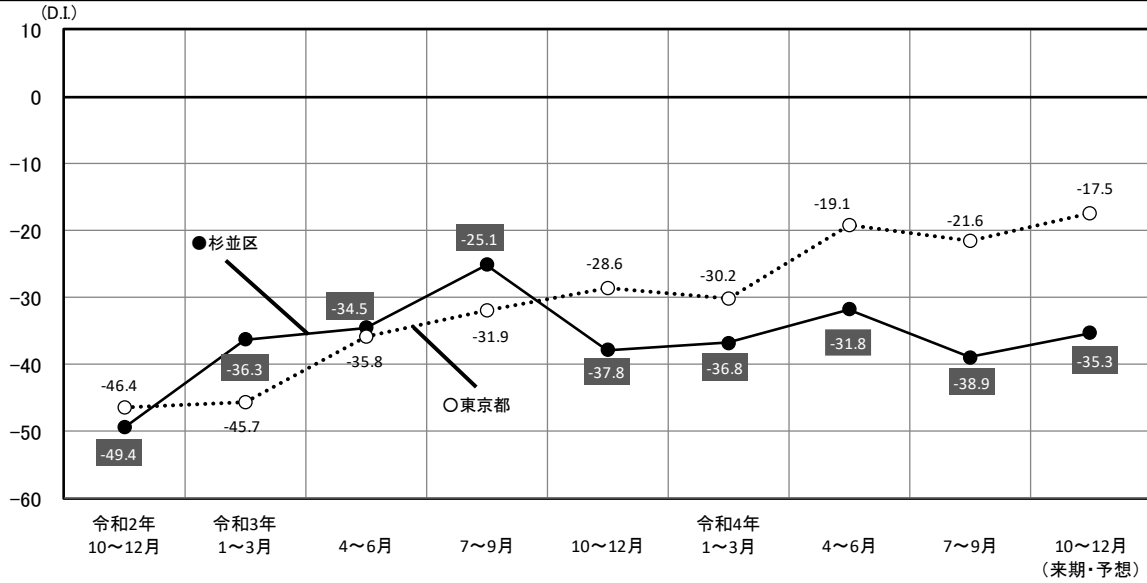
重点経営施策は、「経費を節減する」、「販路を広げる」(各50.0%) が最多となり、以下、「人材を確保する」(20.8%)、「宣伝・広告を強化する」(12.5%)、「教育訓練を強化する」、「提携先を見つける」(各8.3%)、「技術力を強化する」(4.2%) の順となった。

## 来期の見通し

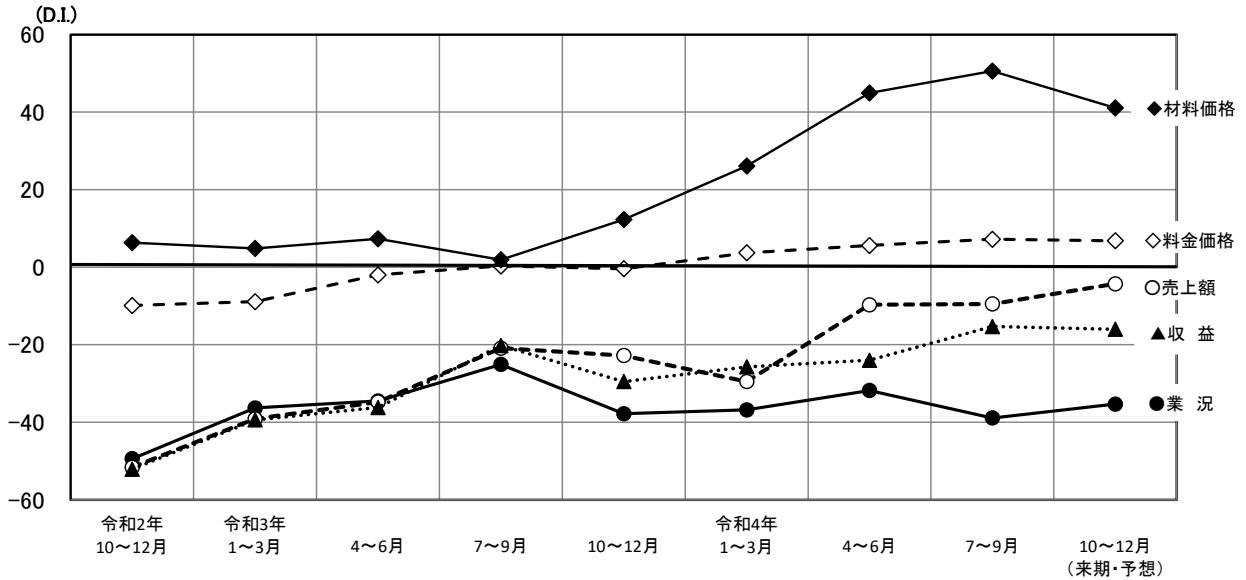
来期の見通しについて、業況 ( $\Delta 35.3$ 予想) は厳しさがやや和らぐと予想される。売上額 ( $\Delta 4.3$ 予想) は減少幅がやや縮小し、収益 ( $\Delta 16.0$ 予想) は今期同様で推移すると見込まれる。

価格面では、料金価格 (6.8予想) は今期同様で推移し、材料価格 (41.1予想) は上昇が大きく弱まる見通しである。

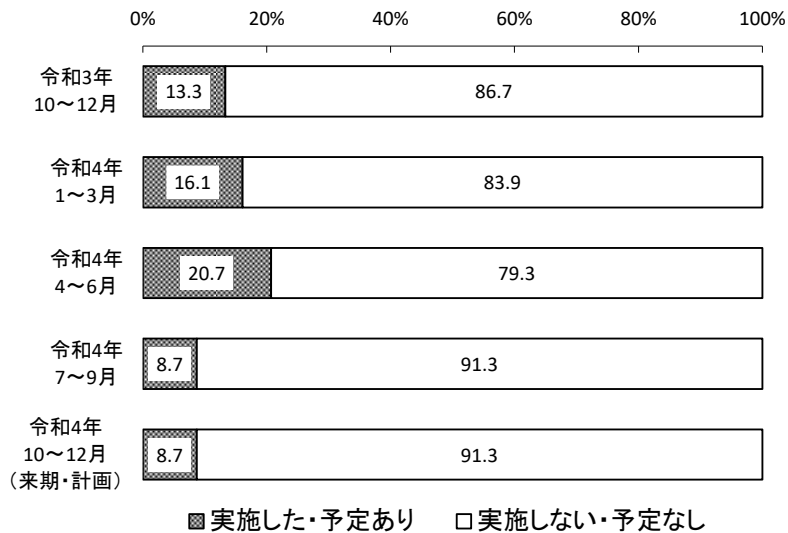
## 【サービス業】杉並区と全都の業況の動き（実績）と来期の予測



## 業況と売上額、収益、料金価格、材料価格の動き（実績）と来期の予測

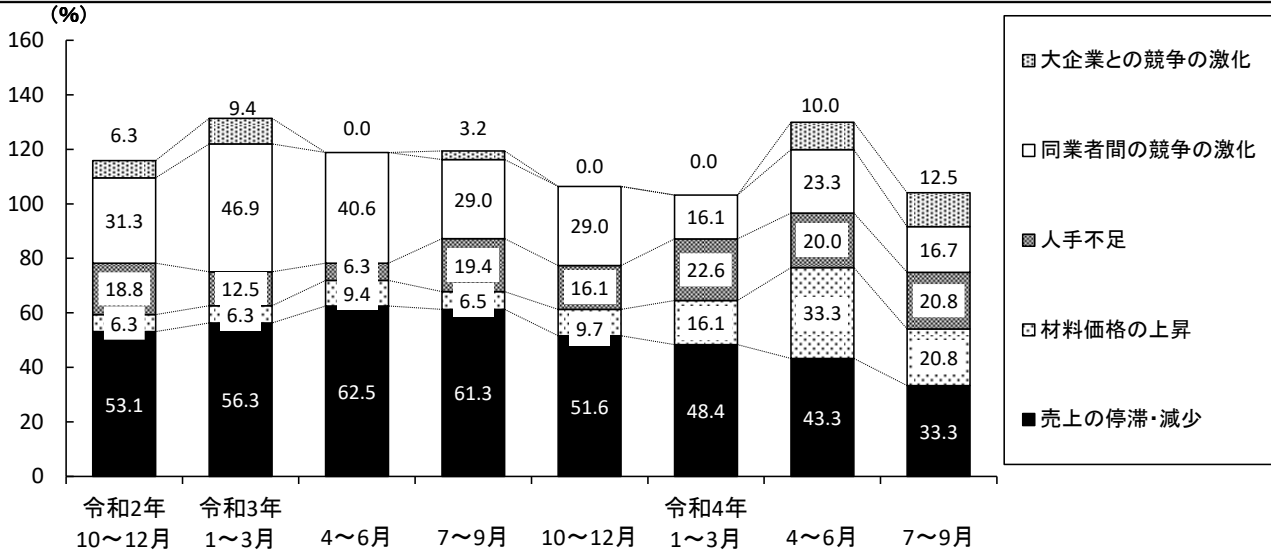


## 設備投資動向



## 経営上の問題点

(複数回答)

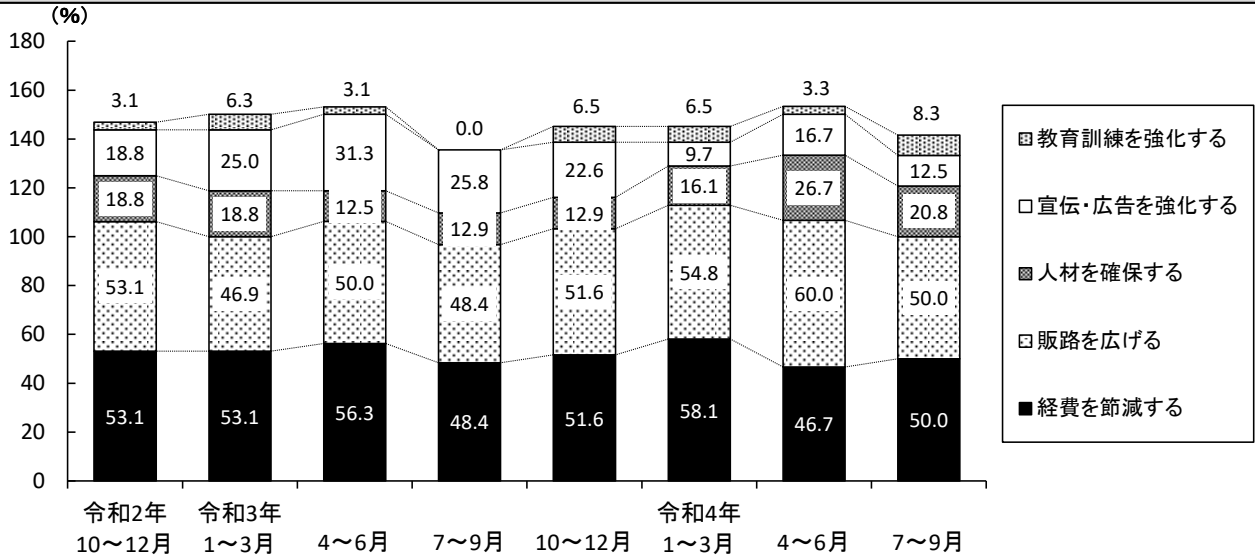


(注: 今期の上位5項目を基準に作成しているため、前期以前の項目は上位5項目となっていない場合があります。)

令和3年10~12月		令和4年1~3月		令和4年4~6月		令和4年7~9月	
売上の停滞・減少	51.6 %	売上の停滞・減少	48.4 %	売上の停滞・減少	43.3 %	売上の停滞・減少	33.3 %
同業者間の競争の激化	29.0 %	人手不足	22.6 %	材料価格の上昇	33.3 %	材料価格の上昇	20.8 %
人手不足	16.1 %	材料価格の上昇	16.1 %	同業者間の競争の激化	23.3 %	人手不足	16.7 %
利幅の縮小 人件費の増加	12.9 %	同業者間の競争の激化	16.1 %	人手不足	20.0 %	同業者間の競争の激化	16.7 %
		商圏人口の減少 人件費の増加 利幅の縮小	12.9 %	人件費の増加 利幅の縮小 大企業との競争の激化	10.0 %	大企業との競争の激化 利幅の縮小 人件費以外の経費の増加	8.3 %

## 重点経営施策

(複数回答)



(注: 今期の上位5項目を基準に作成しているため、前期以前の項目は上位5項目となっていない場合があります。)

令和3年10~12月		令和4年1~3月		令和4年4~6月		令和4年7~9月	
販路を広げる	51.6 %	経費を節減する	58.1 %	販路を広げる	60.0 %	経費を節減する	50.0 %
経費を節減する	22.6 %	販路を広げる	54.8 %	経費を節減する	46.7 %	販路を広げる	20.8 %
宣伝・広告を強化する	22.6 %	人材を確保する	16.1 %	人材を確保する	26.7 %	人材を確保する	20.8 %
技術力を強化する 人材を確保する	12.9 %	技術力を強化する	12.9 %	技術力を強化する	20.0 %	宣伝・広告を強化する	12.5 %
		宣伝・広告を強化する	9.7 %	宣伝・広告を強化する	16.7 %	教育訓練を強化する 提携先を見つける 技術力を強化する	8.3 % 4.2 %

# 業種別動向

## ●洗濯、理容、美容業●

業況 ( $\Delta 37.3 \rightarrow \Delta 35.1 \rightarrow \Delta 47.7$ ) は低調感が大きく強まり、売上額 ( $\Delta 34.6 \rightarrow \Delta 18.6 \rightarrow 4.2$ ) は増加に転じ、収益 ( $\Delta 28.2 \rightarrow \Delta 28.4 \rightarrow \Delta 25.0$ ) は減少幅がやや縮小した。料金価格 ( $0.4 \rightarrow 2.1 \rightarrow \Delta 0.7$ ) は上昇から下降に転じ、材料価格 ( $15.7 \rightarrow 42.6 \rightarrow 45.3$ ) は上昇がやや強まった。

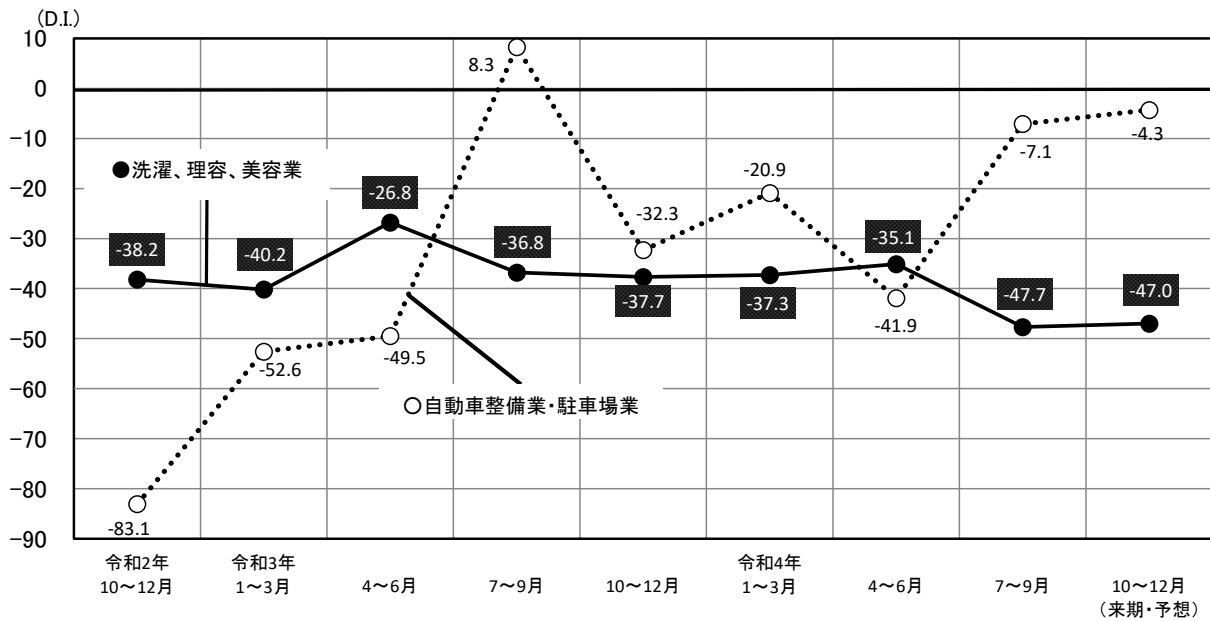
来期の見通しについて、業況 ( $\Delta 47.0$  予想) は今期同様に推移すると予想される。売上額 ( $\Delta 0.1$  予想) は増加から減少に転じ、収益 ( $\Delta 27.8$  予想) は減少幅がやや拡大すると見込まれる。料金価格 (7.7 予想) は上昇に転じ、材料価格 (44.2 予想) は今期同様に推移する見通しである。

## ●自動車整備業・駐車場業●

業況 ( $\Delta 20.9 \rightarrow \Delta 41.9 \rightarrow \Delta 7.1$ ) は厳しさが極端に和らいだ。売上額 ( $1.7 \rightarrow 13.9 \rightarrow \Delta 26.4$ ) は増加から減少に転じ、収益 ( $1.5 \rightarrow \Delta 1.8 \rightarrow \Delta 30.2$ ) は減少幅が極端に拡大した。料金価格 ( $\Delta 1.7 \rightarrow 5.4 \rightarrow \Delta 1.7$ ) は上昇から下降に転じ、材料価格 ( $27.4 \rightarrow 46.8 \rightarrow 78.1$ ) は上昇が極端に強まった。

来期の見通しについて、業況 ( $\Delta 4.3$  予想) は厳しさがやや和らぐと予想される。売上額 ( $\Delta 4.4$  予想)、収益 ( $\Delta 2.6$  予想) はともに減少幅が極端に縮小すると見込まれる。料金価格 ( $\Delta 3.0$  予想) は今期同様に推移し、材料価格 (56.5 予想) は上昇が極端に弱まる見通しである。

【サービス業】中分類別の業況の動き（実績）と来期の予測



# 建設業



## 業況

業況（△14.4→10.1→9.6）は前期並の良好感が続いた。

## 売上額・収益・受注残

売上額（△17.0→17.2→15.4）は前期並となり、収益（△10.2→16.0→△2.7）は増加から減少に転じ、受注残（△10.1→7.7→12.2）は増加幅がやや拡大した。

## 請負・材料価格動向

請負価格（7.0→20.6→14.2）は上昇が大きく弱まり、材料価格（48.5→72.5→71.6）は前期並となった。

## 資金繰り・借入難易度・設備投資動向

資金繰り（△6.6→3.4→0.5）は容易さがやや縮小し、借入難易度（△8.3→0.0→0.0）は前期並となった。

設備投資を「実施した」企業（11.5%→15.4%→13.6%）は前期より1.8ポイント減となった。

## 経営上の問題点・重点経営施策

経営上の問題点は、「材料価格の上昇」（52.2%）が今期も最多となり、以下、「人手不足」（43.5%）、「売上の停滞・減少」（26.1%）、「同業者間の競争の激化」（17.4%）、「下請の確保難」（13.0%）の順となった。

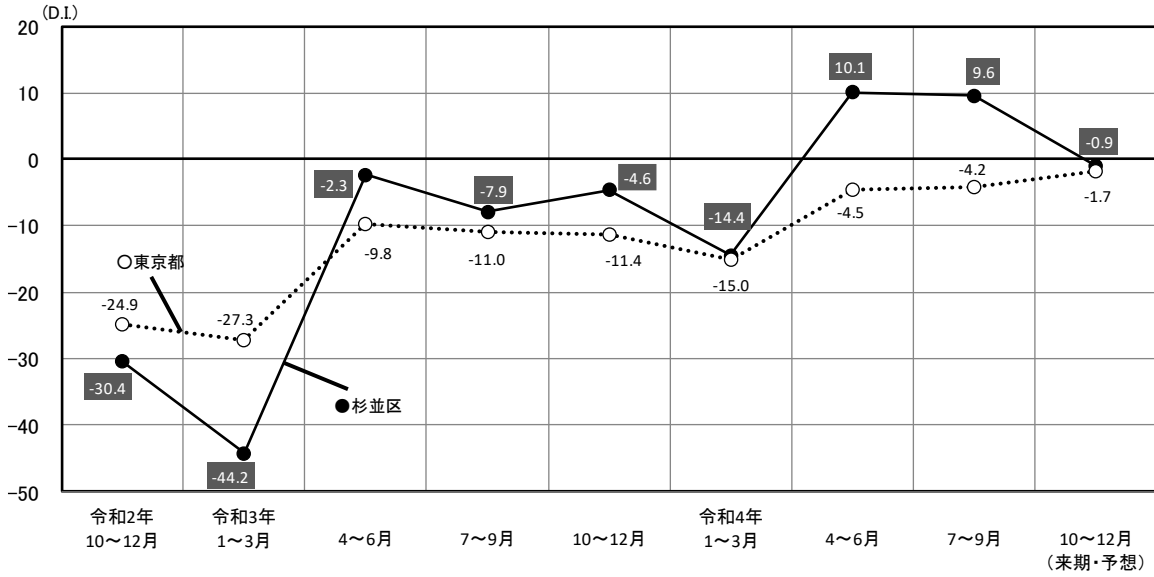
重点経営施策は、「経費を節減する」（60.9%）が最多となり、以下、「人材を確保する」、「販路を広げる」（各34.8%）、「情報力を強化する」（30.4%）、「不動産の有効活用を図る」、「新しい工法を導入する」、「技術力を高める」（各4.3%）の順となった。

## 来期の見通し

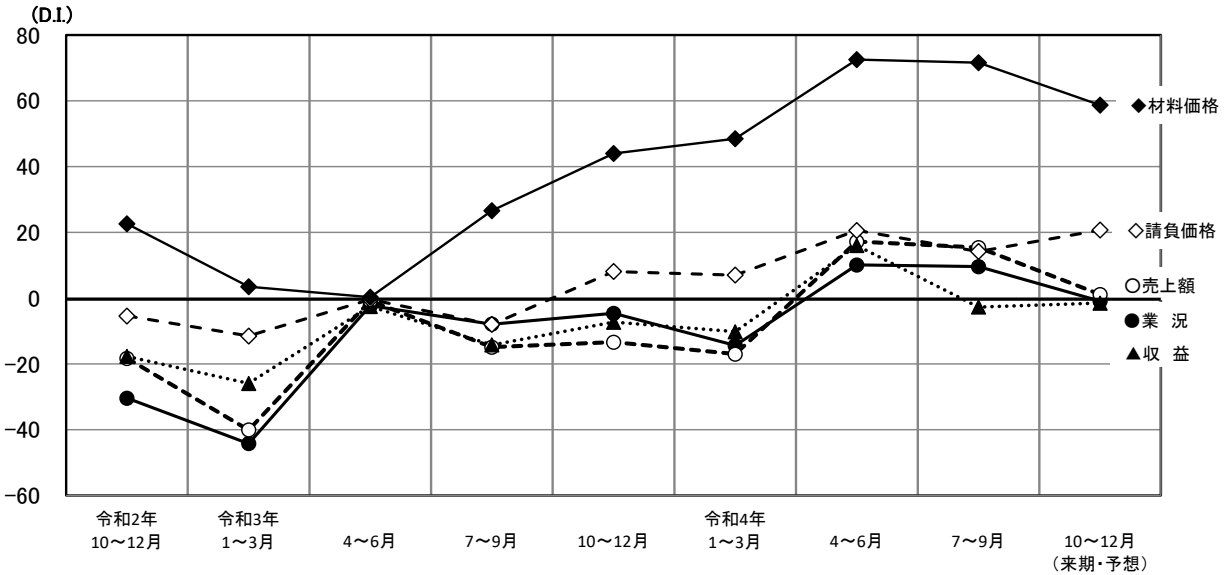
来期の見通しについて、業況（△0.9予想）は悪化に転じると予想されている。売上額（1.1予想）は増加幅が大きく縮小し、収益（△1.5予想）は今期同様で推移すると見込まれる。

価格面では、請負価格（20.7予想）は上昇が大きく強まり、材料価格（58.7予想）は上昇が大きく弱まる見通しである。

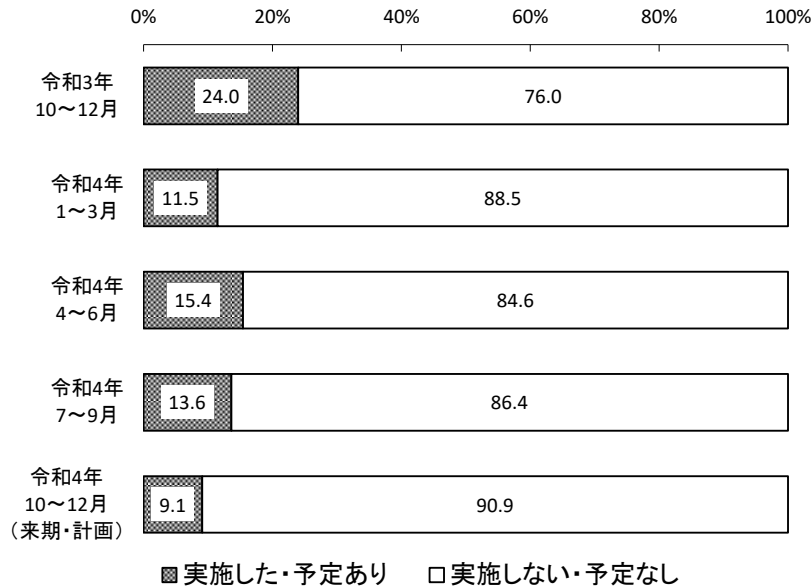
### 【建設業】 杉並区と全都の業況の動き（実績）と来期の予測



### 業況と売上額、収益、請負価格、材料価格の動き（実績）と来期の予測

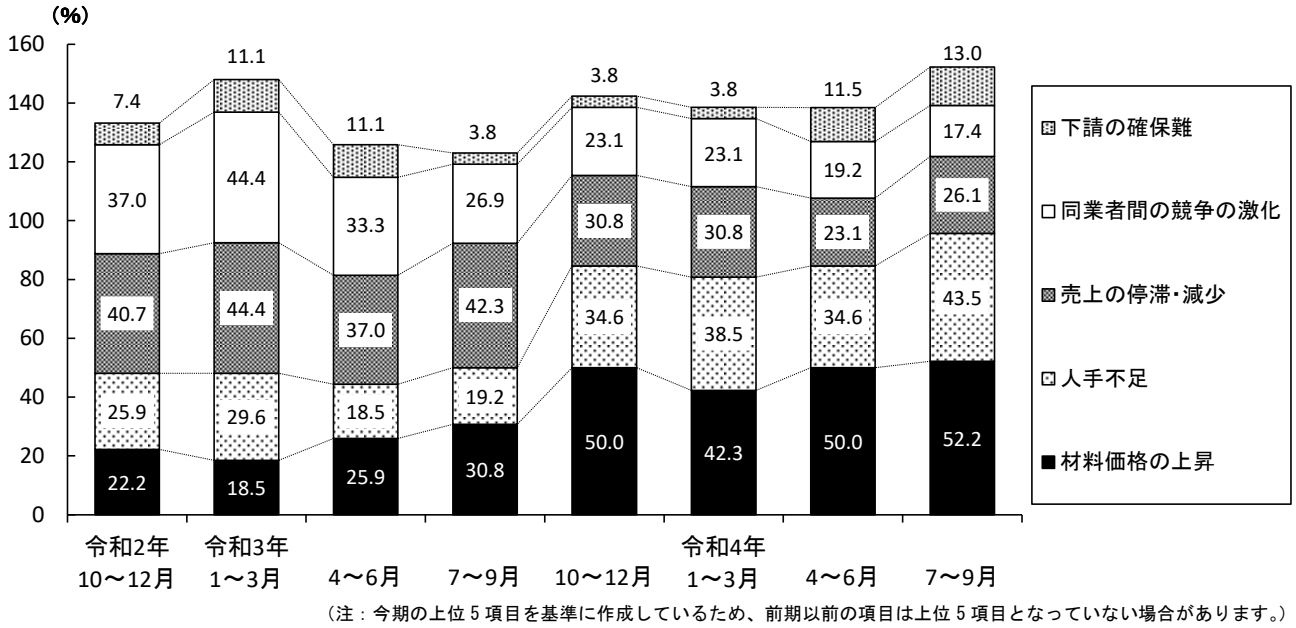


### 設備投資動向



## 経営上の問題点

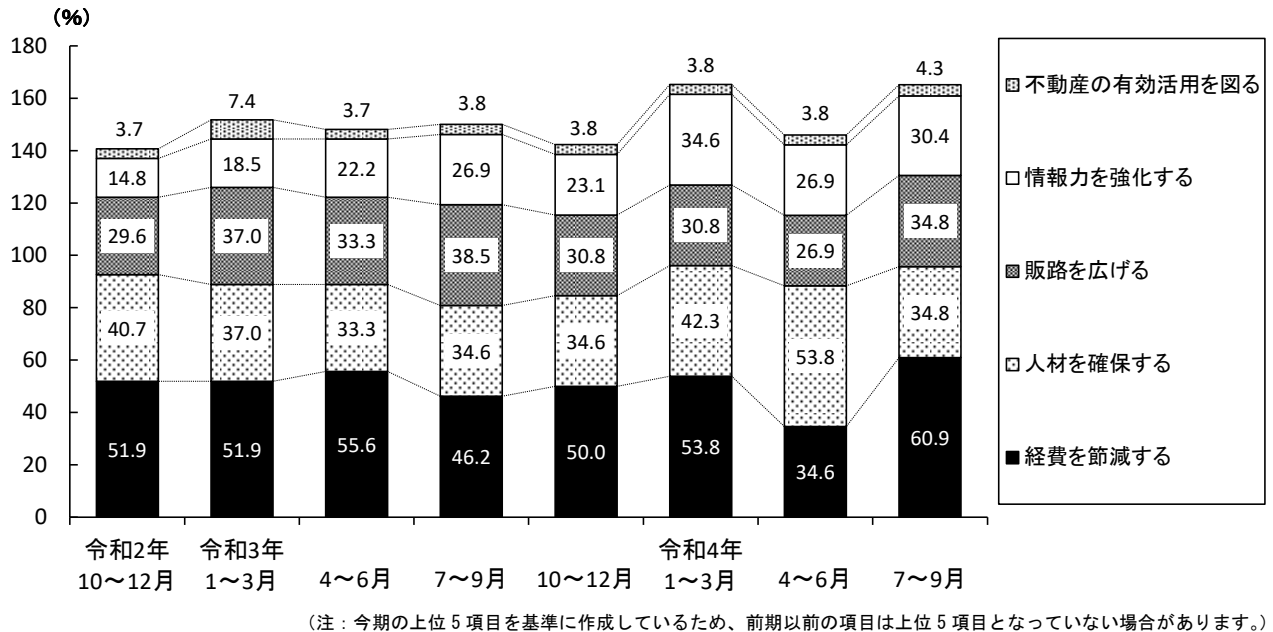
(複数回答)



令和3年10~12月		令和4年1~3月		令和4年4~6月		令和4年7~9月	
材料価格の上昇	50.0 %	材料価格の上昇	42.3 %	材料価格の上昇	50.0 %	材料価格の上昇	52.2 %
人手不足	34.6 %	人手不足	38.5 %	人手不足	34.6 %	人手不足	43.5 %
売上の停滞・減少	30.8 %	売上の停滞・減少	30.8 %	利幅の縮小	26.9 %	売上の停滞・減少	26.1 %
同業者間の競争の激化	23.1 %	同業者間の競争の激化	23.1 %	売上の停滞・減少	23.1 %	同業者間の競争の激化	17.4 %
大手企業との競争激化 利幅の縮小	15.4 %	利幅の縮小	15.4 %	同業者間の競争の激化	19.2 %	下請の確保難	13.0 %

## 重点経営施策

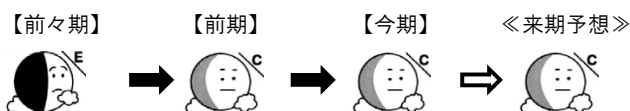
(複数回答)



令和3年10~12月		令和4年1~3月		令和4年4~6月		令和4年7~9月	
経費を節減する	50.0 %	経費を節減する	53.8 %	人材を確保する	53.8 %	経費を節減する	60.9 %
技術力を高める	38.5 %	人材を確保する	42.3 %	経費を節減する	34.6 %	人材を確保する	34.8 %
人材を確保する	34.6 %	情報力を強化する	34.6 %	情報力を強化する	26.9 %	販路を広げる	30.4 %
販路を広げる	30.8 %	販路を広げる	30.8 %	販路を広げる	11.5 %	情報力を強化する	30.4 %
情報力を強化する	23.1 %	技術力を高める	19.2 %	技術力を高める	11.5 %	不動産の有効活用を図る 新しい工法を導入する 技術力を高める	4.3 %



# 不動産業



## 業況

業況 ( $\Delta 23.2 \rightarrow \Delta 4.4 \rightarrow \Delta 9.0$ ) は低調感がやや強まった。

## 売上額 ・ 収益

売上額 ( $\Delta 17.9 \rightarrow \Delta 3.4 \rightarrow \Delta 14.8$ )、収益 ( $\Delta 15.3 \rightarrow \Delta 5.0 \rightarrow \Delta 21.8$ ) はともに減少幅が大きく拡大した。

## 価格 ・ 在庫動向

販売価格 ( $3.4 \rightarrow 4.9 \rightarrow 0.1$ ) は上昇がやや弱まり、仕入価格 ( $14.7 \rightarrow 21.0 \rightarrow 13.2$ ) は上昇が大きく弱まった。

また、在庫 ( $\Delta 1.9 \rightarrow \Delta 3.9 \rightarrow \Delta 5.0$ ) は前期並となった。

## 資金繰り ・ 借入難易度

資金繰り ( $\Delta 7.8 \rightarrow \Delta 3.0 \rightarrow 9.6$ ) は容易となり、借入難易度 ( $7.1 \rightarrow 6.7 \rightarrow 18.2$ ) は容易さが大きく増した。

## 経営上の問題点 ・ 重点経営施策

経営上の問題点は、「商品物件の不足」、「同業者間の競争の激化」(各46.2%)が最多となり、以下、「商品物件の高騰」(30.8%)、「人手不足」、「売上の停滞・減少」(各15.4%)、「大手企業との競争の激化」、「利幅の縮小」、「人件費の増加」(各7.7%)の順となった。

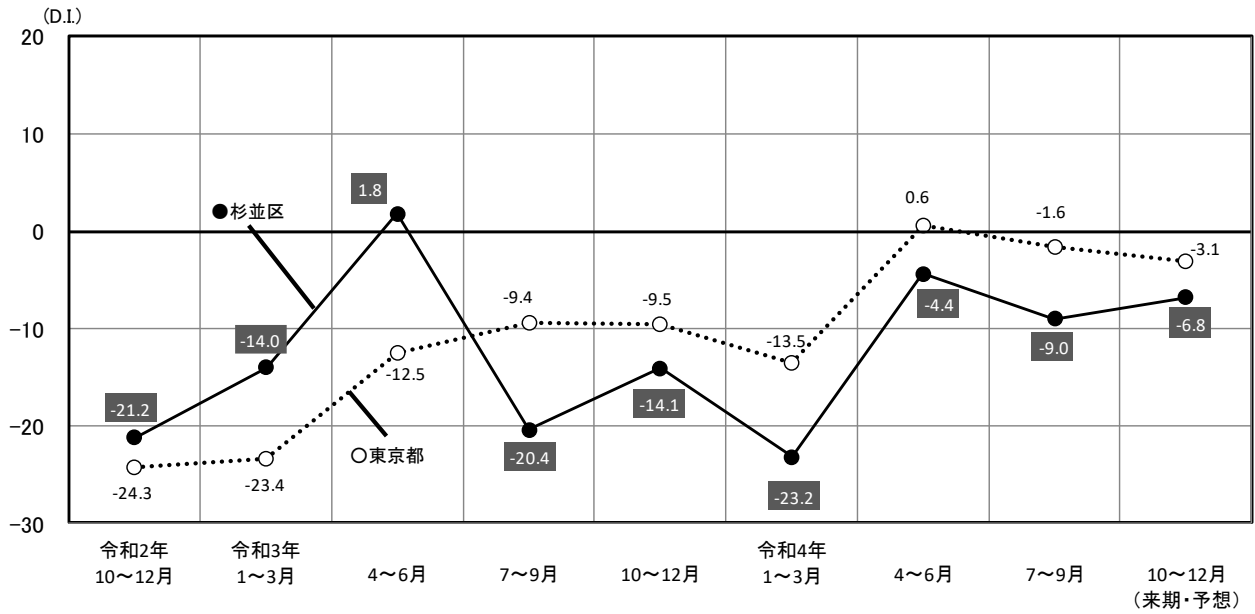
重点経営施策は、今期も「情報力を強化する」(61.5%)が最多となり、以下、「経費を節減する」(30.8%)、「販路を広げる」(23.1%)、「不動産の有効活用を図る」、「教育訓練を強化する」、「宣伝・広告を強化する」、「提携先を見つける」、「人材を確保する」(各7.7%)の順となった。

## 来期の見通し

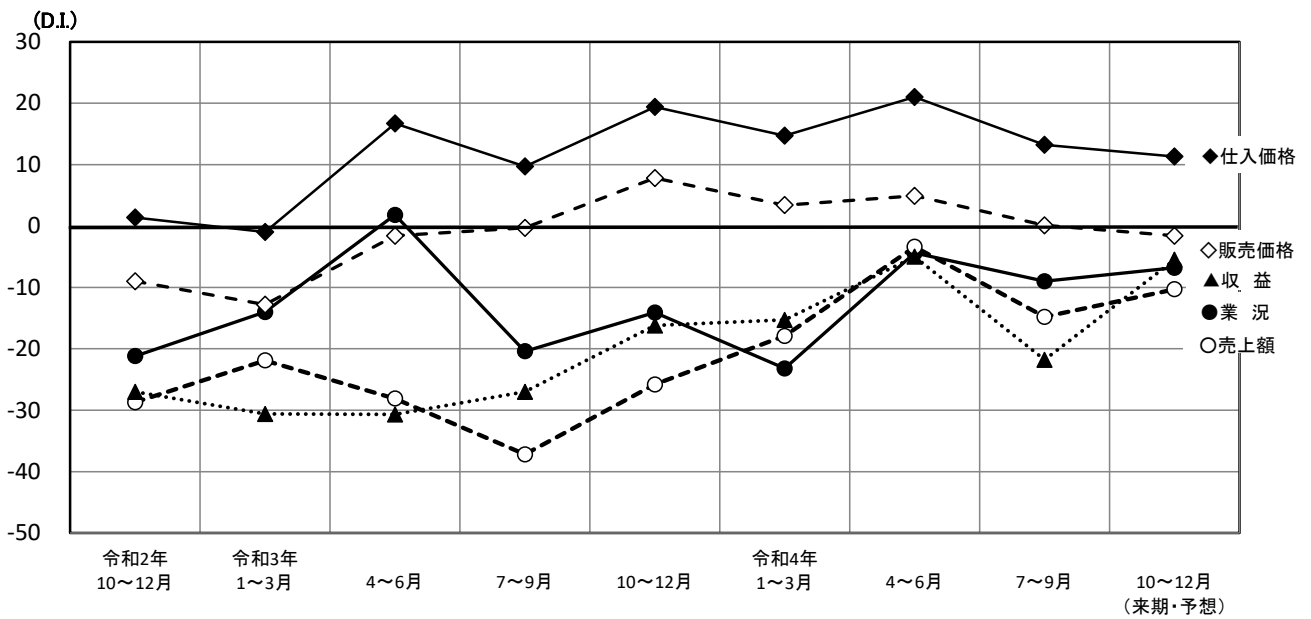
来期の見通しについて、業況 ( $\Delta 6.8$ 予想) は厳しさがやや和らぐと予想される。売上額 ( $\Delta 10.3$ 予想) は減少幅がやや縮小し、収益 ( $\Delta 5.5$ 予想) は減少幅が大きく縮小すると見込まれる。

価格面では、販売価格 ( $\Delta 1.6$ 予想) は変動なく推移し、仕入価格 (11.3予想) は今期同様の上昇幅で推移する見通しである。

【不動産業】杉並区と全都の業況の動き（実績）と来期の予測

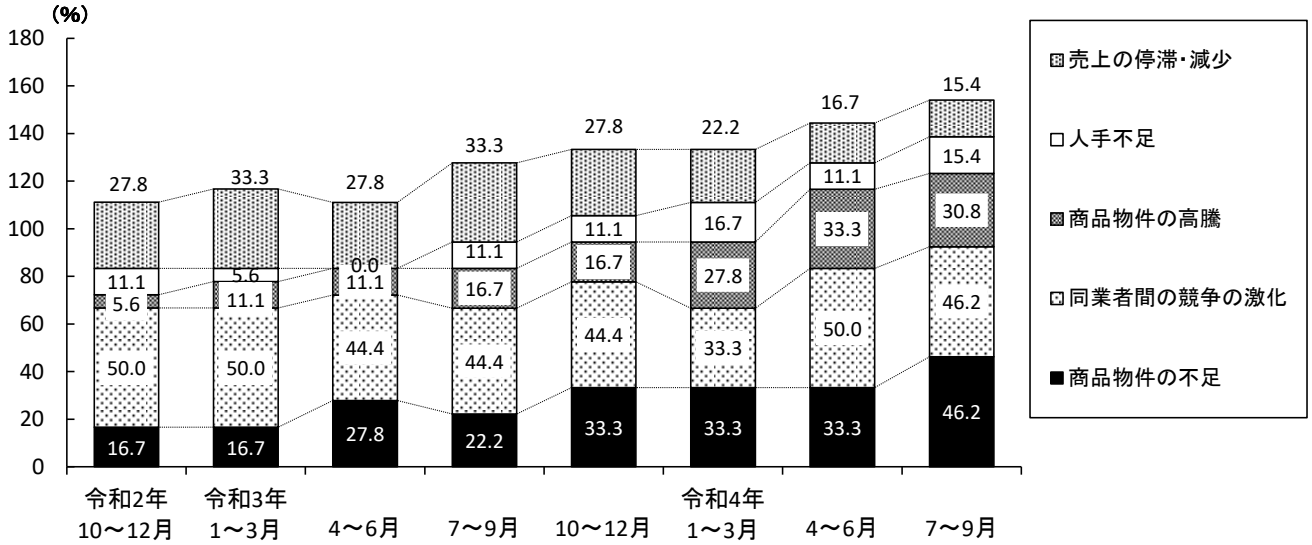


業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き（実績）と来期の予測



## 経営上の問題点

(複数回答)

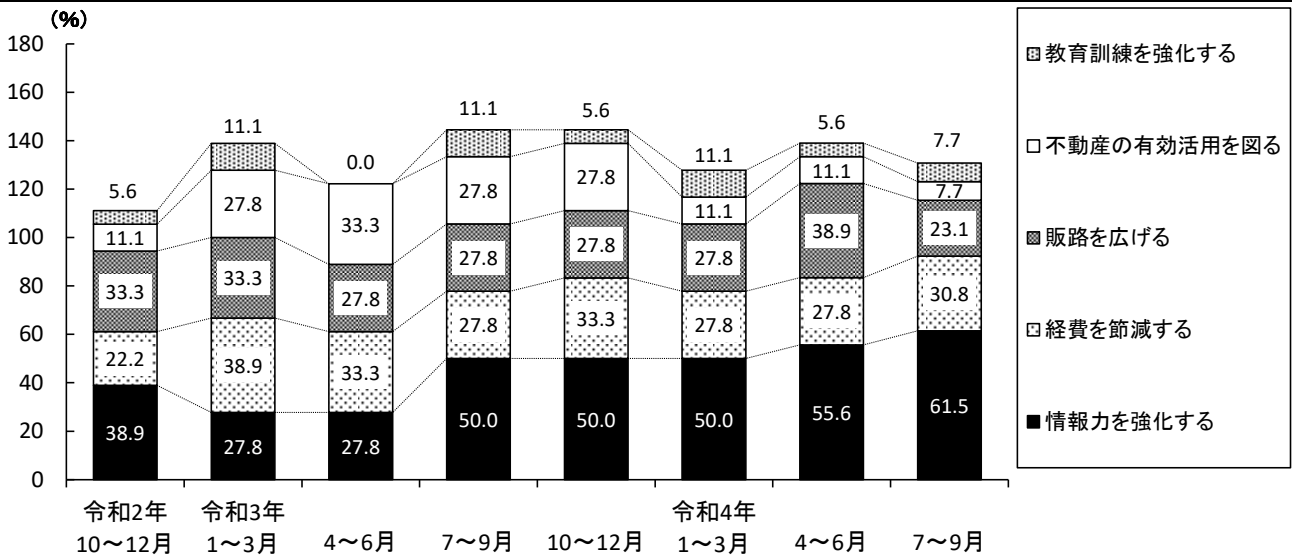


(注：今期の上位5項目を基準に作成しているため、前期以前の項目は上位5項目となっていない場合があります。)

令和3年10~12月		令和4年1~3月		令和4年4~6月		令和4年7~9月	
同業者間の競争の激化	44.4 %	商品物件の不足	33.3 %	同業者間の競争の激化	50.0 %	商品物件の不足	46.2 %
商品物件の不足	33.3 %	同業者間の競争の激化	33.3 %	商品物件の高騰	33.3 %	同業者間の競争の激化	46.2 %
売上の停滞・減少	27.8 %	商品物件の高騰	27.8 %	商品物件の不足	33.3 %	商品物件の高騰	30.8 %
利幅の縮小 商品物件の高騰	16.7 %	売上の停滞・減少	22.2 %	利幅の縮小 売上の停滞・減少	16.7 %	人手不足 売上の停滞・減少 大手企業との競争の激化 利幅の縮小 人件費の増加	15.4 %
		人手不足	16.7 %				7.7 %

## 重点経営施策

(複数回答)



(注：今期の上位5項目を基準に作成しているため、前期以前の項目は上位5項目となっていない場合があります。)

令和3年10~12月		令和4年1~3月		令和4年4~6月		令和4年7~9月	
情報力を強化する	50.0 %	情報力を強化する	50.0 %	情報力を強化する	55.6 %	情報力を強化する	61.5 %
宣伝・広告を強化する	44.4 %	宣伝・広告を強化する		販路を広げる	38.9 %	経費を節減する	30.8 %
経費を節減する	33.3 %	経費を節減する	27.8 %	経費を節減する	27.8 %	販路を広げる	23.1 %
販路を広げる 不動産の有効活用を図る	27.8 %	販路を広げる		宣伝・広告を強化する	22.2 %	不動産の有効活用を図る 教育訓練を強化する 宣伝・広告を強化する 提携先を見つける 人材を確保する	7.7 %
		人材を確保する	16.7 %	不動産の有効活用を図る	11.1 %		

## 製造業

- ・ペットオーダーケーキを製造しECサイトで販売している。売上は順調に拡大しており事業の拡大に対応するため近くに製造場を賃借した。  
(ペット向けケーキ製造販売)
- ・各種紙袋製造販売業を営んでいる。アパレルブランドの紙バッグ、包装紙、ポリ袋を主要製品としてきたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で百貨店等の店舗販売の低迷により、売上高が減少している。建材など他業界の包装関連の事業を模索している。  
(紙製品製造業)

## 卸売業

- ・化粧品の卸売販売事業を営んでいる。国内の自然食品などの販売店に自社ブランドの化粧品の卸売業を行っているが、新型コロナウイルス感染症の影響で、外出機会の減少、マスク着用による化粧品使用の減少などで、売上が減少している。  
(化粧品卸売業)
- ・和菓子原材料卸を営んでいる。当社の顧客は古くから付き合いのある先が多いが、コロナ禍や経営者の高齢化の影響で閉店する先も多く、洋菓子店のように新規開店する先も少ない。しかし、コロナ禍からV字回復を図ろうとする得意先からは、巣ごもり需要の拡大等を背景に、堅調な引き合いをいただいている。  
(和菓子用原材料卸売業)

## 小売業

- ・イタリアから輸入したストッキングや下着類をオンラインで販売している。ウクライナ情勢の影響で輸入リードタイムが長期化し、最近の為替変動による影響などを受け、販売不振となり売上減少がみられる。  
(衣類輸入販売)
- ・生花店を営んでいる。新型コロナウイルスの影響で来店客が減少している。売上高に比べて原価率が高く、営業利益の確保が課題となっている。  
(生花店)

## サービス業

- ・複数の撮影スタジオを貸し出している。主な顧客は制作会社や広告代理店で、広告撮影などに活用されている。クリエイティブ業界はこの数年コロナ禍の影響を受けてきたが、当社もこの夏の第7波の煽りを受け売上が減少した。加えて、秋以降の原油高やウクライナ情勢の影響で景気が下振れし、広告主が広告費を抑えたと見られ、事業の先行きも見通せない。  
(貸スタジオ業)
- ・美容関係のアプリ、Web制作、ポータルサイトの運営などを営む。新型コロナウイルス感染症により売上が減少するが、ここ数ヶ月回復してきて事業の拡大を図るべく、人材の増強を計画する。  
(Web制作)

## 建設業

- ・とび職を主とした建設業を営んでいる。新型コロナウイルス感染症の影響で人材不足になっており、事業を継続するために人材の確保が必要となっている。  
(とび建設業)
- ・主に内装工事や外構工事を行っている。新型コロナウイルスの影響や材料などの入手難で工事完了が遅れ売上入金が遅くなっている。そのため新たな引き合いがあっても手元資金が不足して受注できないため、事業の維持拡大のため材料仕入れや外注費などの運転資金の確保が必要となっている。  
(建設工事業)

## 不動産業

- ・土地・戸建住宅・アパート（一棟単位）の仲介（特に地主・家主と不動産会社の間の仲介）が主要業務である。コロナ禍の影響で不動産売買自体が振るわないことに加え、地主の多くが大手不動産会社に流れたことで販売不振に陥っており、家賃・駐車場代・光熱費・通信費等の運転資金を確保し、資金繰り維持が必要となっている。  
(不動産賃貸業)

# 日 銀 短 観

## [調査対象企業数]

(2022年9月調査)

	製造業	非製造業	合計	回答率
全国企業	3,804社	5,464社	9,268社	99.5%
うち大企業	959社	857社	1,816社	99.6%
中堅企業	1,010社	1,574社	2,584社	99.6%
中小企業	1,835社	3,033社	4,868社	99.4%

(参考)事業計画の前提となっている想定為替レート(全規模・全産業)

		2021年度			2022年度		
			上期	下期		上期	下期
円/ ドル	2022年6月調査	111.23	109.33	113.13	118.96	118.79	119.12
	2022年9月調査	—	—	—	125.71	124.98	126.43
円/ ユーロ	2022年6月調査	128.85	128.36	129.33	131.60	131.55	131.65
	2022年9月調査	—	—	—	134.15	134.01	134.29

## [業況判断]

(「良い」 - 「悪い」・%ポイント)

	2022年6月調査		2022年9月調査			
	最近	先行き	最近	変化幅	先行き	変化幅
<b>大企業</b>						
製造業	9	10	8	-1	9	1
非製造業	13	13	14	1	11	-3
全産業	11	11	11	0	11	0
<b>中堅企業</b>						
製造業	0	-3	0	0	-4	-4
非製造業	6	1	7	1	2	-5
全産業	3	0	4	1	0	-4
<b>中小企業</b>						
製造業	-4	-5	-4	0	-5	-1
非製造業	-1	-5	2	3	-3	-5
全産業	-2	-5	0	2	-4	-4
<b>全規模合計</b>						
製造業	1	-1	0	-1	-1	-1
非製造業	4	0	5	1	1	-4
全産業	2	-1	3	1	1	-2

## [売上高・収益計画]

(前年度比・%)

		2021年度		2022年度	
			修正率	(計画)	修正率
大企業	製造業	10.2	—	8.4	1.4
	国内	5.8	—	7.8	0.9
	輸出	20.4	—	9.6	2.5
	非製造業	2.6	—	6.9	2.6
	全産業	5.9	—	7.6	2.1
中堅企業	製造業	9.5	—	8.5	0.9
	非製造業	-1.8	—	4.7	0.4
	全産業	1.0	—	5.7	0.6
中小企業	製造業	7.6	—	3.6	0.8
	非製造業	3.0	—	3.0	1.5
	全産業	4.0	—	3.1	1.3
全規模合計	製造業	9.7	—	7.6	1.2
	非製造業	1.6	—	5.1	1.7
	全産業	4.3	—	6.0	1.6

(注) 修正率・幅は、前回調査との対比

## [需給・在庫・価格判断]

(%ポイント)

中小企業		2022年6月調査		2022年9月調査			
		最近	先行き	最近	変化幅	先行き	変化幅
国内での製商品・サービス需給判断 (「需要超過」-「供給超過」)	製造業	-10	-11	-10	0	-12	-2
	うち素材業種	-16	-16	-15	1	-17	-2
	加工業種	-7	-8	-7	0	-9	-2
海外での製商品需給判断 (「需要超過」-「供給超過」)	製造業	-2	-1	-3	-1	-4	-1
	うち素材業種	-8	-6	-12	-4	-12	0
	加工業種	2	1	2	0	1	-1
製商品在庫水準判断 (「過大」-「不足」)	製造業	11		12	1		
	うち素材業種	14		17	3		
	加工業種	8		9	1		
製商品流通在庫水準判断 (「過大」-「不足」)	製造業	2		7	5		
	うち素材業種	11		14	3		
	加工業種	-3		3	6		
販売価格判断 (「上昇」-「下落」)	製造業	35	43	37	2	43	6
	うち素材業種	45	50	45	0	44	-1
	加工業種	29	40	33	4	42	9
	非製造業	21	27	23	2	31	8
仕入価格判断 (「上昇」-「下落」)	製造業	79	76	77	-2	74	-3
	うち素材業種	78	72	74	-4	69	-5
	加工業種	80	79	80	0	77	-3
	非製造業	58	60	59	1	63	4

# 杉並区と東京都全体の企業倒産、休廃業・解散動向

出典：(株) 東京商工リサーチ調べ

## 1. 企業倒産動向

### [倒産概況]

(負債総額単位:百万円) (対比率は伸び率)

		令和3年	令和4年	令和4年		
		7~9月	4~6月	7~9月	前期比	前年同期比
杉並区	件数	3	6	5	-16.7%	66.7%
	負債総額	189	176	1,017	477.8%	438.1%
東京都全体	件数	263	289	296	2.4%	12.5%
	負債総額	61,225	40,927	126,226	208.4%	106.2%

### [業種別倒産概況]

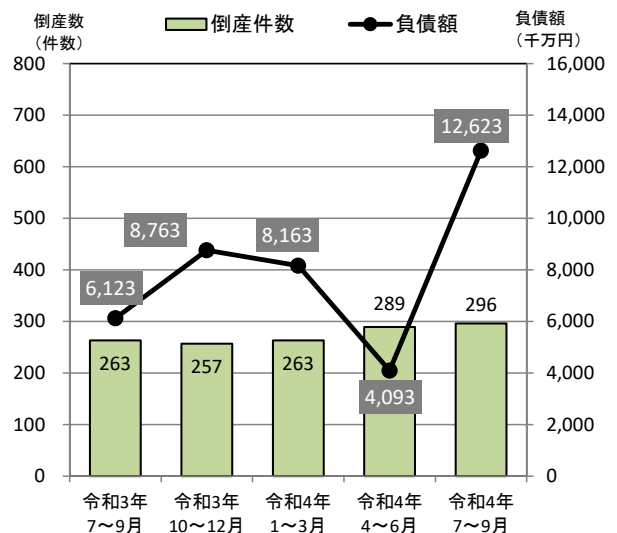
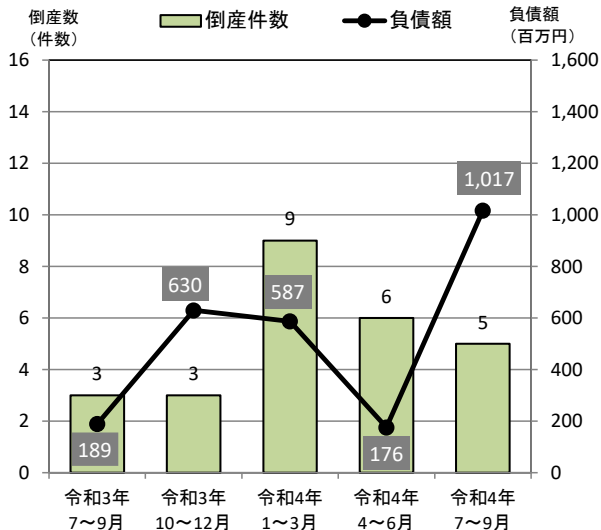
(単位:件) (対比率は伸び率)

		令和3年	令和4年	令和4年		
		7~9月	4~6月	7~9月	前期比	前年同期比
杉並区	製造業	0	0	0	-	-
	卸売業	0	0	1	-	-
	小売業	0	0	3	-	-
	サービス業	3	2	0	-100.0%	-100.0%
	建設業	0	2	1	-50.0%	-
	不動産業	0	1	0	-100.0%	-
	情報通信業・運輸業	0	1	0	-100.0%	-
	宿泊業,飲食サービス業	0	0	0	-	-
	その他	0	0	0	-	-
	合計	3	6	5	-16.7%	66.7%
東京都全体	製造業	19	21	25	19.0%	31.6%
	卸売業	52	50	48	-4.0%	-7.7%
	小売業	28	32	37	15.6%	32.1%
	サービス業	58	77	61	-20.8%	5.2%
	建設業	24	31	40	29.0%	66.7%
	不動産業	15	16	11	-31.3%	-26.7%
	情報通信業・運輸業	41	26	40	53.8%	-2.4%
	宿泊業,飲食サービス業	14	20	15	-25.0%	7.1%
	その他	12	16	19	18.8%	58.3%
	合計	263	289	296	2.4%	12.5%

### [倒産件数と負債額の推移]

《杉並区》

《東京都全体》



## 2. 休廃業・解散動向

### [休廃業概況]

杉並区	(件数) (構成比)		(件数) (構成比)		(件数) (構成比)		(伸び率)	
	令和3年 7～9月		令和4年 4～6月		令和4年 7～9月		前期比	前年同期比
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比		
杉並区	65	2.4%	44	1.5%	68	2.4%	54.5%	4.6%
東京都全体	2,666	100.0%	3,005	100.0%	2,878	100.0%	-4.2%	8.0%

### [業種別休廃業概況]

	業種	(件数) (構成比)		(件数) (構成比)		(件数) (構成比)		(伸び率)	
		令和3年 7～9月		令和4年 4～6月		令和4年 7～9月		前期比	前年同期比
		件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比		
杉並区	製造業	6	9.2%	2	4.5%	6	8.8%	200.0%	0.0%
	卸売業	4	6.2%	4	9.1%	6	8.8%	50.0%	50.0%
	小売業	5	7.7%	2	4.5%	12	17.6%	500.0%	140.0%
	サービス業	14	21.5%	15	34.1%	14	20.6%	-6.7%	0.0%
	建設業	6	9.2%	4	9.1%	4	5.9%	0.0%	-33.3%
	不動産業	13	20.0%	6	13.6%	11	16.2%	83.3%	-15.4%
	情報通信業・運輸業	7	10.8%	8	18.2%	8	11.8%	0.0%	14.3%
	宿泊業,飲食サービス業	4	6.2%	1	2.3%	3	4.4%	200.0%	-25.0%
	その他	6	9.2%	2	4.5%	4	5.9%	100.0%	-33.3%
	合計	65	100.0%	44	100.0%	68	100.0%	54.5%	4.6%
東京都全体	製造業	275	10.3%	333	11.1%	270	9.4%	-18.9%	-1.8%
	卸売業	231	8.7%	282	9.4%	254	8.8%	-9.9%	10.0%
	小売業	230	8.6%	197	6.6%	205	7.1%	4.1%	-10.9%
	サービス業	740	27.8%	801	26.7%	748	26.0%	-6.6%	1.1%
	建設業	172	6.5%	214	7.1%	181	6.3%	-15.4%	5.2%
	不動産業	268	10.1%	312	10.4%	306	10.6%	-1.9%	14.2%
	情報通信業・運輸業	342	12.8%	381	12.7%	440	15.3%	15.5%	28.7%
	宿泊業,飲食サービス業	104	3.9%	128	4.3%	122	4.2%	-4.7%	17.3%
	その他	304	11.4%	357	11.9%	352	12.2%	-1.4%	15.8%
	合計	2,666	100.0%	3,005	100.0%	2,878	100.0%	-4.2%	8.0%

## 1. 企業倒産動向

今期(令和4年7月～9月)の東京都内の企業倒産は、件数は296件、負債総額は1,262億2,600万円となった。件数は前期比2.4%増、前年同期比12.5%増となり、負債総額は同208.4%増、同106.2%増となった。業種別の倒産件数は、サービス業が61件で最も多く、次いで卸売業が48件、建設業、情報通信業・運輸業がともに40件となった。

今期の杉並区内の企業倒産は、件数は5件、負債総額は10億1,700万円となった。件数は前期比16.7%減、前年同期比66.7%増となり、負債総額は同477.8%増、同438.1%増となった。業種別の倒産件数は小売業が3件、卸売業、建設業がともに1件であった。

## 2. 休廃業・解散動向

今期(令和4年7月～9月)の東京都内の休廃業・解散件数は2,878件となり、前期比4.2%減、前年同期比8.0%増となった。業種別では、サービス業が748件で最も多く、次いで情報通信業・運輸業が440件、不動産業が306件となった。なお、その他が352件であった。

今期の杉並区内の休廃業・解散件数は68件となり、前期比54.5%増、前年同期比4.6%増となった。業種別では、サービス業が14件で最も多く、次いで小売業が12件、不動産業が11件となった。

## 特別調査「中小企業におけるSDGs（持続可能な開発目標）の取組状況について」（令和4年9月上旬調査）

注1. 本調査は、主に杉並区の状況について記載しています。グラフでは杉並区と東京都全体の比較をしています。

注2. 回答により100%にならないこともあります。

本 調 査 結 果 の 特 徴	① SDGsの認知度・情報源	68.6%の企業が認知（「内容までよく知っている」14.7%、「意味はある程度わかる」53.9%） 情報源は「報道機関（テレビ、新聞等）」が75.5%
	② SDGsに関する取組施策	「省エネ、節電、再生可能エネルギーの使用」45.2%、 「再生資源や未利用資源の利用、廃棄物削減等」26.0%
	③ SDGsの取組みについての印象	「コスト削減につながる」43.3%、 「自社が取組むには経営資源が不足」9.6%
	④ カーボンニュートラルに関する取組施策	「こまめな電源オフなど電気使用量の削減」55.3%、 「ごみの削減やリサイクルの推進」32.0%
	⑤ SDGsについて期待するサポート	「省エネ対応」24.3%、「経営者向け研修」22.3%

### 問1. SDGsの認知度・情報源について

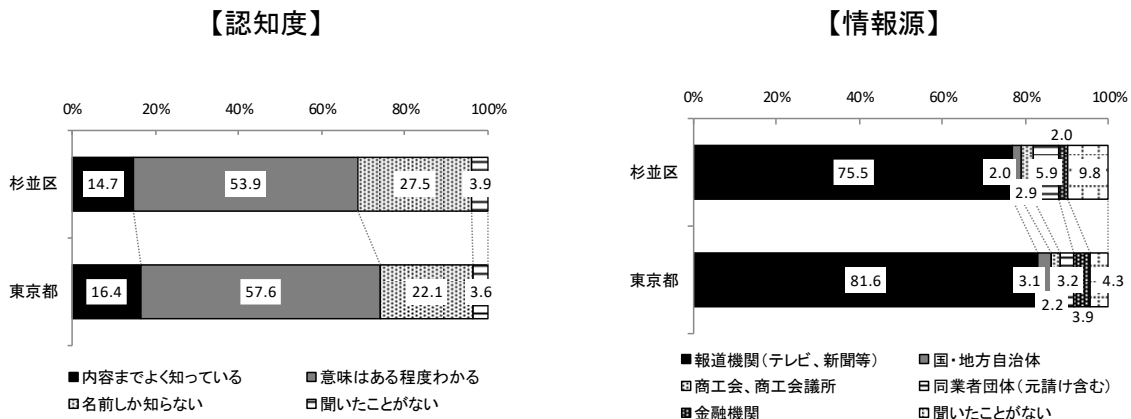
杉並区内の中小企業を対象に、SDGsの認知度とその情報源について伺った。その結果、認知度については「意味はある程度わかる」が53.9%、「内容までよく知っている」が14.7%となり、合わせて68.6%がSDGsについて認知しているとの結果になった。一方、「名前しか知らない」は27.5%、「聞いたことがない」は3.9%であった。

情報源については、「報道機関（テレビ、新聞等）」が75.5%と過半数を占め、次いで「同業者団体（元請け含む）」が5.9%となった。

業種別にみると、全ての業種で「内容までよく知っている」「意味はある程度わかる」を合わせた割合は過半数を占めた。また、小売業、建設業では「名前しか知らない」が3割を超え、比較的高い割合となった。情報源については、全ての業種で「報道機関（テレビ、新聞等）」が6割を超え、他を大きく上回った。

なお、東京都と比較すると、「内容までよく知っている」「意味はある程度わかる」を合わせた割合は、東京都（74.0%）より杉並区が5.4ポイント低くなっている。

表1 SDGsの認知度・情報源





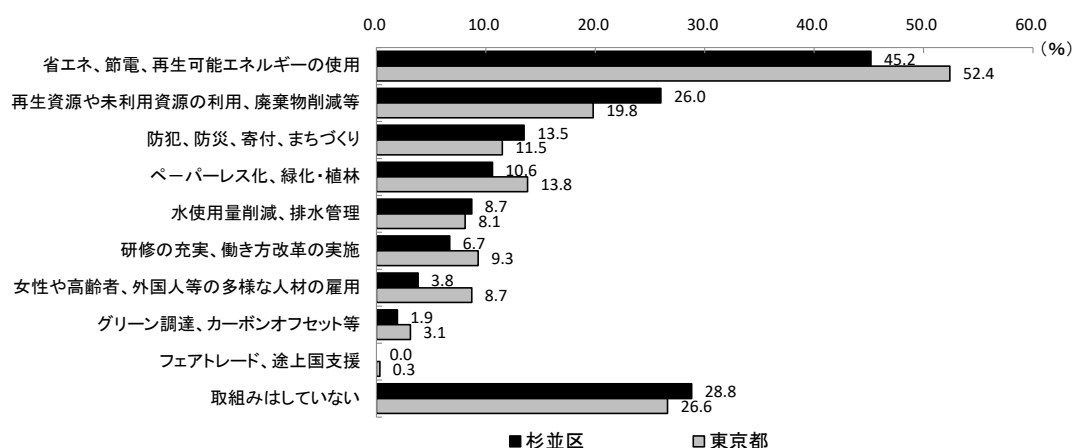
## 問2. SDGsに関する取組施策について

SDGsに関する取組施策について、最大3つまで伺った。その結果、「省エネ、節電、再生可能エネルギーの使用」が45.2%で最も高く、次いで「再生資源や未利用資源の利用、廃棄物削減等」が26.0%、「防犯、防災、寄付、まちづくり」が13.5%となった。一方、「取組みはしていない」は28.8%であった。

業種別にみると、サービス業、建設業、不動産業では「省エネ、節電、再生可能エネルギーの使用」がいずれも5割以上で最も高く、これに次いで、不動産業では「ペーパーレス化、緑化・植林」が約3割と比較的高い割合で続いた。また、サービス業では「研修の充実、働き方改革の実施」が1割半ば、小売業では「取組みはしていない」が4割半ばと、それぞれ他と比べ高い割合となった。

なお、東京都と比較すると、「省エネ、節電、再生可能エネルギーの使用」は、東京都（52.4%）より杉並区が7.2ポイント低く、「再生資源や未利用資源の利用、廃棄物削減等」は、東京都（19.8%）より杉並区が6.2ポイント高くなっている。

表2 SDGsに関する取組施策



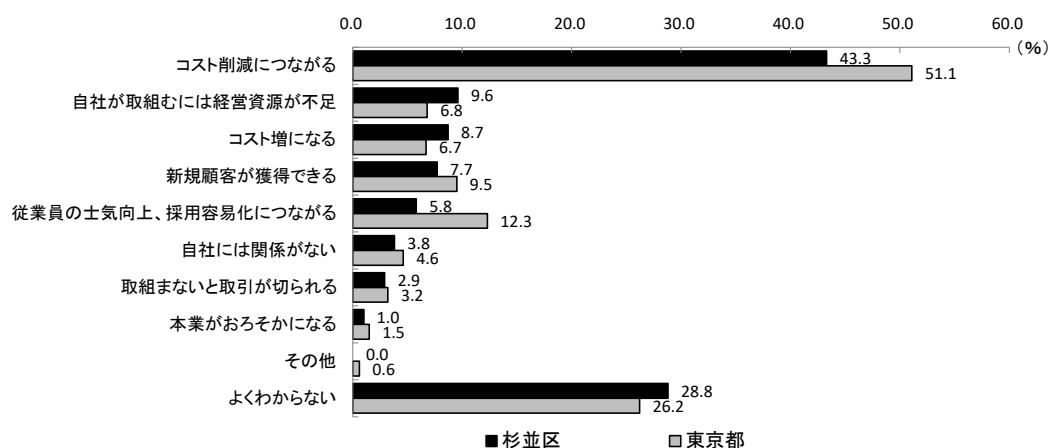
## 問3. SDGsの取組みについての印象

SDGsの取組みについての印象について、最大3つまで伺った。その結果、「コスト削減につながる」が43.3%で最も高く、次いで「自社が取組むには経営資源が不足」が9.6%、「コスト増になる」が8.7%となった。なお、「よくわからない」は28.8%であった。

業種別にみると、全ての業種で「コスト削減につながる」が最も高いが、2割半ばから9割弱と業種によって差がみられた。建設業では「自社が取組むには経営資源が不足」が3割弱、小売業では「よくわからない」が4割強と、それぞれ比較的高い割合となった。

なお、東京都と比較すると、「コスト削減につながる」は、東京都（51.1%）より杉並区が7.8ポイント低くなっている。

表3 SDGsの取組みについての印象



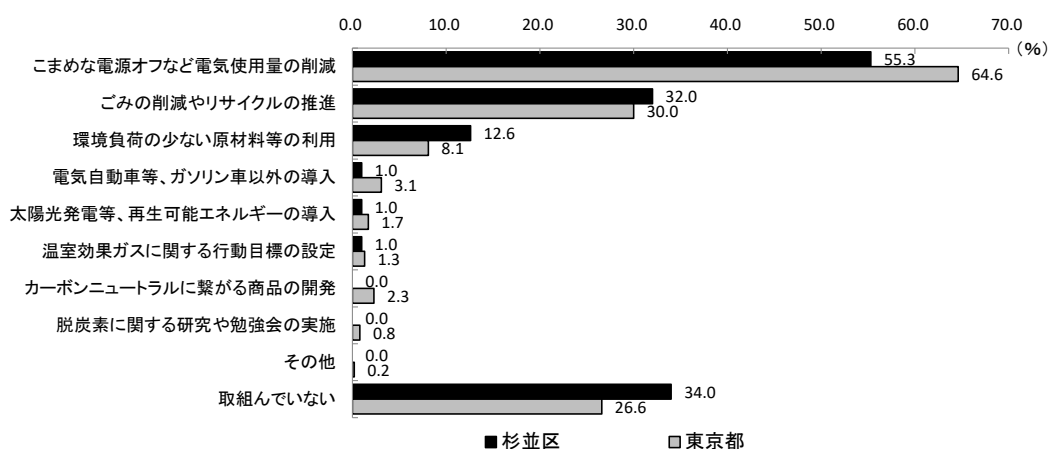
#### 問4. カーボンニュートラルに関する取組施策について

SDGsに関する取組みの1つであるカーボンニュートラルに関する取組施策について、最大3つまで伺った。その結果、「こまめな電源オフなど電気使用量の削減」が55.3%で最も高く、次いで「ごみの削減やリサイクルの推進」が32.0%、「環境負荷の少ない原材料等の利用」が12.6%となった。なお、「取組んでいない」は34.0%となった。

業種別にみると、全ての業種で「こまめな電源オフなど電気使用量の削減」が最も高く、不動産業では7割弱、サービス業では6割半ばとなった。これに次いで、不動産業では「環境負荷の少ない原材料等の利用」が4割弱、それ以外の業種では「ごみの削減やリサイクルの推進」が2割以上で続いた。小売業では「取組んでいない」が6割近くと比較的高い割合となった。

なお、東京都と比較すると、「こまめな電源オフなど電気使用量の削減」は、東京都(64.6%)より杉並区が9.3ポイント低く、「環境負荷の少ない原材料等の利用」は、東京都(8.1%)より杉並区が4.5ポイント高くなっている。

表4 カーボンニュートラルに関する取組施策



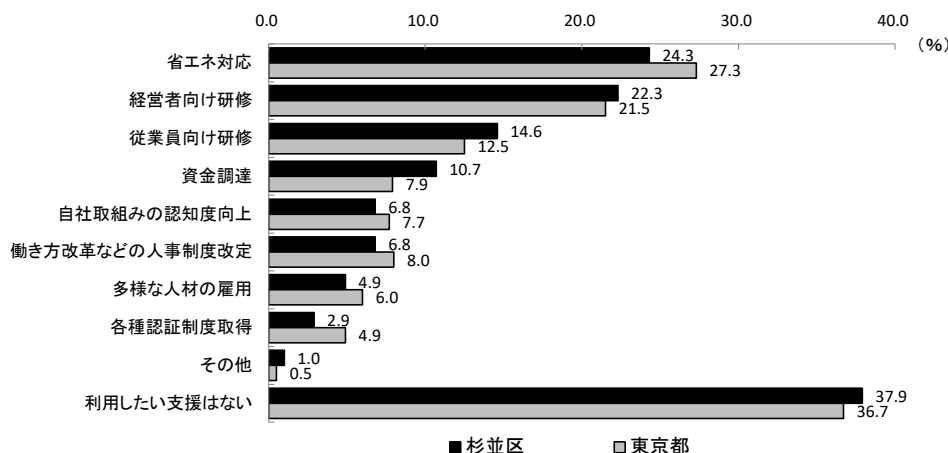
#### 問5. SDGsについて期待するサポート

SDGsについて期待するサポートについて、最大3つまで伺った。その結果、「省エネ対応」が24.3%で最も高く、次いで「経営者向け研修」が22.3%、「従業員向け研修」が14.6%となった。なお、「利用したい支援はない」は37.9%であった。

業種別にみると、サービス業、建設業では「省エネ対応」が3割台、それ以外の業種では「経営者向け研修」が2割弱から4割近くで最も高かった。小売業では「利用したい支援はない」が5割を超え、比較的高い割合となった。

なお、東京都と比較すると、「省エネ対応」は、東京都(27.3%)より杉並区が3.0ポイント低く、「資金調達」は、東京都(7.9%)より杉並区が2.8ポイント高くなっている。

表5 SDGsについて期待するサポート



# 中小企業景況調査 比較表

(令和4年7月～9月期)

## 製造業

### [今期の景況]

		全体	
		杉並区	全都
業況		4	-17
売上額		5	-8
受注残		-11	-7
収益		11	-15
販売価格		12	16
原材料価格		44	51
原材料在庫		-2	-3
資金繰り		4	-11
雇用	残業時間	-20	-4
	人手	0	-9
同期比	売上額	0	-4
	収益	0	-14
経営上の問題点	① 同業者間の競争の激化	40	18
	② 売上の停滞・減少	40	40
	③ 原材料高	30	39
	④ 利幅の縮小	20	16
	⑤ 大手企業との競争の激化	20	6
重点経営施策	① 販路を広げる	90	53
	② 経費を節減する	60	45
	③ 工場・機械を増設・移転する	10	5
	④ 人材を確保する	10	13
	⑤ 情報力を強化する	10	13
借入の難易度		0	-4

### [来期の景況見通し]

業況		11	-16
売上額		17	-8
受注残		-3	-7
収益		16	-14
販売価格		5	13
原材料価格		38	45
原材料在庫		-3	-4
資金繰り		-1	-12
雇用	残業時間	-20	-3
	人手	0	-10

## 卸売業

### [今期の景況]

		全体	
		杉並区	全都
業況		-25	-18
売上額		-14	-5
収益		-12	-13
販売価格		35	30
仕入価格		56	53
在庫		-9	2
資金繰り		-21	-11
雇用	残業時間	-11	-3
	人手	-11	-8
同期比	売上額	11	2
	収益	0	-12
経営上の問題点	販売価格	33	38
	① 売上の停滞・減少	67	43
	② 仕入先からの値上げ要請	44	27
	③ 為替レートの変動	33	9
	④ 大手企業・工場の縮小・撤退	11	1
	⑤ 天候の不順	11	1
重点経営施策	① 販路を広げる	89	59
	② 情報力を強化する	44	20
	③ 経費を節減する	44	47
	④ 流通経路の見直しをする	22	7
	⑤ 人材を確保する	22	11
借入の難易度		-38	0

### [来期の景況見通し]

業況		-14	-17
売上額		-4	-2
収益		0	-12
販売価格		33	28
仕入価格		52	49
在庫		1	1
資金繰り		-23	-10
雇用	残業時間	11	-1
	人手	-11	-8

\* 季節変動調整済D・Iを表示している項目。業況、売上額、受注残、収益、販売価格、原材料価格、原材料在庫、資金繰り

\* 単純D・Iを表示している項目。雇用面、同期比、借入の難易度

\* 企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

## 小売業

### [今期の景況]

	全体		家具・建具 ・じゅう器		飲食店		飲食料品		衣服、呉服、 身の回り品		
	杉並区	全都	杉並区	全都	杉並区	全都	杉並区	全都	杉並区	全都	
業況	-11	-28	-	-51	-11	-36	-2	-25	-29	-43	
売上額	-4	-20	-	-47	-4	-29	-1	-15	-29	-28	
収益	-7	-26	-	-40	3	-39	-14	-24	-32	-31	
販売価格	15	13	-	6	-3	13	21	18	9	4	
仕入価格	32	34	-	36	52	53	35	36	-2	21	
在庫	0	-1	-	-2	-1	-1	12	0	-33	2	
資金繰り	-6	-18	-	-11	-18	-23	3	-18	-10	-25	
雇用	残業時間	-4	-4	-	0	14	-12	-14	-4	0	-5
	人手	-8	-8	-	-10	0	-10	0	-9	0	-4
同期比	売上額	-4	-15	-	-42	0	-20	0	-15	-17	-23
	収益	-12	-23	-	-31	0	-31	-29	-23	-17	-27
	販売価格	12	16	-	14	14	14	14	21	0	7
経営上の 問題点	① 売上の停滞・減少	31	43	-	43	43	56	-	42	33	51
	② 仕入先からの値上げ要請	27	21	-	20	43	34	43	23	-	12
	③ 利幅の縮小	19	15	-	10	29	18	14	15	17	14
	④ 人手不足	19	9	-	10	14	10	29	8	-	6
	⑤ 大型店との競争の激化	15	19	-	33	-	7	43	23	-	19
重点 経営 施策	① 経費を節減する	46	46	-	23	57	58	43	47	17	37
	② 仕入先を開拓・選別する	15	9	-	3	-	10	14	10	17	11
	③ 宣伝・広告を強化する	15	19	-	17	14	20	29	17	-	22
	④ 品揃えを改善する	15	25	-	23	-	12	29	28	17	30
	⑤ 人材を確保する	12	7	-	7	14	9	29	7	-	3
借入の難易度	6	-5	-	9	0	-12	25	-4	0	-9	

### [来期の景況見通し]

業況	-15	-26	-	-43	3	-35	-11	-22	-30	-41	
売上額	-12	-17	-	-29	-14	-24	7	-14	-46	-27	
収益	-16	-22	-	-27	-17	-30	-6	-21	-46	-27	
販売価格	5	13	-	12	-7	12	15	20	-1	1	
仕入価格	27	32	-	33	47	49	34	36	-4	17	
在庫	-6	-2	-	-2	-2	-3	0	-3	-31	1	
資金繰り	-7	-16	-	-9	-17	-23	-1	-16	-13	-24	
雇用	残業時間	4	-3	-	0	14	-8	17	-2	0	-4
	人手	-15	-8	-	-10	0	-9	-29	-9	0	-4

\* 季節変動調整済D・Iを表示している項目。業況、売上額、受注残、収益、販売価格、原材料価格、原材料在庫、資金繰り

\* 単純D・Iを表示している項目。雇用面、同期比、借入の難易度

\* 企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

## サービス業

### [今期の景況]

		全体		洗濯、理容、美容業		自動車整備業、 駐車場業	
		杉並区	全都	杉並区	全都	杉並区	全都
業況		-39	-22	-48	-36	-7	-12
売上額		-10	-10	4	-26	-26	-3
収益		-15	-17	-25	-31	-30	-15
料金価格		7	8	-1	4	-2	13
材料価格		51	34	45	35	78	44
資金繰り		-7	-12	-6	-19	-4	-10
雇用	残業時間	0	-3	0	-6	0	3
	人手	-33	-17	-30	-6	-67	-21
同期比	売上額	0	-7	10	-19	0	-1
	収益	-17	-15	-30	-26	0	-12
経営上の 問題点	① 売上の停滞・減少	33	40	20	45	33	34
	② 材料価格の上昇	21	21	10	20	33	31
	③ 人手不足	21	21	10	8	33	20
	④ 同業者間の競争の激化	17	26	30	34	-	22
	⑤ 大企業との競争の激化	13	5	30	7	-	7
重点 経営 施策	① 経費を節減する	50	42	50	42	33	44
	② 販路を広げる	50	41	40	28	33	46
	③ 人材を確保する	21	20	10	7	33	14
	④ 宣伝・広告を強化する	13	20	10	28	-	15
	⑤ 教育訓練を強化する	8	8	-	2	33	5
借入の難易度		19	-5	0	-12	0	-2

### [来期の景況見通し]

業況		-35	-18	-47	-32	-4	-13
売上額		-4	-6	0	-20	-4	-5
収益		-16	-13	-28	-24	-3	-17
料金価格		7	7	8	4	-3	11
材料価格		41	32	44	32	57	42
資金繰り		-4	-11	-8	-19	-6	-11
雇用	残業時間	0	-3	0	-5	0	2
	人手	-33	-17	-30	-6	-67	-21

\* 季節変動調整済D・Iを表示している項目。業況、売上額、受注残、収益、販売価格、原材料価格、原材料在庫、資金繰り

\* 単純D・Iを表示している項目。雇用面、同期比、借入の難易度

\* 企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

## 建設業

### [今期の景況]

		全体	
		杉並区	全都
業況		10	-4
売上額		15	-1
受注残		12	1
施工高		9	4
収益		-3	-15
請負価格		14	13
材料価格		72	60
在庫		-6	-5
資金繰り		1	-6
雇用	残業時間	0	-3
	人手	-31	-24
同期比	売上額	0	-2
	収益	-4	-16
経営上の問題点	① 材料価格の上昇	52	58
	② 人手不足	44	30
	③ 売上の停滞・減少	26	28
	④ 同業者間の競争の激化	17	23
	⑤ 下請の確保難	13	9
重点経営施策	① 経費を節減する	61	46
	② 人材を確保する	35	33
	③ 販路を広げる	35	39
	④ 情報力を強化する	30	17
	⑤ 不動産の有効活用を図る	4	3
借入の難易度		0	3

### [来期の景況見通し]

業況		-1	-2
売上額		1	2
受注残		-2	2
施工高		0	5
収益		-2	-12
請負価格		21	13
材料価格		59	55
在庫		-11	-5
資金繰り		-15	-5
雇用	残業時間	0	-2
	人手	-32	-26

## 不動産業

### [今期の景況]

		全体	
		杉並区	全都
業況		-9	-2
売上額		-15	-2
収益		-22	-1
販売価格		0	18
仕入価格		13	30
在庫		-5	-14
資金繰り		10	2
雇用	残業時間	-8	-5
	人手	-15	-7
同期比	売上額	0	1
	収益	-8	1
経営上の問題点	① 商品物件の不足	46	32
	② 同業者間の競争の激化	46	30
	③ 商品物件の高騰	31	26
	④ 人手不足	15	8
	⑤ 売上の停滞・減少	15	21
重点経営施策	① 情報力を強化する	62	39
	② 経費を節減する	31	29
	③ 販路を広げる	23	32
	④ 不動産の有効活用を図る	8	12
	⑤ 教育訓練を強化する	8	3
借入の難易度		18	5

### [来期の景況見通し]

業況		-7	-3
売上額		-10	-3
収益		-6	-2
販売価格		-2	17
仕入価格		11	26
在庫		-7	-13
資金繰り		9	2
雇用	残業時間	-15	-3
	人手	-15	-7

\* 季節変動調整済D・Iを表示している項目。業況、売上額、受注残、収益、販売価格、原材料価格、原材料在庫、資金繰り

\* 単純D・Iを表示している項目。雇用面、同期比、借入の難易度

\* 企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

# 中小企業景況調査 転記表

(令和4年7月～9月期)

製造業  
地域名: 杉並区  
分類: 業種合計

## 中小企業景況調査 転記表 No.1

令和4年7月～9月期

注: 各項目の右側は、前期調査における予想(計画)値です。

項目	調査期	令和2年		令和3年		令和3年		令和3年		令和3年		令和4年		令和4年		令和4年		対前期比	令和4年
		10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	1月～3月期	4月～6月期	4月～6月期	7月～9月期	7月～9月期	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	1月～3月期	4月～6月期	4月～6月期	7月～9月期	7月～9月期		
業況	良い	-	-	-	-	-	-	10.0	-	-	10.0	9.1	-	20.0	10.0	20.0	20.0		22.2
	普通	54.5	40.0	45.5	72.7	54.5	63.6	50.0	63.6	70.0	60.0	45.4	90.0	40.0	50.0	70.0	50.0		66.7
	悪い	45.5	60.0	54.5	27.3	45.5	36.4	40.0	36.4	30.0	30.0	45.5	10.0	40.0	40.0	10.0	30.0		11.1
	D・I	-45.5	-60.0	-54.5	-27.3	-45.5	-36.4	-30.0	-36.4	-30.0	-20.0	-36.4	-10.0	-20.0	-30.0	10.0	-10.0		11.1
	修正値	<b>-43.6</b>	<b>-59.6</b>	<b>-56.9</b>	<b>-28.1</b>	<b>-42.0</b>	<b>-39.7</b>	<b>-30.5</b>	<b>-31.0</b>	<b>-29.9</b>	<b>-17.1</b>	<b>-37.4</b>	<b>-12.1</b>	<b>-14.9</b>	<b>-32.5</b>	<b>4.0</b>	<b>-4.2</b>	<b>18.9</b>	<b>10.8</b>
	傾向値	-52.3		-60.2		-58.0		-48.1		-41.9		-37.7		-32.3		-24.1			
売上額	増加	-	-	-	-	9.1	-	20.0	-	10.0	10.0	18.2	20.0	20.0	18.2	20.0	30.0		10.0
	変らず	45.5	45.5	45.5	72.7	45.4	72.7	40.0	63.6	60.0	70.0	45.4	80.0	60.0	54.5	70.0	70.0		90.0
	減少	54.5	54.5	54.5	27.3	45.5	27.3	40.0	36.4	30.0	20.0	36.4	-	20.0	27.3	10.0	-		-
	D・I	-54.5	-54.5	-54.5	-27.3	-36.4	-27.3	-20.0	-36.4	-20.0	-10.0	-18.2	20.0	0.0	-9.1	10.0	30.0		10.0
	修正値	<b>-53.7</b>	<b>-52.1</b>	<b>-55.5</b>	<b>-31.0</b>	<b>-32.1</b>	<b>-29.1</b>	<b>-22.0</b>	<b>-31.7</b>	<b>-21.9</b>	<b>-4.5</b>	<b>-21.3</b>	<b>7.3</b>	<b>4.8</b>	<b>-11.7</b>	<b>4.6</b>	<b>33.3</b>	<b>-0.2</b>	<b>16.8</b>
	傾向値	-39.8		-54.5		-55.7		-45.7		-37.0		-28.2		-19.1		-10.8			
受注残	増加	-	-	-	-	9.1	-	20.0	-	20.0	10.0	18.2	10.0	20.0	18.2	10.0	30.0		-
	変らず	36.4	50.0	36.4	54.5	36.4	63.6	40.0	54.5	50.0	60.0	54.5	70.0	50.0	54.5	70.0	60.0		90.0
	減少	63.6	50.0	63.6	45.5	54.5	36.4	40.0	45.5	30.0	30.0	27.3	20.0	30.0	27.3	20.0	10.0		10.0
	D・I	-63.6	-50.0	-63.6	-45.5	-45.4	-36.4	-20.0	-45.5	-10.0	-20.0	-9.1	-10.0	-10.0	-9.1	-10.0	20.0		-10.0
	修正値	<b>-60.8</b>	<b>-45.6</b>	<b>-65.1</b>	<b>-45.7</b>	<b>-42.5</b>	<b>-38.3</b>	<b>-22.5</b>	<b>-43.2</b>	<b>-8.5</b>	<b>-15.2</b>	<b>-13.8</b>	<b>-12.5</b>	<b>-2.4</b>	<b>-14.2</b>	<b>-10.9</b>	<b>23.0</b>	<b>-8.5</b>	<b>-2.7</b>
	傾向値	-38.6		-55.7		-60.2		-51.9		-41.5		-27.9		-16.7		-11.0			
収益	増加	-	-	-	-	9.1	-	20.0	-	20.0	-	9.1	30.0	30.0	18.2	20.0	20.0		10.0
	変らず	45.5	45.5	45.5	63.6	45.4	72.7	60.0	72.7	60.0	90.0	63.6	70.0	50.0	72.7	80.0	70.0		90.0
	減少	54.5	54.5	54.5	36.4	45.5	27.3	20.0	27.3	20.0	10.0	27.3	-	20.0	9.1	-	10.0		-
	D・I	-54.5	-54.5	-54.5	-36.4	-36.4	-27.3	0.0	-27.3	0.0	-10.0	-18.2	30.0	10.0	9.1	20.0	10.0		10.0
	修正値	<b>-52.1</b>	<b>-49.8</b>	<b>-57.5</b>	<b>-34.5</b>	<b>-34.4</b>	<b>-32.9</b>	<b>-2.7</b>	<b>-27.1</b>	<b>1.6</b>	<b>-4.1</b>	<b>-19.6</b>	<b>25.1</b>	<b>11.2</b>	<b>1.3</b>	<b>10.9</b>	<b>12.9</b>	<b>-0.3</b>	<b>16.4</b>
	傾向値	-44.3		-55.7		-56.8		-44.3		-29.5		-18.2		-7.9		0.5			
価格動向	販売価格	-9.1	-9.1	-9.1	-18.2	-9.1	-9.1	-10.0	-9.1	0.0	-10.0	27.3	10.0	30.0	27.3	10.0	30.0		0.0
	修正値	<b>-7.8</b>	<b>-8.5</b>	<b>-7.9</b>	<b>-16.8</b>	<b>-8.6</b>	<b>-11.0</b>	<b>-9.7</b>	<b>-9.3</b>	<b>-2.6</b>	<b>-8.8</b>	<b>24.4</b>	<b>10.0</b>	<b>26.5</b>	<b>21.4</b>	<b>12.4</b>	<b>25.8</b>	<b>-14.1</b>	<b>4.5</b>
	傾向値	-6.8		-10.2		-10.2		-9.2		-8.2		-2.5		6.9		14.3			
	原材料価格	0.0	0.0	0.0	-9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	-10.0	10.0	18.2	0.0	30.0	36.4	50.0	40.0		40.0
	修正値	<b>1.1</b>	<b>1.7</b>	<b>-1.8</b>	<b>-5.9</b>	<b>2.5</b>	<b>-3.5</b>	<b>3.7</b>	<b>1.2</b>	<b>-9.3</b>	<b>12.5</b>	<b>13.5</b>	<b>3.1</b>	<b>27.0</b>	<b>27.1</b>	<b>44.1</b>	<b>35.0</b>	<b>17.1</b>	<b>38.2</b>
	傾向値	4.6		0.0		-1.1		0.0		-1.3		-0.2		5.8		15.8			
在庫・繰り	原材料在庫数量	-9.1	9.1	9.1	-9.1	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	-10.0	-9.1	0.0	0.0		0.0
	修正値	<b>-9.0</b>	<b>5.1</b>	<b>7.6</b>	<b>-10.2</b>	<b>1.1</b>	<b>6.9</b>	<b>-2.2</b>	<b>1.1</b>	<b>1.5</b>	<b>-2.2</b>	<b>6.9</b>	<b>1.5</b>	<b>-6.8</b>	<b>-8.6</b>	<b>-2.2</b>	<b>1.0</b>	<b>4.6</b>	<b>-2.5</b>
	資金繰り	-9.1	-45.5	0.0	-9.1	0.0	0.0	30.0	-9.1	0.0	20.0	-18.2	-10.0	0.0	-9.1	10.0	10.0		0.0
修正値	<b>-13.7</b>	<b>-43.6</b>	<b>-8.8</b>	<b>-11.1</b>	<b>6.8</b>	<b>-10.4</b>	<b>26.7</b>	<b>-4.1</b>	<b>-1.9</b>	<b>20.1</b>	<b>-21.4</b>	<b>-9.2</b>	<b>6.6</b>	<b>-15.0</b>	<b>4.0</b>	<b>15.8</b>	<b>-2.6</b>	<b>-0.9</b>	
前年同期比	売上額	-72.7		-45.4		-27.3		-20.0		10.0		0.0		10.0		0.0			
	収益	-72.7		-45.4		-18.2		20.0		20.0		0.0		20.0		0.0			
雇用	残業時間	-9.1	0.0	-27.3	-9.1	-27.3	-27.3	-20.0	-18.2	-20.0	-10.0	0.0	-10.0	-10.0	0.0	-20.0	-10.0		-20.0
	人手	-9.1	-18.2	0.0	-9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0
借入金	借入をした(%)	36.4	36.4	27.3	18.2	27.3	27.3	30.0	9.1	30.0	30.0	18.2	10.0	40.0	27.3	20.0	30.0		20.0
	借入をしない(%)	63.6	63.6	72.7	81.8	72.7	72.7	70.0	90.9	70.0	70.0	81.8	90.0	60.0	72.7	80.0	70.0		80.0
	借入難易度	11.1		20.0		20.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
有効回答事業所数		11		11		11		10		10		11		10		10			

製造業  
地域名: 杉並区  
中分類: 業種合計

中小企業景況調査 転記表 No.2

令和4年7月～9月期

注: 各項目の右側は、前期調査における予想(計画)値です。

項目	調査期		令和2年		令和3年		令和3年		令和3年		令和4年		令和4年		令和4年		対前期比	令和4年10月～12月期		
	10月～12月期	10月～12月期	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	1月～3月期	4月～6月期	4月～6月期	7月～9月期	7月～9月期	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	1月～3月期	4月～6月期	4月～6月期			7月～9月期	7月～9月期
設備投資動向(%)	現在の設備	-18.2	-18.2	0.0	-18.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	9.1	11.1	10.0	9.1	0.0	10.0	0.0	
	実施した	18.2	27.3	9.1	10.0	9.1	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	20.0	18.2	10.0	20.0	0.0	
	事業用地・建物	50.0	33.3	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	機械・設備の新・増設	-	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	50.0	-	50.0	-	
	機械・設備の更改	-	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	50.0	50.0	100.0	50.0	-	
	投資内容																			
	事務機器	50.0	33.3	100.0	-	100.0	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	車両	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	実施しない	81.8	72.7	90.9	90.0	90.9	100.0	90.0	100.0	100.0	100.0	100.0	90.9	100.0	80.0	81.8	90.0	80.0	-	100.0
経営上の問題点(%)	売上の停滞・減少	63.6	-	63.6	-	72.7	-	60.0	-	50.0	-	45.5	-	50.0	-	40.0	-	-	-	
	人手不足	18.2	-	-	-	-	-	10.0	-	-	-	9.1	-	10.0	-	10.0	-	-	-	
	大手企業との競争の激化	18.2	27.3	-	27.3	-	30.0	-	30.0	-	20.0	-	9.1	-	10.0	-	20.0	-	-	
	同業者間の競争の激化	27.3	18.2	-	27.3	-	30.0	-	30.0	-	40.0	-	9.1	-	10.0	-	40.0	-	-	
	親企業による選別の強化	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	輸入製品との競争の激化	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	合理化の不足	-	-	-	-	-	-	10.0	-	-	-	-	-	-	10.0	-	-	-	-	-
	利幅の縮小	36.4	36.4	-	45.5	-	50.0	-	50.0	-	40.0	-	36.4	-	30.0	-	20.0	-	-	-
	原材料高	9.1	9.1	-	9.1	-	10.0	-	10.0	-	20.0	-	18.2	-	40.0	-	30.0	-	-	-
	販売納入先からの値下げ要請	9.1	9.1	-	9.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	仕入先からの値上げ要請	-	-	-	-	-	-	-	-	10.0	-	-	-	-	-	-	10.0	-	-	-
	人件費の増加	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10.0	-	10.0	-	-	-
	人件費以外の経費増加	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	工場・機械の狭小・老朽化	9.1	9.1	-	9.1	-	10.0	-	10.0	-	10.0	-	9.1	-	10.0	-	10.0	-	-	-
	生産能力の不足	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	下請の確保難	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	代金回収の悪化	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	地価の高騰	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	天候の不順	-	-	-	-	-	-	-	-	10.0	-	9.1	-	-	-	-	-	-	-	-
	地場産業の衰退	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大手企業・工場の縮小・撤退	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
為替レートの変動	9.1	-	-	-	-	-	-	-	10.0	-	9.1	-	10.0	-	-	-	-	-	-	
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18.2	-	-	-	-	-	-	-	-	
問題なし	-	9.1	-	-	-	-	-	-	-	-	18.2	-	-	-	-	-	-	-	-	
重点経営施策(%)	販路を広げる	90.9	90.9	100.0	100.0	100.0	100.0	90.0	90.0	81.8	100.0	90.0	100.0	90.0	-	-	-	-	-	
	経費を削減する	54.5	63.6	63.6	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	63.6	50.0	60.0	-	-	-	-	-	-	-	
	情報力を強化する	-	9.1	9.1	10.0	10.0	20.0	20.0	18.2	10.0	10.0	-	-	-	-	-	-	-	-	
	新製品・技術を開発する	-	9.1	9.1	10.0	10.0	-	-	18.2	10.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	不採算部門を整理・縮小する	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	提携先を見つける	18.2	27.3	18.2	10.0	10.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	機械化を推進する	9.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	人材を確保する	27.3	9.1	9.1	20.0	20.0	10.0	10.0	18.2	20.0	10.0	-	-	-	-	-	-	-	-	
	パート化を図る	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	教育訓練を強化する	-	-	9.1	20.0	20.0	10.0	10.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	労働条件を改善する	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	工場・機械を増設・移転する	9.1	9.1	9.1	10.0	10.0	10.0	10.0	9.1	10.0	10.0	10.0	-	-	-	-	-	-	-	
	不動産の有効活用を図る	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
特になし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10.0	-	-	-	-	
有効回答事業所数	11	11	11	10	10	10	10	10	10	11	10	10	10	10	10	10	10	10	10	



卸売業  
地域名: 杉並区  
中分類: 業種合計

中小企業景況調査 転記表 No.1

令和4年7月～9月期

注: 各項目の右側は、前期調査における予想(計画)値です。

項目	調査期		令和2年		令和3年		令和3年		令和3年		令和3年		令和4年		令和4年		令和4年		対前期比	令和4年10月～12月期
	10月～12月期		10月～12月期	1月～3月期	1月～3月期	4月～6月期	4月～6月期	7月～9月期	7月～9月期	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	1月～3月期	4月～6月期	4月～6月期	7月～9月期	7月～9月期			
業況	良い	6.7	-	7.1	-	6.7	7.1	7.7	-	7.7	7.7	7.7	-	15.4	7.7	-	-	-	-	-
	普通	46.6	46.7	28.6	50.0	40.0	35.7	46.1	46.7	30.8	38.5	46.1	53.8	46.1	38.5	77.8	50.0		100.0	
	悪い	46.7	53.3	64.3	50.0	53.3	57.2	46.2	53.3	61.5	53.8	46.2	46.2	38.5	53.8	22.2	50.0		-	
	D・I	-40.0	-53.3	-57.2	-50.0	-46.6	-50.1	-38.5	-53.3	-53.8	-46.1	-38.5	-46.2	-23.1	-46.1	-22.2	-50.0		0.0	
	修正値	<b>-38.0</b>	<b>-55.1</b>	<b>-54.6</b>	<b>-46.2</b>	<b>-41.8</b>	<b>-46.6</b>	<b>-39.0</b>	<b>-49.3</b>	<b>-53.1</b>	<b>-49.4</b>	<b>-37.8</b>	<b>-43.8</b>	<b>-19.4</b>	<b>-40.3</b>	<b>-25.3</b>	<b>-44.8</b>	<b>-5.9</b>		<b>-14.1</b>
	傾向値	-47.0		-51.7		-52.4		-47.4		-47.3		-46.7		-41.4		-36.4				
売上額	増加	6.7	-	7.1	-	6.7	14.3	7.7	6.7	15.4	7.7	7.7	7.7	15.4	7.7	-	7.7		-	
	変らず	40.0	40.0	28.6	40.0	53.3	35.7	53.8	66.6	38.5	53.8	69.2	61.5	46.1	84.6	88.9	61.5		100.0	
	減少	53.3	60.0	64.3	60.0	40.0	50.0	38.5	26.7	46.1	38.5	23.1	30.8	38.5	7.7	11.1	30.8		-	
	D・I	-46.6	-60.0	-57.2	-60.0	-33.3	-35.7	-30.8	-20.0	-30.7	-30.8	-15.4	-23.1	-23.1	0.0	-11.1	-23.1		0.0	
	修正値	<b>-40.3</b>	<b>-60.3</b>	<b>-54.9</b>	<b>-57.2</b>	<b>-35.0</b>	<b>-36.6</b>	<b>-32.0</b>	<b>-15.5</b>	<b>-23.3</b>	<b>-33.3</b>	<b>-15.3</b>	<b>-19.1</b>	<b>-23.0</b>	<b>-4.9</b>	<b>-14.2</b>	<b>-17.0</b>	<b>8.8</b>		<b>-3.9</b>
	傾向値	-43.3		-50.5		-53.0		-46.5		-40.0		-32.8		-26.3		-22.5				
収益	増加	6.7	-	7.1	-	6.7	14.3	7.7	6.7	15.4	7.7	7.7	15.4	7.7	7.7	-	-		-	
	変らず	53.3	33.3	28.6	53.3	46.6	35.7	53.8	60.0	38.5	53.8	69.2	53.8	61.5	84.6	88.9	76.9		100.0	
	減少	40.0	66.7	64.3	46.7	46.7	50.0	38.5	33.3	46.1	38.5	23.1	30.8	30.8	7.7	11.1	23.1		-	
	D・I	-33.3	-66.7	-57.2	-46.7	-40.0	-35.7	-30.8	-26.6	-30.7	-30.8	-15.4	-15.4	-23.1	0.0	-11.1	-23.1		0.0	
	修正値	<b>-28.9</b>	<b>-65.8</b>	<b>-53.5</b>	<b>-42.9</b>	<b>-40.1</b>	<b>-37.0</b>	<b>-29.8</b>	<b>-23.3</b>	<b>-29.5</b>	<b>-30.8</b>	<b>-15.7</b>	<b>-14.7</b>	<b>-21.2</b>	<b>-7.3</b>	<b>-12.1</b>	<b>-16.3</b>	<b>9.1</b>		<b>0.3</b>
	傾向値	-42.6		-47.3		-49.8		-44.0		-40.0		-34.5		-27.1		-22.5				
価格動向	販売価格	-13.3	-13.3	-14.3	-13.3	-6.6	-21.5	0.0	-6.6	0.0	0.0	-7.7	0.0	23.1	0.0	44.4	23.1		44.4	
	修正値	<b>-11.4</b>	<b>-13.0</b>	<b>-13.3</b>	<b>-12.6</b>	<b>-7.3</b>	<b>-17.5</b>	<b>-0.7</b>	<b>-6.6</b>	<b>1.8</b>	<b>-1.0</b>	<b>-6.0</b>	<b>0.0</b>	<b>17.1</b>	<b>3.1</b>	<b>35.0</b>	<b>17.1</b>	<b>17.9</b>		<b>32.5</b>
	傾向値	-8.3		-9.3		-11.1		-10.2		-6.9		-4.4		0.1		9.4				
	仕入価格	6.6	20.0	21.4	0.0	20.0	7.1	15.4	26.7	30.8	15.4	15.4	23.1	30.8	30.8	55.6	38.5		55.6	
	修正値	<b>12.9</b>	<b>24.9</b>	<b>19.1</b>	<b>4.2</b>	<b>15.2</b>	<b>7.7</b>	<b>21.6</b>	<b>19.3</b>	<b>33.2</b>	<b>17.4</b>	<b>12.4</b>	<b>25.7</b>	<b>22.4</b>	<b>30.4</b>	<b>55.6</b>	<b>27.1</b>	<b>33.2</b>		<b>52.1</b>
	傾向値	19.7		18.2		15.6		14.8		18.9		21.2		21.8		28.1				
在庫・繰り	在庫価格	-13.3	-13.3	0.0	-20.0	6.7	7.1	7.7	6.7	7.7	7.7	7.7	0.0	15.4	7.7	-11.1	15.4		0.0	
	修正値	<b>-7.4</b>	<b>-11.4</b>	<b>-2.9</b>	<b>-15.8</b>	<b>1.7</b>	<b>4.3</b>	<b>8.0</b>	<b>1.5</b>	<b>14.1</b>	<b>8.4</b>	<b>4.7</b>	<b>6.5</b>	<b>7.7</b>	<b>4.5</b>	<b>-8.5</b>	<b>7.4</b>	<b>-16.2</b>		<b>1.1</b>
	資金繰り	-26.6	-40.0	-21.4	-40.0	-13.3	-7.2	-30.8	-13.3	-30.8	-30.8	-38.5	-30.8	-30.8	-38.5	-22.2	-30.8		-22.2	
修正値	<b>-28.2</b>	<b>-41.9</b>	<b>-19.1</b>	<b>-41.5</b>	<b>-13.3</b>	<b>-4.1</b>	<b>-30.2</b>	<b>-13.8</b>	<b>-31.8</b>	<b>-30.1</b>	<b>-35.9</b>	<b>-29.6</b>	<b>-29.4</b>	<b>-36.3</b>	<b>-20.8</b>	<b>-30.7</b>	<b>8.6</b>		<b>-23.0</b>	
前年同期比	売上額	-40.1		-57.2		-26.7		-15.4		-15.4		-23.1		-23.1		11.1				
	収益	-40.1		-57.2		-40.0		-23.1		7.7		-30.8		-23.1		0.0				
	販売価格	-26.7		-7.1		-6.6		0.0		7.7		-7.7		0.0		33.3				
雇用	残業時間	-20.0	-20.0	-21.4	-6.6	-6.7	-7.2	-7.7	-6.7	0.0	-7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	-11.1	-7.7		11.1	
	人手	-14.3	-15.4	7.7	-14.3	0.0	7.7	-8.4	-7.2	-8.4	-16.7	-8.4	-8.4	0.0	-8.4	-11.1	-8.4		-11.1	
	借入をした(%)	26.7	13.3	28.6	6.7	6.7	7.1	0.0	0.0	30.8	0.0	0.0	15.4	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	
借入をしない(%)	73.3	86.7	71.4	93.3	93.3	92.9	100.0	100.0	69.2	100.0	100.0	84.6	100.0	100.0	100.0	100.0		100.0		
借入難易度	-21.5		-23.1		-21.5		-25.0		-18.2		-30.8		-30.8		-37.5					
有効回答事業所数		15		14		15		13		13		13		13		9				

卸売業  
 地域名: 杉並区  
 中分類: 業種合計

中小企業景況調査 転記表 No.2

令和4年7月～9月期

注: 各項目の右側は、前期調査における予想(計画)値です。

項目	調査期		令和2年		令和3年		令和3年		令和3年		令和3年		令和4年		令和4年		令和4年		対前期比	令和4年 10月～12月期
	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期				
設備投資動向(%)	現在の設備	-13.3	-20.0	-21.4	-13.3	-13.3	-14.3	-7.7	-13.3	-8.3	-15.4	-7.7	-8.3	-7.7	-7.7	-22.2	-7.7		-22.2	
	実施した	13.3	13.3	7.1	13.3	21.4	14.3	7.7	14.3	7.7	7.7	0.0	23.1	8.3	7.7	11.1	8.3		11.1	
	事業用地・建物	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	100.0	-	-	-	-	100.0	-		100.0	
	機械・設備の新・増設	100.0	50.0	100.0	50.0	33.3	50.0	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-		-	
	機械・設備の更改	50.0	100.0	100.0	100.0	66.7	100.0	100.0	50.0	100.0	100.0	-	33.3	-	-	-	-		-	
	事務機器	50.0	50.0	-	50.0	-	-	-	-	100.0	-	-	-	100.0	100.0	-	100.0		-	
	車両	50.0	-	-	-	33.3	-	-	50.0	-	-	-	33.3	-	100.0	-	100.0		-	
	その他	-	-	-	-	33.3	-	-	-	-	-	-	33.3	-	-	-	-		-	
	実施しない	86.7	86.7	92.9	86.7	78.6	85.7	92.3	85.7	92.3	92.3	100.0	76.9	91.7	92.3	88.9	91.7		88.9	
	経営上の問題点(%)	売上の停滞・減少	53.3		64.3		66.7		61.5		61.5		76.9		61.5		66.7			
人手不足		13.3		14.3		6.7		7.7		15.4		15.4		7.7		11.1				
同業者間の競争の激化		33.3		35.7		33.3		38.5		23.1		23.1		23.1		11.1				
輸入品との競争の激化		6.7		7.1		6.7		-		-		-		7.7		11.1				
流通経路の変化による競争の激化		-		7.1		6.7		7.7		-		-		-		-				
合理化の不足		-		-		6.7		-		-		-		7.7		-				
小口注文・多頻度配送の増加		-		-		-		7.7		7.7		7.7		7.7		-				
利幅の縮小		13.3		7.1		20.0		30.8		15.4		23.1		15.4		11.1				
取扱商品の陳腐化		-		-		-		-		-		-		-		-				
販売商品の不足		13.3		7.1		-		-		7.7		-		-		-				
販売納入先からの値下げ要請		-		7.1		6.7		-		-		7.7		-		-				
仕入先からの値上げ要請		-		14.3		6.7		15.4		7.7		15.4		30.8		44.4				
人件費の増加		-		-		-		7.7		-		-		-		-				
人件費以外の経費の増加		6.7		7.1		-		-		7.7		7.7		-		11.1				
取引先の減少		20.0		21.4		13.3		7.7		15.4		7.7		15.4		11.1				
店舗の狭小・老朽化		-		-		-		7.7		-		-		-		11.1				
代金回収の悪化		-		-		6.7		-		-		-		-		-				
地価の高騰		-		-		-		-		-		-		-		-				
駐車場の確保難		-		-		6.7		-		-		7.7		-		-				
天候の不順		-		-		-		7.7		-		-		-		11.1				
地場産業の衰退	-		-		-		-		-		-		-		-					
為替レートの変動	13.3		14.3		13.3		7.7		7.7		23.1		23.1		33.3					
大手企業・工場の縮小・撤退	13.3		7.1		13.3		7.7		7.7		7.7		7.7		11.1					
その他	13.3		21.4		13.3		7.7		15.4		7.7		-		-					
問題なし	-		-		-		-		-		-		-		-					
重点経営施策(%)	販路を広げる	60.0		78.6		66.7		69.2		69.2		76.9		61.5		88.9				
	経費を節減する	53.3		57.1		60.0		61.5		38.5		69.2		61.5		44.4				
	品揃えを充実する	6.7		7.1		6.7		-		7.7		-		23.1		22.2				
	情報力を強化する	26.7		35.7		33.3		23.1		30.8		53.8		46.2		44.4				
	新しい事業を始める	-		-		6.7		-		-		-		-		11.1				
	提携先を見つける	6.7		-		6.7		7.7		7.7		7.7		7.7		-				
	機械化を推進する	-		14.3		-		7.7		-		-		-		-				
	人材を確保する	13.3		14.3		6.7		15.4		15.4		15.4		7.7		22.2				
	パート化を図る	6.7		-		-		-		7.7		7.7		-		-				
	教育訓練を強化する	13.3		-		6.7		-		-		7.7		7.7		-				
	流通経路の見直しをする	-		14.3		13.3		7.7		7.7		7.7		15.4		22.2				
	取引先を支援する	6.7		-		6.7		7.7		7.7		7.7		7.7		11.1				
	輸入品の取扱いを増やす	6.7		-		-		-		-		-		-		-				
	労働条件を改善する	6.7		7.1		6.7		7.7		7.7		7.7		7.7		-				
	不動産の有効活用を図る	6.7		7.1		-		-		-		-		-		-				
その他	-		-		-		-		-		-		-		11.1					
特になし	13.3		7.1		6.7		7.7		7.7		-		-		-					
有効回答事業所数		15		14		15		13		13		13		13		9				

小売業  
 地域名: 杉並区  
 中分類: 業種合計

中小企業景況調査 転記表 No.1

令和4年7月～9月期

注: 各項目の右側は、前期調査における予想(計画)値です。

項目	調査期		令和2年		令和3年		令和3年		令和3年		令和3年		令和4年		令和4年		令和4年		対前期比	令和4年10月～12月期	
	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期					
業況	良い	8.8	2.9	12.1	5.9	6.1	12.1	16.1	3.0	10.0	9.7	6.7	6.7	16.7	10.0	20.0	13.3			12.5	
	普通	26.5	41.2	36.4	38.2	39.4	30.3	32.3	36.4	46.7	32.3	50.0	56.6	50.0	50.0	48.0	60.0			58.3	
	悪い	64.7	55.9	51.5	55.9	54.5	57.6	51.6	60.6	43.3	58.0	43.3	36.7	33.3	40.0	32.0	26.7			29.2	
	D・I	-55.9	-53.0	-39.4	-50.0	-48.4	-45.5	-35.5	-57.6	-33.3	-48.3	-36.6	-30.0	-16.6	-30.0	-12.0	-13.4			-16.7	
	修正値	<b>-55.7</b>	<b>-51.7</b>	<b>-44.4</b>	<b>-48.2</b>	<b>-42.7</b>	<b>-48.8</b>	<b>-32.9</b>	<b>-51.9</b>	<b>-34.1</b>	<b>-47.5</b>	<b>-42.2</b>	<b>-30.8</b>	<b>-12.6</b>	<b>-36.1</b>	<b>-11.2</b>	<b>-8.6</b>	<b>1.4</b>			<b>-14.8</b>
	傾向値	-44.7		-51.7		-53.3		-48.1		-42.0		-38.8		-34.5		-27.6					
売上額	増加	8.8	8.8	12.1	5.9	3.0	6.1	12.9	3.0	13.3	9.7	13.3	10.0	20.0	13.3	15.4	10.0			8.0	
	変らず	26.5	35.3	33.3	41.2	51.5	42.4	41.9	48.5	56.7	48.4	50.0	56.7	60.0	46.7	61.5	66.7			72.0	
	減少	64.7	55.9	54.6	52.9	45.5	51.5	45.2	48.5	30.0	41.9	36.7	33.3	20.0	40.0	23.1	23.3			20.0	
	D・I	-55.9	-47.1	-42.5	-47.0	-42.5	-45.4	-32.3	-45.5	-16.7	-32.2	-23.4	-23.3	0.0	-26.7	-7.7	-13.3			-12.0	
	修正値	<b>-56.6</b>	<b>-46.6</b>	<b>-43.1</b>	<b>-46.5</b>	<b>-35.9</b>	<b>-47.7</b>	<b>-29.3</b>	<b>-34.9</b>	<b>-22.1</b>	<b>-32.3</b>	<b>-26.8</b>	<b>-26.0</b>	<b>3.0</b>	<b>-31.4</b>	<b>-4.3</b>	<b>-3.6</b>	<b>-7.3</b>			<b>-12.1</b>
	傾向値	-42.3		-52.5		-54.1		-47.4		-38.4		-31.1		-23.4		-15.0					
収益	増加	8.8	8.8	12.1	5.9	3.0	6.1	9.7	3.0	6.7	9.7	10.0	6.7	16.7	10.0	19.2	10.0			8.0	
	変らず	29.4	38.2	33.3	44.1	48.5	42.4	48.4	45.5	63.3	51.6	50.0	60.0	53.3	50.0	53.9	66.7			68.0	
	減少	61.8	53.0	54.6	50.0	48.5	51.5	41.9	51.5	30.0	38.7	40.0	33.3	30.0	40.0	26.9	23.3			24.0	
	D・I	-53.0	-44.2	-42.5	-44.1	-45.5	-45.4	-32.2	-48.5	-23.3	-29.0	-30.0	-26.6	-13.3	-30.0	-7.7	-13.3			-16.0	
	修正値	<b>-53.0</b>	<b>-44.4</b>	<b>-44.1</b>	<b>-42.7</b>	<b>-40.2</b>	<b>-47.4</b>	<b>-29.8</b>	<b>-40.0</b>	<b>-26.6</b>	<b>-29.6</b>	<b>-33.1</b>	<b>-27.8</b>	<b>-8.9</b>	<b>-34.1</b>	<b>-6.5</b>	<b>-5.5</b>	<b>2.4</b>			<b>-16.3</b>
	傾向値	-46.5		-53.5		-54.4		-47.7		-39.6		-34.3		-28.7		-21.6					
価格動向	販売価格	-5.9	-8.8	-3.1	-5.9	0.0	-12.1	0.0	0.0	-6.7	0.0	-13.4	-10.0	-6.6	-16.7	15.4	0.0			8.0	
	修正値	<b>-8.2</b>	<b>-8.4</b>	<b>-3.3</b>	<b>-6.3</b>	<b>0.0</b>	<b>-10.1</b>	<b>3.2</b>	<b>0.9</b>	<b>-8.0</b>	<b>-0.9</b>	<b>-12.0</b>	<b>-9.5</b>	<b>-7.7</b>	<b>-14.3</b>	<b>14.7</b>	<b>-2.0</b>	<b>22.4</b>			<b>4.9</b>
	傾向値	-15.1		-14.1		-10.4		-5.2		-2.4		-3.7		-5.9		-4.8					
	仕入価格	-11.8	5.9	3.0	-5.9	3.0	-3.0	19.4	0.0	6.7	12.9	10.0	3.3	40.0	16.7	42.4	33.3			36.0	
	修正値	<b>-11.2</b>	<b>4.1</b>	<b>3.1</b>	<b>-6.1</b>	<b>7.0</b>	<b>-0.8</b>	<b>14.9</b>	<b>3.7</b>	<b>9.0</b>	<b>8.6</b>	<b>9.9</b>	<b>3.8</b>	<b>38.8</b>	<b>17.3</b>	<b>32.1</b>	<b>33.0</b>	<b>-6.7</b>			<b>26.5</b>
	傾向値	-6.9		-8.7		-4.9		1.0		5.7		8.9		14.4		21.9					
在庫・繰り	在庫数量	11.8	0.0	15.2	8.8	18.2	12.2	9.7	15.2	-6.7	6.5	-10.0	-6.7	0.0	-10.0	0.0	-6.7			-8.0	
	修正値	<b>11.5</b>	<b>0.8</b>	<b>12.1</b>	<b>8.8</b>	<b>18.0</b>	<b>9.9</b>	<b>10.4</b>	<b>13.4</b>	<b>-4.8</b>	<b>7.7</b>	<b>-10.4</b>	<b>-4.8</b>	<b>-0.1</b>	<b>-10.0</b>	<b>0.2</b>	<b>-7.3</b>	<b>0.3</b>		<b>-6.3</b>	
	資金繰り	-44.2	-38.3	-45.5	-41.2	-39.4	-51.6	-35.5	-39.4	-20.0	-32.2	-20.0	-13.3	-20.0	-13.3	-7.7	-20.0			-8.0	
	修正値	<b>-43.3</b>	<b>-36.8</b>	<b>-46.2</b>	<b>-40.5</b>	<b>-36.0</b>	<b>-51.0</b>	<b>-33.6</b>	<b>-35.3</b>	<b>-21.6</b>	<b>-31.8</b>	<b>-23.4</b>	<b>-17.0</b>	<b>-16.9</b>	<b>-15.7</b>	<b>-6.3</b>	<b>-15.4</b>	<b>10.6</b>		<b>-7.4</b>	
前年同期比	売上額	-61.7		-66.6		-33.3		-35.5		-6.7		-10.0		10.0		-3.8					
	収益	-58.8		-66.6		-36.4		-38.7		-10.0		-16.7		6.7		-11.6					
	販売価格	-2.9		-9.1		-6.1		0.0		-3.4		-3.3		10.0		11.5					
雇用	残業時間	-14.7	-8.9	-24.2	-20.6	-12.1	-18.1	-12.9	-18.2	0.0	-9.7	-6.7	0.0	0.0	-10.0	-3.9	0.0			4.0	
	人手	-14.7	-12.2	-6.1	-20.6	-12.1	-6.0	-12.9	-3.1	-13.4	-16.1	-16.7	-13.4	-3.3	-13.3	-7.7	-3.3			-15.4	
	借入をした (%)	17.6	8.8	12.1	5.9	15.2	9.1	6.5	3.0	10.0	0.0	0.0	0.0	6.7	6.9	3.8	6.7			3.8	
	借入をしない (%)	82.4	91.2	87.9	94.1	84.8	90.9	93.5	97.0	90.0	100.0	100.0	100.0	93.3	93.1	96.2	93.3			96.2	
借入難易度	7.4		-8.0		-3.9		-12.5		4.1		-8.7		-4.4		6.3						
有効回答事業所数	34		33		33		31		30		30		30		26						

小売業

地域名: 杉並区  
中分類: 業種合計

中小企業景況調査 転記表 No.2

令和4年7月～9月期

注: 各項目の右側は、前期調査における予想(計画)値です。

項目	調査期		令和2年		令和3年		令和3年		令和3年		令和3年		令和4年		令和4年		令和4年		対前期比	令和4年 10月～12月期	
	10月～12月期	10月～12月期	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	1月～3月期	4月～6月期	4月～6月期	7月～9月期	7月～9月期	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	1月～3月期	4月～6月期	4月～6月期	7月～9月期	7月～9月期			
設備投資動向(%)	現在の設備	-2.9	-5.9	-9.1	-2.9	-9.4	-6.1	-9.7	-9.4	-6.7	-9.7	-13.3	-6.9	-10.0	-13.3	0.0	-6.7			-3.8	
	実施した	2.9	5.9	6.3	5.9	6.1	3.2	6.5	3.1	3.3	6.7	10.0	0.0	13.3	6.7	16.0	13.3			12.5	
	事業用土地・建物	-	100.0	-	50.0	-	-	-	-	100.0	50.0	66.7	-	25.0	50.0	50.0	25.0				33.3
	事務機器	100.0	-	100.0	50.0	50.0	100.0	100.0	100.0	-	50.0	33.3	-	25.0	50.0	50.0	25.0				33.3
	車両	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	25.0	-	-				-
	投資内容																				
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-	25.0	50.0			33.3
	実施しない	97.1	94.1	93.7	94.1	93.9	96.8	93.5	96.9	96.7	93.3	90.0	100.0	86.7	93.3	84.0	86.7				87.5
経営上の問題点(%)	売上の停滞・減少	70.6		69.7		54.5		58.1		50.0		46.7		33.3		30.8					
	人手不足	11.8		9.1		18.2		22.6		23.3		20.0		20.0		19.2					
	同業者間の競争の激化	20.6		24.2		36.4		29.0		23.3		20.0		16.7		15.4					
	大型店との競争の激化	26.5		33.3		24.2		16.1		20.0		16.7		20.0		15.4					
	輸入製品との競争の激化	2.9		3.0		3.0		3.2		-		3.3		3.3		3.8					
	利幅の縮小	8.8		15.2		3.0		6.5		10.0		23.3		16.7		19.2					
	取扱商品の陳腐化	5.9		3.0		3.0		3.2		3.3		-		-		-					
	販売商品の不足	-		-		-		-		-		-		3.3		-					
	販売納入先からの値下げ要請	-		-		-		-		-		-		-		-					
	仕入先からの値上げ要請	5.9		6.1		3.0		6.5		16.7		10.0		20.0		26.9					
	人件費の増加	5.9		6.1		6.1		9.7		10.0		3.3		6.7		3.8					
	人件費以外の経費の増加	-		-		-		-		-		-		-		3.8					
	取引先の減少	8.8		9.1		6.1		12.9		3.3		10.0		6.7		7.7					
	商圏人口の減少	2.9		6.1		-		3.2		16.7		16.7		6.7		7.7					
	商店街の集客力の低下	14.7		18.2		21.2		19.4		33.3		20.0		13.3		3.8					
	店舗の狭小・老朽化	5.9		-		9.1		19.4		3.3		10.0		3.3		3.8					
	代金回収の悪化	-		-		-		-		-		-		-		-					
	地価の高騰	5.9		-		-		-		-		-		-		-					
	駐車場の確保難	-		-		-		-		-		-		-		-					
	天候の不順	2.9		9.1		3.0		6.5		3.3		3.3		10.0		-					
地場産業の衰退	-		-		-		-		3.3		-		-		-						
大手企業・工場の縮小・撤退	-		-		3.0		-		3.3		-		-		-						
その他	2.9		9.1		12.1		6.5		6.7		6.7		3.3		3.8						
問題なし	-		-		-		-		3.3		6.7		6.7		19.2						
重点経営施策(%)	品揃えを改善する	35.3		33.3		33.3		19.4		10.0		20.0		16.7		15.4					
	経費を削減する	50.0		39.4		33.3		38.7		36.7		40.0		36.7		46.2					
	宣伝・広告を強化する	29.4		39.4		33.3		32.3		33.3		26.7		23.3		15.4					
	新しい事業を始める	2.9		-		-		3.2		-		-		3.3		-					
	店舗・設備を改装する	8.8		9.1		6.1		9.7		6.7		6.7		6.7		7.7					
	仕入先を開拓・選別する	5.9		6.1		3.0		3.2		6.7		13.3		13.3		15.4					
	営業時間を延長する	-		3.0		-		3.2		6.7		6.7		3.3		-					
	売れ筋商品を取り扱う	11.8		21.2		12.1		12.9		3.3		6.7		10.0		3.8					
	商店街事業を活性化させる	14.7		9.1		12.1		16.1		33.3		20.0		16.7		7.7					
	機械化を推進する	-		-		3.0		6.5		6.7		-		6.7		3.8					
	人材を確保する	11.8		15.2		15.2		22.6		23.3		16.7		20.0		11.5					
	パート化を図る	-		-		3.0		-		-		3.3		-		-					
	教育訓練を強化する	8.8		3.0		-		-		3.3		10.0		-		-					
	輸入品の取扱いを増やす	-		-		-		-		-		-		-		-					
不動産の有効活用を図る	-		3.0		3.0		3.2		3.3		3.3		3.3		-						
その他	-		3.0		3.0		-		-		-		-		-						
特になし	2.9		3.0		9.1		6.5		16.7		13.3		23.3		26.9						
有効回答事業所数		34		33		33		31		30		30		30		26					

サービス業  
地域名: 杉並区  
中分類: 業種合計

中小企業景況調査 転記表 No.1

令和4年7月～9月期

注: 各項目の右側は、前期調査における予想(計画)値です。

項目	調査期		令和2年		令和3年		令和3年		令和3年		令和3年		令和4年		令和4年		令和4年		対 前期比	令和4年 10月～12月期
	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	1月～3月期	4月～6月期	4月～6月期	7月～9月期	7月～9月期	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	1月～3月期	4月～6月期	4月～6月期	7月～9月期	7月～9月期	10月～12月期			
業況	良	3.1	3.1	3.1	3.1	6.3	6.3	12.9	3.1	6.5	9.7	3.2	6.5	6.9	6.5	8.3	7.1		12.5	
	普通	43.8	46.9	59.4	46.9	49.9	56.2	48.4	59.4	48.3	54.8	58.1	61.2	48.3	61.2	41.7	42.9		37.5	
	悪	53.1	50.0	37.5	50.0	43.8	37.5	38.7	37.5	45.2	35.5	38.7	32.3	44.8	32.3	50.0	50.0		50.0	
	D・I	-50.0	-46.9	-34.4	-46.9	-37.5	-31.2	-25.8	-34.4	-38.7	-25.8	-35.5	-25.8	-37.9	-25.8	-41.7	-42.9		-37.5	
	修正値	<b>-49.4</b>	<b>-46.7</b>	<b>-36.3</b>	<b>-45.2</b>	<b>-34.5</b>	<b>-30.9</b>	<b>-25.1</b>	<b>-32.2</b>	<b>-37.8</b>	<b>-26.2</b>	<b>-36.8</b>	<b>-24.2</b>	<b>-31.8</b>	<b>-25.6</b>	<b>-38.9</b>	<b>-37.7</b>	<b>-7.1</b>	<b>-35.3</b>	
	傾向値	-34.0		-43.8		-45.7		-40.4		-35.5		-34.2		-34.4		-36.5				
売上額	増	3.1	3.1	3.1	3.1	6.3	6.3	12.9	3.1	12.9	12.9	6.5	16.7	13.3	9.7	12.5	16.7		8.3	
	変	40.6	50.0	53.1	53.1	49.9	59.3	54.8	71.9	51.6	61.3	54.8	56.6	60.0	61.3	66.7	53.3		79.2	
	減	56.3	46.9	43.8	43.8	43.8	34.4	32.3	25.0	35.5	25.8	38.7	26.7	26.7	29.0	20.8	30.0		12.5	
	D・I	-53.2	-43.8	-40.7	-40.7	-37.5	-28.1	-19.4	-21.9	-22.6	-12.9	-32.2	-10.0	-13.4	-19.3	-8.3	-13.3		-4.2	
	修正値	<b>-51.6</b>	<b>-42.4</b>	<b>-39.1</b>	<b>-38.5</b>	<b>-34.8</b>	<b>-26.3</b>	<b>-20.9</b>	<b>-20.9</b>	<b>-22.8</b>	<b>-13.5</b>	<b>-29.5</b>	<b>-9.5</b>	<b>-9.7</b>	<b>-17.4</b>	<b>-9.5</b>	<b>-9.8</b>	<b>0.2</b>	<b>-4.3</b>	
	傾向値	-37.0		-47.2		-49.2		-42.3		-33.9		-29.0		-24.9		-20.5				
収益	増	3.1	3.1	3.1	3.1	6.3	3.1	12.9	3.1	6.5	9.7	9.7	10.0	10.0	9.7	8.3	13.3		8.3	
	変	40.6	50.0	53.1	53.1	49.9	59.4	51.6	71.9	58.0	64.5	54.8	63.3	53.3	58.0	66.7	56.7		66.7	
	減	56.3	46.9	43.8	43.8	43.8	37.5	35.5	25.0	35.5	25.8	35.5	26.7	36.7	32.3	25.0	30.0		25.0	
	D・I	-53.2	-43.8	-40.7	-40.7	-37.5	-34.4	-22.6	-21.9	-29.0	-16.1	-25.8	-16.7	-26.7	-22.6	-16.7	-16.7		-16.7	
	修正値	<b>-52.1</b>	<b>-41.6</b>	<b>-39.4</b>	<b>-38.5</b>	<b>-36.2</b>	<b>-32.2</b>	<b>-20.2</b>	<b>-22.1</b>	<b>-29.5</b>	<b>-15.7</b>	<b>-25.7</b>	<b>-15.2</b>	<b>-24.0</b>	<b>-19.8</b>	<b>-15.3</b>	<b>-15.9</b>	<b>8.7</b>	<b>-16.0</b>	
	傾向値	-37.8		-47.3		-48.9		-42.7		-35.5		-30.6		-27.4		-25.3				
価格動向	料	-9.4	-6.2	-9.4	-3.2	0.0	-9.4	0.0	3.1	0.0	0.0	3.2	-3.4	6.6	0.0	8.3	6.7		8.3	
	修正値	<b>-9.9</b>	<b>-5.4</b>	<b>-8.9</b>	<b>-5.1</b>	<b>-2.0</b>	<b>-6.9</b>	<b>0.3</b>	<b>0.1</b>	<b>-0.4</b>	<b>-0.7</b>	<b>3.7</b>	<b>-4.5</b>	<b>5.6</b>	<b>3.1</b>	<b>7.2</b>	<b>3.4</b>	<b>1.6</b>	<b>6.8</b>	
	傾向値	-3.2		-6.6		-7.4		-5.5		-3.5		-0.8		1.6		3.5				
	材	6.3	15.6	3.1	6.3	6.3	3.1	3.3	6.3	12.9	3.3	29.0	16.7	50.0	38.7	58.3	43.4		45.8	
	修正値	<b>6.3</b>	<b>13.0</b>	<b>4.8</b>	<b>6.8</b>	<b>7.3</b>	<b>3.9</b>	<b>1.9</b>	<b>9.4</b>	<b>12.3</b>	<b>1.0</b>	<b>26.1</b>	<b>14.5</b>	<b>44.9</b>	<b>33.0</b>	<b>50.6</b>	<b>42.3</b>	<b>5.7</b>	<b>41.1</b>	
	傾向値	8.4		6.6		6.7		6.3		5.6		9.6		18.3		30.7				
在資産・繰り	資	-21.8	-21.9	-18.8	-9.3	-9.4	-21.9	-9.6	-6.2	-19.4	-6.4	-16.2	-10.0	-10.0	-6.4	-8.3	-10.0		-4.1	
	修正値	<b>-23.9</b>	<b>-20.8</b>	<b>-18.1</b>	<b>-12.2</b>	<b>-10.5</b>	<b>-19.4</b>	<b>-8.1</b>	<b>-7.6</b>	<b>-20.5</b>	<b>-6.2</b>	<b>-15.7</b>	<b>-12.4</b>	<b>-9.4</b>	<b>-4.9</b>	<b>-7.2</b>	<b>-8.9</b>	<b>2.2</b>	<b>-3.9</b>	
前年同期比	売	-56.3		-53.2		-40.6		-22.6		-25.8		-22.6		-6.6		0.0				
	収	-56.3		-53.2		-40.6		-22.6		-29.0		-20.0		-13.8		-17.4				
雇用	残	0.0	-12.5	-18.8	-3.1	-9.4	-15.6	-6.4	-6.3	-9.7	-3.2	-9.6	-6.5	-3.3	-9.6	0.0	-3.3		0.0	
	手	-6.2	-3.2	6.2	-3.1	0.0	6.2	-12.9	0.0	-12.9	-12.9	-16.2	-12.9	-20.0	-16.2	-33.3	-16.7		-33.3	
借入金	借	25.0	15.6	21.9	12.5	12.5	15.6	16.1	6.3	9.7	3.2	12.9	9.7	16.7	12.9	12.5	6.7		8.3	
	借	75.0	84.4	78.1	87.5	87.5	84.4	83.9	93.7	90.3	96.8	87.1	90.3	83.3	87.1	87.5	93.3		91.7	
	借	32.0		23.1		15.4		8.0		8.3		20.0		8.3		18.8				
有効回答事業所数		32		32		32		31		31		31		30		24				

サービス業  
地域名: 杉並区  
中分類: 業種合計

中小企業景況調査 転記表 No.2

令和4年7月～9月期

注: 各項目の右側は、前期調査における予想(計画)値です。

項目	調査期		令和2年		令和3年		令和3年		令和3年		令和3年		令和4年		令和4年		令和4年		対 前期比	令和4年 10月～12月期
	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期				
設備投資動向(%)	現在の設備	3.1	6.3	6.5	3.1	3.1	6.5	0.0	3.1	-6.5	0.0	-3.3	-6.5	-6.7	-6.7	-4.3	-6.7			-4.3
	実施した	0.0	6.5	3.1	0.0	15.6	3.2	12.9	18.8	13.3	12.9	16.1	16.7	20.7	16.1	8.7	24.1			8.7
	事業用地・建物	-	-	-	-	-	-	-	-	25.0	-	-	-	16.7	-	-	14.3			-
	機械・設備の新・増設	-	-	100.0	-	20.0	100.0	50.0	16.7	-	50.0	-	-	16.7	-	-	14.3			-
	機械・設備の更改	-	-	-	-	-	-	25.0	-	25.0	25.0	-	20.0	33.3	-	-	42.9			-
	投資内容	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20.0	20.0	-	20.0	-	-			-
	事務機器	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20.0	20.0	-	20.0	-	-			-
	車両	-	100.0	-	-	80.0	-	25.0	83.3	50.0	25.0	80.0	60.0	50.0	80.0	100.0	42.9			100.0
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			-
	実施しない	100.0	93.5	96.9	100.0	84.4	96.8	87.1	81.2	86.7	87.1	83.9	83.3	79.3	83.9	91.3	75.9			91.3
経営上の問題点(%)	売上の停滞・減少	53.1		56.3		62.5		61.3		51.6		48.4		43.3		33.3				
	人手不足	18.8		12.5		6.3		19.4		16.1		22.6		20.0		20.8				
	同業者間の競争の激化	31.3		46.9		40.6		29.0		29.0		16.1		23.3		16.7				
	大企業との競争の激化	6.3		9.4		-		3.2		-		-		10.0		12.5				
	合理化の不足	3.1		-		-		3.2		-		-		-		-				
	利幅の縮小	6.3		15.6		12.5		12.9		12.9		12.9		10.0		8.3				
	取扱事務の陳腐化	-		-		-		-		-		-		-		-				
	材料価格の上昇	6.3		6.3		9.4		6.5		9.7		16.1		33.3		20.8				
	料金の値下げ要請	3.1		-		-		6.5		3.2		-		-		4.2				
	人件費の増加	9.4		6.3		9.4		6.5		12.9		12.9		10.0		4.2				
	人件費以外の経費の増加	-		3.1		3.1		-		3.2		-		3.3		8.3				
	技術力の不足	-		-		-		-		-		-		6.7		4.2				
	取引先の減少	3.1		3.1		9.4		6.5		6.5		9.7		6.7		4.2				
	商圏人口の減少	-		3.1		-		3.2		6.5		12.9		3.3		-				
	地価の高騰	-		-		-		-		-		-		-		-				
	駐車場の確保難	-		3.1		-		-		-		-		-		-				
	店舗・設備の狭小・老朽化	-		-		-		-		-		-		-		-				
	代金回収の悪化	3.1		-		-		-		-		-		-		-				
	天候の不順	3.1		-		-		-		-		-		3.3		4.2				
	地場産業の衰退	-		-		-		-		-		-		-		-				
大手企業・工場の縮小・撤退	-		-		-		-		3.2		-		-		-					
その他	15.6		9.4		15.6		16.1		9.7		9.7		-		4.2					
問題なし	9.4		9.4		9.4		9.7		19.4		19.4		10.0		20.8					
重点経営施策(%)	販路を広げる	53.1		46.9		50.0		48.4		51.6		54.8		60.0		50.0				
	経費を削減する	53.1		53.1		56.3		48.4		51.6		58.1		46.7		50.0				
	宣伝・広告を強化する	18.8		25.0		31.3		25.8		22.6		9.7		16.7		12.5				
	新しい事業を始める	6.3		6.3		6.3		3.2		3.2		3.2		3.3		-				
	店舗・設備を改装する	-		-		-		-		-		3.2		3.3		-				
	提携先を見つける	3.1		6.3		-		6.5		-		-		3.3		8.3				
	技術力を強化する	6.3		6.3		18.8		16.1		12.9		12.9		20.0		4.2				
	機械化を推進する	-		-		-		-		-		-		-		-				
	人材を確保する	18.8		18.8		12.5		12.9		12.9		16.1		26.7		20.8				
	パート化を図る	-		-		-		3.2		6.5		3.2		3.3		-				
	教育訓練を強化する	3.1		6.3		3.1		-		6.5		6.5		3.3		8.3				
	労働条件を改善する	-		-		-		-		-		-		3.3		-				
	不動産の有効活用を図る	-		-		-		-		-		-		-		-				
	その他	-		-		-		-		-		-		-		-				
特になし	3.1		6.3		6.3		9.7		16.1		12.9		6.7		16.7					
有効回答事業所数		32		32		32		31		31		31		30		24				

建設業  
地域名: 杉並区  
中分類: 業種合計

中小企業景況調査 転記表 No.1

令和4年7月～9月期

注: 各項目の右側は、前期調査における予想(計画)値です。

項目	調査期		令和2年		令和3年		令和3年		令和3年		令和3年		令和4年		令和4年		令和4年		対前期比	令和4年 10月～12月期
	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	1月～3月期	4月～6月期	4月～6月期	7月～9月期	7月～9月期	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	1月～3月期	4月～6月期	4月～6月期	7月～9月期	7月～9月期	10月～12月期			
業況	良い	3.7	3.7	4.0	7.4	19.2	4.2	11.5	3.8	19.2	7.7	15.4	15.4	19.2	7.7	13.6	8.0		13.0	
	普通	63.0	63.0	48.0	48.2	53.9	45.8	65.4	53.9	61.6	65.4	53.8	65.4	69.3	69.2	81.9	76.0		74.0	
	悪い	33.3	33.3	48.0	44.4	26.9	50.0	23.1	42.3	19.2	26.9	30.8	19.2	11.5	23.1	4.5	16.0		13.0	
	D・I	-29.6	-29.6	-44.0	-37.0	-7.7	-45.8	-11.6	-38.5	0.0	-19.2	-15.4	-3.8	7.7	-15.4	9.1	-8.0		0.0	
	修正値	-30.4	-24.9	-44.2	-34.1	-2.3	-47.3	-7.9	-32.9	-4.6	-19.3	-14.4	-4.8	10.1	-17.6	9.6	-1.5	-0.5	-0.9	
	傾向値	-15.0		-30.5		-32.8		-25.0		-19.5		-12.3		-6.8		-2.2				
売上額	増加	14.8	14.8	3.7	3.7	19.2	22.2	15.4	19.2	23.1	7.7	11.5	15.4	26.9	15.4	26.1	11.5		13.0	
	変わらず	51.9	59.3	55.6	51.9	50.0	37.0	50.0	46.2	42.3	61.5	65.4	61.5	57.7	65.4	60.9	73.1		78.3	
	減少	33.3	25.9	40.7	44.4	30.8	40.8	34.6	34.6	34.6	30.8	23.1	23.1	15.4	19.2	13.0	15.4		8.7	
	D・I	-18.5	-11.1	-37.0	-40.7	-11.6	-18.6	-19.2	-15.4	-11.5	-23.1	-11.6	-7.7	11.5	-3.8	13.1	-3.9		4.3	
	修正値	-18.3	-9.7	-40.1	-39.8	-0.8	-20.4	-14.9	-8.7	-13.4	-24.1	-17.0	-4.4	17.2	-8.4	15.4	-0.7	-1.8	1.1	
	傾向値	-17.1		-30.3		-31.2		-22.9		-20.7		-16.7		-10.6		-3.7				
受注残	増加	18.5	11.1	7.4	3.7	19.2	22.2	11.5	15.4	26.9	7.7	15.4	19.2	19.2	7.7	21.7	7.7		8.7	
	変わらず	48.2	55.6	51.9	51.9	57.7	40.8	53.9	50.0	38.5	61.5	61.5	57.7	65.4	69.2	65.3	76.9		82.6	
	減少	33.3	33.3	40.7	44.4	23.1	37.0	34.6	34.6	30.8	23.1	23.1	15.4	23.1	13.0	15.4			8.7	
	D・I	-14.8	-22.2	-33.3	-40.7	-3.9	-14.8	-23.1	-19.2	-7.7	-23.1	-7.7	-3.9	3.8	-15.4	8.7	-7.7		0.0	
	修正値	-15.5	-19.9	-35.1	-39.2	1.8	-15.8	-18.4	-15.5	-10.6	-22.4	-10.1	-2.1	7.7	-16.9	12.2	-6.1	4.5	-1.5	
	傾向値	-17.6		-28.9		-27.9		-19.6		-17.9		-13.8		-9.6		-4.7				
施工高	増加	18.5	18.5	7.4	7.4	19.2	18.5	7.7	15.4	26.9	7.7	15.4	23.1	23.1	7.7	17.4	7.7		13.0	
	変わらず	55.6	55.6	55.6	59.3	57.7	51.9	61.5	53.8	50.0	69.2	61.5	65.4	57.7	69.2	69.6	73.1		78.3	
	減少	25.9	25.9	37.0	33.3	23.1	29.6	30.8	30.8	23.1	23.1	23.1	11.5	19.2	23.1	13.0	19.2		8.7	
	D・I	-7.4	-7.4	-29.6	-25.9	-3.9	-11.1	-23.1	-15.4	3.8	-15.4	-7.7	11.6	3.9	-15.4	4.4	-11.5		4.3	
	修正値	-9.7	-6.2	-32.4	-26.6	6.2	-13.4	-18.3	-8.0	-2.4	-17.2	-11.6	9.3	10.9	-16.7	9.0	-3.8	-1.9	0.4	
	傾向値	-11.7		-22.1		-22.7		-16.4		-14.6		-10.5		-6.8		-2.3				
収益	増加	18.5	14.8	11.1	3.7	19.2	14.8	7.7	11.5	23.1	7.7	11.5	15.4	26.9	3.8	8.7	11.5		13.0	
	変わらず	48.2	55.6	51.9	55.6	53.9	51.9	65.4	57.7	53.8	69.2	65.4	61.6	77.0	73.9	65.4			78.3	
	減少	33.3	29.6	37.0	40.7	26.9	33.3	26.9	30.8	23.1	23.1	23.1	19.2	11.5	19.2	17.4	23.1		8.7	
	D・I	-14.8	-14.8	-25.9	-37.0	-7.7	-18.5	-19.2	-19.3	0.0	-15.4	-11.6	-3.8	15.4	-15.4	-8.7	-11.6		4.3	
	修正値	-17.7	-17.6	-25.9	-35.5	-2.5	-16.8	-14.2	-14.0	-7.3	-19.4	-10.2	-3.2	16.0	-13.2	-2.7	-9.3	-18.7	-1.5	
	傾向値	-20.3		-28.8		-26.5		-18.7		-15.1		-11.4		-6.7		-2.5				
価格動向	請負価格	-7.4	-3.7	-11.1	-11.1	0.0	-18.5	-7.7	-7.7	7.7	-7.7	7.7	-3.9	23.1	7.7	13.1	19.2		26.1	
	修正値	-5.4	-5.0	-11.5	-8.4	-0.4	-17.3	-8.0	-7.8	8.1	-10.6	7.0	-0.1	20.6	7.2	14.2	15.7	-6.4	20.7	
	傾向値	-8.2		-12.9		-12.8		-7.9		-4.7		-0.4		4.8		10.3				
	材料価格	22.2	7.4	7.4	14.8	-3.8	7.4	23.1	-7.7	50.0	15.4	57.7	38.5	69.2	57.7	69.7	69.2		56.6	
	修正値	22.6	13.3	3.5	14.7	0.3	3.2	26.6	-4.4	44.0	19.0	48.5	34.5	72.5	47.1	71.6	69.2	-0.9	58.7	
	傾向値	21.0		13.6		8.8		10.3		15.7		25.5		40.9		55.8				
在庫金・繰り	在庫数量	-3.7	-11.1	-3.7	3.7	-3.9	-3.7	-7.7	-3.9	-3.9	-3.8	0.0	-7.7	0.0	0.0	-8.7	-3.8		-13.1	
	修正値	-4.1	-11.6	-2.4	2.4	-2.9	-3.8	-6.1	0.4	-6.1	-3.5	-1.0	-9.7	0.8	-1.5	-6.0	-0.2	-6.8	-11.1	
	資金繰り	-7.4	-11.1	0.0	0.0	7.7	-3.7	0.0	3.8	-7.7	3.9	-3.8	0.0	3.9	0.0	0.0	-3.8		-17.4	
修正値	-10.0	-7.8	-5.0	-4.9	8.5	-6.6	1.5	2.2	-7.7	5.4	-6.6	-1.2	3.4	-1.1	0.5	-5.0	-2.9	-14.5		
前年同期比	売上額	-25.9		-33.4		-11.6		-11.5		-11.6		-7.7		23.1		0.0				
	収益	-14.8		-22.3		-15.4		-19.3		-11.5		-11.6		15.4		-4.3				
雇用	残業時間	3.7	-4.0	0.0	3.7	0.0	0.0	-7.7	7.7	-3.9	-3.9	-7.7	0.0	-3.9	-4.0	0.0	-3.9		0.0	
	人手	-18.5	-28.0	-11.1	-18.5	-7.7	-14.8	-15.4	-19.3	-20.0	-15.4	-30.8	-28.0	-20.0	-32.0	-30.5	-12.0		-31.9	
借入金	借入をした(%)	46.2	26.9	25.9	23.1	23.1	7.4	23.1	8.0	15.4	15.4	15.4	11.5	23.1	11.5	21.7	11.5		4.3	
	借入をしない(%)	53.8	73.1	74.1	76.9	76.9	92.6	76.9	92.0	84.6	84.6	84.6	88.5	76.9	88.5	78.3	88.5		95.7	
	借入難易度	19.2		7.7		12.0		4.0		0.0		-8.3		0.0		0.0				
有効回答事業所数		27		27		27		26		26		26		26		23				

建設業  
地域名: 杉並区  
中分類: 業種合計

中小企業景況調査 転記表 No.2

令和4年7月～9月期

注: 各項目の右側は、前期調査における予想(計画)値です。

項目	調査期		令和2年		令和3年		令和3年		令和3年		令和3年		令和4年		令和4年		令和4年		対 前期比	令和4年 10月～12月期	
	10月～12月期	10月～12月期	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	1月～3月期	4月～6月期	4月～6月期	7月～9月期	7月～9月期	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	1月～3月期	4月～6月期	4月～6月期	7月～9月期	7月～9月期			
設備投資動向(%)	現在の設備	-3.8	-7.4	0.0	-3.8	0.0	0.0	-4.0	0.0	-4.0	-4.0	-4.2	-4.0	0.0	-8.3	-4.3	0.0			-4.3	
	実施した	18.5	18.5	18.5	18.5	19.2	14.8	19.2	15.4	24.0	19.2	11.5	20.0	15.4	15.4	13.6	11.5			9.1	
	事業用地・建物	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	25.0	20.0	25.0	16.7	20.0	-	20.0	-	-	-	-			-	
	機械・設備の新・増設	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	25.0	20.0	25.0	16.7	20.0	-	20.0	75.0	-	33.3	33.3			50.0	
	機械・設備の更改	60.0	40.0	20.0	40.0	40.0	25.0	60.0	50.0	33.3	60.0	-	20.0	25.0	-	66.7	-			50.0	
	事務機器	20.0	40.0	-	40.0	20.0	25.0	60.0	50.0	33.3	20.0	33.3	20.0	-	25.0	-	33.3			-	
	車両	40.0	40.0	60.0	20.0	40.0	50.0	20.0	25.0	50.0	20.0	66.7	60.0	50.0	75.0	33.3	66.7			50.0	
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			-
	実施しない	81.5	81.5	81.5	81.5	80.8	85.2	80.8	84.6	76.0	80.8	88.5	80.0	84.6	84.6	86.4	88.5			90.9	
	経営上の問題点(%)	売上の停滞・減少	40.7		44.4		37.0		42.3		30.8		30.8		23.1		26.1				
人手不足		25.9		29.6		18.5		19.2		34.6		38.5		34.6		43.5					
大手企業との競争激化		11.1		14.8		18.5		7.7		15.4		3.8		-		4.3					
同業者間の競争の激化		37.0		44.4		33.3		26.9		23.1		23.1		19.2		17.4					
親企業による選別の強化		-		-		3.7		-		-		-		-		-					
合理化の不足		3.7		3.7		7.4		7.7		3.8		3.8		-		4.3					
利幅の縮小		14.8		14.8		14.8		23.1		15.4		15.4		26.9		8.7					
材料価格の上昇		22.2		18.5		25.9		30.8		50.0		42.3		50.0		52.2					
下請の確保難		7.4		11.1		11.1		3.8		3.8		3.8		11.5		13.0					
駐車場・資材置場の確保難		-		-		-		-		-		-		-		-					
人件費の増加		29.6		22.2		18.5		11.5		3.8		3.8		7.7		4.3					
人件費以外の経費の増加		-		-		-		3.8		3.8		7.7		-		-					
技術力の不足		7.4		-		7.4		-		3.8		3.8		-		-					
代金回収の悪化		-		-		-		-		-		-		-		-					
天候の不順		-		3.7		3.7		7.7		-		3.8		3.8		4.3					
地場産業の衰退		7.4		-		-		-		-		-		-		4.3					
大手企業・工場の縮小・撤退		-		-		-		-		-		-		-		-					
その他	3.7		-		3.7		-		-		7.7		3.8		8.7						
問題なし	7.4		14.8		14.8		19.2		11.5		15.4		15.4		8.7						
重点経営施策(%)	販路を広げる	29.6		37.0		33.3		38.5		30.8		30.8		26.9		34.8					
	経費を削減する	51.9		51.9		55.6		46.2		50.0		53.8		34.6		60.9					
	情報力を強化する	14.8		18.5		22.2		26.9		23.1		34.6		26.9		30.4					
	新しい工法を導入する	18.5		22.2		7.4		3.8		7.7		-		3.8		4.3					
	新しい事業を始める	-		-		-		-		-		-		3.8		-					
	技術力を高める	33.3		25.9		18.5		26.9		38.5		19.2		11.5		4.3					
	人材を確保する	40.7		37.0		33.3		34.6		34.6		42.3		53.8		34.8					
	パート化を図る	3.7		-		-		-		-		-		-		-					
	教育訓練を強化する	14.8		14.8		11.1		15.4		3.8		-		3.8		-					
	労働条件を改善する	14.8		7.4		7.4		7.7		3.8		3.8		-		-					
	不動産の有効活用を図る	3.7		7.4		3.7		3.8		3.8		3.8		3.8		4.3					
その他	-		-		-		-		-		-		-		-						
特になし	3.7		7.4		11.1		11.5		15.4		19.2		19.2		21.7						
有効回答事業所数		27		27		27		26		26		26		26		23					



不動産業  
地域名: 杉並区  
中分類: 業種合計

中小企業景況調査 転記表 No.1

令和4年7月～9月期

注: 各項目の右側は、前期調査における予想(計画)値です。

項目	調査期		令和2年		令和3年		令和3年		令和3年		令和3年		令和4年		令和4年		令和4年		対前期比	令和4年 10月～12月期
	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期				
業況	良い	5.6	5.9	11.1	-	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	-	5.6	5.6	-	15.4	5.6		15.4	
	普通	66.6	70.6	72.2	77.8	77.7	72.2	66.6	83.3	72.2	72.2	83.3	66.6	72.2	88.9	61.5	72.2		61.5	
	悪い	27.8	23.5	16.7	22.2	16.7	22.2	27.8	11.1	22.2	22.2	16.7	27.8	22.2	11.1	23.1	22.2		23.1	
	D・I	-22.2	-17.6	-5.6	-22.2	-11.1	-16.6	-22.2	-5.5	-16.6	-16.6	-16.7	-22.2	-16.6	-11.1	-7.7	-16.6		-7.7	
	修正値	<b>-21.2</b>	<b>-14.6</b>	<b>-14.0</b>	<b>-23.4</b>	<b>1.8</b>	<b>-19.9</b>	<b>-20.4</b>	<b>0.3</b>	<b>-14.1</b>	<b>-12.9</b>	<b>-23.2</b>	<b>-19.0</b>	<b>-4.4</b>	<b>-15.2</b>	<b>-9.0</b>	<b>-11.0</b>	<b>-4.6</b>	<b>-6.8</b>	
傾向値	-14.8		-21.1		-19.0		-14.7		-14.6		-15.3		-17.3		-16.2					
売上額	増加	5.9	-	11.1	11.1	-	5.6	5.6	5.6	11.1	16.7	16.7	11.1	5.6	-	7.7	5.6		7.7	
	変らず	58.8	70.6	61.1	66.7	61.1	61.1	50.0	66.6	50.0	66.6	55.5	61.1	72.2	77.8	69.2	77.7		76.9	
	減少	35.3	29.4	27.8	22.2	38.9	33.3	44.4	27.8	38.9	16.7	27.8	27.8	22.2	22.2	23.1	16.7		15.4	
	D・I	-29.4	-29.4	-16.7	-11.1	-38.9	-27.7	-38.8	-22.2	-27.8	0.0	-11.1	-16.7	-16.6	-22.2	-15.4	-11.1		-7.7	
	修正値	<b>-28.7</b>	<b>-26.6</b>	<b>-21.9</b>	<b>-13.4</b>	<b>-28.1</b>	<b>-30.6</b>	<b>-37.2</b>	<b>-13.1</b>	<b>-25.8</b>	<b>1.4</b>	<b>-17.9</b>	<b>-15.7</b>	<b>-3.4</b>	<b>-22.7</b>	<b>-14.8</b>	<b>-4.1</b>	<b>-11.4</b>	<b>-10.3</b>	
傾向値	-16.4		-23.6		-26.3		-28.3		-30.8		-29.9		-26.4		-20.7					
収益	増加	5.6	-	-	11.1	-	5.6	11.1	5.6	11.1	11.1	11.1	16.7	5.6	-	7.7	11.1		15.4	
	変らず	61.1	70.6	72.2	66.7	61.1	61.1	50.0	66.6	61.1	66.7	66.7	61.1	72.2	83.3	61.5	72.2		61.5	
	減少	33.3	29.4	27.8	22.2	38.9	33.3	38.9	27.8	27.8	22.2	22.2	22.2	16.7	30.8	16.7		23.1		
	D・I	-27.7	-29.4	-27.8	-11.1	-38.9	-27.7	-27.8	-22.2	-16.7	-11.1	-11.1	-5.5	-16.6	-16.7	-23.1	-5.6		-7.7	
	修正値	<b>-27.0</b>	<b>-26.6</b>	<b>-30.6</b>	<b>-12.1</b>	<b>-30.7</b>	<b>-31.5</b>	<b>-27.0</b>	<b>-16.0</b>	<b>-16.2</b>	<b>-7.7</b>	<b>-15.3</b>	<b>-5.5</b>	<b>-5.0</b>	<b>-18.7</b>	<b>-21.8</b>	<b>-1.2</b>	<b>-16.8</b>	<b>-5.5</b>	
傾向値	-15.5		-23.1		-28.0		-29.3		-29.2		-25.7		-20.8		-17.5					
価格動向	販売価格	-11.1	-18.8	-11.1	-11.1	-5.5	-11.1	0.0	0.0	5.9	5.5	5.9	0.0	0.0	5.9	0.0	0.0		0.0	
	修正値	<b>-9.0</b>	<b>-18.1</b>	<b>-12.8</b>	<b>-11.4</b>	<b>-1.6</b>	<b>-9.7</b>	<b>-0.3</b>	<b>2.2</b>	<b>7.8</b>	<b>3.7</b>	<b>3.4</b>	<b>1.2</b>	<b>4.9</b>	<b>5.8</b>	<b>0.1</b>	<b>3.0</b>	<b>-4.8</b>	<b>-1.6</b>	
	傾向値	-8.9		-13.0		-13.7		-9.3		-4.8		-0.6		2.3		3.0				
	仕入価格	0.0	-12.5	0.0	0.0	16.6	0.0	5.6	11.1	17.6	-5.5	17.6	5.9	22.2	0.0	7.7	22.2		7.7	
	修正値	<b>1.4</b>	<b>-11.7</b>	<b>-1.0</b>	<b>0.5</b>	<b>16.7</b>	<b>0.2</b>	<b>9.7</b>	<b>14.5</b>	<b>19.4</b>	<b>-2.6</b>	<b>14.7</b>	<b>6.5</b>	<b>21.0</b>	<b>-0.8</b>	<b>13.2</b>	<b>23.6</b>	<b>-7.8</b>	<b>11.3</b>	
傾向値	-1.7		-3.8		-2.4		3.3		7.8		12.2		15.1		16.0					
在庫・繰り	在庫数量	-17.6	-29.4	-11.1	-23.5	-22.2	-11.1	-11.1	-22.2	5.5	-16.6	0.0	5.5	-5.5	0.0	-7.7	-5.5		-15.4	
	修正値	<b>-17.3</b>	<b>-23.3</b>	<b>-10.8</b>	<b>-22.1</b>	<b>-21.3</b>	<b>-13.5</b>	<b>-8.9</b>	<b>-22.4</b>	<b>2.0</b>	<b>-11.1</b>	<b>-1.9</b>	<b>3.7</b>	<b>-3.9</b>	<b>-7.4</b>	<b>-5.0</b>	<b>-5.5</b>	<b>-1.1</b>	<b>-7.2</b>	
	資金繰り	-5.6	0.0	11.1	-5.6	0.0	11.1	-5.5	0.0	-5.5	-5.5	-5.5	-5.5	0.0	-5.5	7.7	5.6		7.7	
修正値	<b>-3.4</b>	<b>4.3</b>	<b>8.0</b>	<b>-4.6</b>	<b>-1.5</b>	<b>6.2</b>	<b>0.7</b>	<b>1.1</b>	<b>-1.6</b>	<b>0.2</b>	<b>-7.8</b>	<b>-2.1</b>	<b>-3.0</b>	<b>-8.5</b>	<b>9.6</b>	<b>3.2</b>	<b>12.6</b>	<b>9.2</b>		
前年同期比	売上額	-49.9		-44.4		-38.9		-50.0		-27.8		-11.1		-5.6		0.0				
	収益	-44.4		-44.4		-38.9		-33.3		-27.8		-11.1		-5.6		-7.7				
雇用	残業時間	-11.1	0.0	-16.7	-11.1	-16.7	-11.1	-22.2	-16.7	-11.1	-16.7	-16.7	-11.1	-22.2	-16.7	-7.7	-22.2		-15.4	
	人手	-11.1	-17.6	-22.2	-16.6	-16.7	-16.7	-16.6	-11.1	-11.1	-11.1	-27.8	-16.7	-11.8	-22.2	-15.4	-11.8		-15.4	
借入金	借入をした(%)	38.9	17.6	22.2	16.7	33.3	22.2	23.5	27.8	38.9	22.2	33.3	22.2	22.2	16.7	23.1	22.2		23.1	
	借入をしない(%)	61.1	82.4	77.8	83.3	66.7	77.8	76.5	72.2	61.1	77.8	66.7	77.8	77.8	83.3	76.9	77.8		76.9	
	借入難易度	12.5		18.8		25.0		18.8		14.3		7.1		6.7		18.2				
有効回答事業所数	18		18		18		18		18		18		18		13					



---

## 杉並区 中小企業の景況

令和4年度第2四半期（令和4年7月～9月）

令和4年11月発行

登録印刷物番号
---------

04-0010 (3)
-------------

【発行】杉並区 産業振興センター  
杉並区上荻 1-2-1 Daiwa 荻窪タワー2階  
TEL：03（5347）9077

【調査機関】一般社団法人 東京都信用金庫協会  
中央区京橋3-8-1 信用金庫会館 京橋別館 12F  
TEL：03（6228）8556

【分析委託業者】株式会社 東京商工リサーチ

---

